

---

# 年 報

---

平成21年度



財団法人 大阪府文化財センター



私部南遺跡 遺構群 (古墳時代中期～後期)  
(中央の溝は近世)



吹田操車場遺跡 建物 (奈良時代)

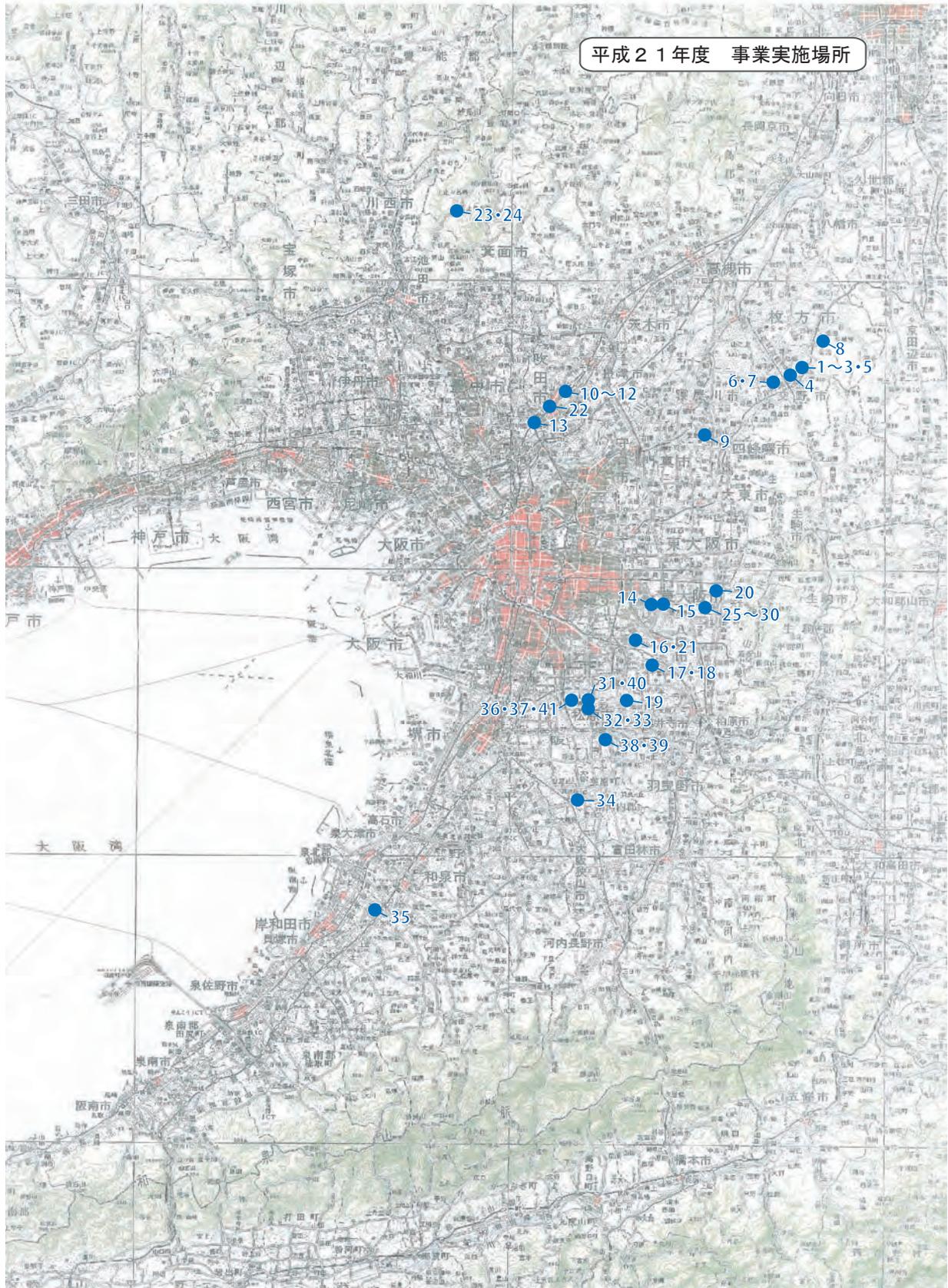
巻頭カラー 2



池島・福万寺遺跡 水田面（弥生時代前期）



池内遺跡 建物群（平安時代初頭）



平成21年度 事業実施場所

(地図は国土地理院平成11年8月1日発行 1/20万 京都および大阪、和歌山を縮小した。)

## 目 次

巻頭カラー	(1) 文献及び文化財情報の収集・整理…	25
平成 21 年度事業実施場所	(2) 文化財情報のデジタル化 ……………	25
目次	C. 文化財資料提供事業 ……………	25
I 大阪府文化財センター沿革と機構 ……………	(1) インターネット及び報道機関を通じての 情報の提供 ……………	25
1. 設立の趣旨 ……………	(2) 資料の出品、写真資料、ビデオなどの 貸出 ……………	26
2. 沿革 ……………	①資料の出品 ……………	26
3. 概要 ……………	平成 21 年度常設展示 貸出し資料一覧 ……………	26
(1) 目的…………	平成 21 年度 貸出し資料一覧 ……	27
(2) 事業…………	②写真資料の貸出し ……………	30
(3) 出資者…………	平成 21 年度写真貸出し・掲載許可申請 ……………	30
(4) 基本財産…………	③ビデオの貸出 ……………	32
(5) 機構《施設所在地》…………	平成 21 年度ビデオ貸出・上映一覧…	32
(6) 役員・評議員及び職員 ……………	(3) 図書の出版・販売 ……………	32
a 役員 ……………	①図書の出版 ……………	32
b 評議員 ……………	②図書の販売 ……………	33
c 機構 ……………	(4) 出版物の寄贈・配付 ……………	33
d 職員 ……………	D. 文化財研究事業 ……………	33
II 平成 21 年度の事業概要及び決算 ……………	(1) 「近畿ブロック埋文研修会」…………	33
1. 理事会及び評議員会 ……………	(2) 全埋協コンピューター等研究委員会 及び地区委員会の参加、それに伴う業務 ……………	33
2. 決算 ……………	E. 文化財調査支援事業 ……………	33
3. 調査事業の概要 ……………	F. 広報事業 ……………	33
(1) 調査事業一覧 ……………	(1) 年報の編集と発行 ……………	33
(2) 主な調査の概要 ……………	G. 文化財講演会事業 ……………	33
a 京阪調査事務所 ……………	III. 大阪府立弥生文化博物館事業…………	35
b 中部調査事務所 ……………	1. 常設展示 ……………	35
c 南部調査事務所 ……………	2. 特展企画展事業 ……………	35
(3) 保存処理事業 ……………	3. 講演会事業 ……………	37
平成 21 年度保存処理一覧…………	4. 「府民が参加する博物館」事業 ……	40
(4) 現地説明会等 ……………		
23		
(4) 現地説明会等 ……………		
23		
4. 資料活用事業 ……………		
24		
A. 文化財体験学習事業 ……………		
24		
(1) 体験学習等の受け入れ ……………		
24		
(2) 発掘現場等の見学の受け入れ ……		
25		
B. 文化財資料収集事業 ……………		
25		

5. 「博物館 in school」事業	事務所・博物館所在地
— 博学連携事業……………	42
6. 「どこでも博物館」事業 ……………	45
7. 「体験する博物館」事業 ……………	46
8. 各種連携事業 ……………	47
9. 広報普及事業 ……………	50
10. 資料貸出し ……………	52
11. 研究事業 ……………	52
12. 資料製作事業 ……………	52
13. サービス事業 ……………	52
14. 自主事業 ……………	53
15. 入館者数および入館料一覧表 ……	53
IV. 大阪府立近つ飛鳥博物館事業……………	55
1. 常設展示……………	55
2. 特別企画展事業……………	55
3. 講演会事業 ……………	57
4. 「府民が参加する博物館」事業 ……	60
5. 「市町村と連携する博物館」事業 ……	62
6. 「博物館 in school」事業	
— 博学連携事業……………	63
7. 「どこでも博物館」事業 ……………	65
8. 「体験する博物館」事業 ……………	66
9. 各種連携事業 ……………	67
10. 広報普及研究事業 ……………	68
11. 研究事業 ……………	69
12. 資料調査収集製作事業 ……………	69
13. サービス事業 ……………	69
14. 自主事業 ……………	70
15. 入館者数および入館料一覧表 ……	71
V. 日本民家集落博物館事業 ……………	72
1. 展示事業……………	72
2. 各種催し事業……………	72
3. 普及啓発事業……………	77
4. 広報事業……………	80
5. 館内施設の整備 ……………	80
6. 入館者数及び入館料収入一覧表……………	80

# I 財団法人大阪府文化財センター沿革と機構

## 1. 設立の趣旨

社会資本整備のための公共事業や民間事業者による開発行為によって国土の自然環境や歴史的環境が急速な変貌を遂げている現在、後世に伝えるべき貴重な文化財の保存・活用、歴史的景観の保全等を図ることが行政に求められている。

これに応えるためには、有形・無形・民俗文化財等の保全・活用を図るための調査・研究体制を構築するとともに、調査や資料収集の成果の公開や文化財愛護意識の高揚のための普及啓発、文化財を通じての国際交流も積極的に行っていく必要がある。

一方、埋蔵文化財調査についても、数多くの各種公共事業が府下において計画されていることに伴い増加する傾向にあるため、事業者からは円滑な事業実施ができるように調査の迅速な実施が求められており、体制を整備していかなければならない状況にある。

これらの課題に対応し、大阪府教育委員会と一体となった文化財行政の効率的かつ効果的な推進を図るため、平成7年4月に(財)大阪文化財センターと(財)大阪府埋蔵文化財協会を発展的に統合して、財団法人大阪府文化財調査研究センターが設立された。

平成14年4月に(財)大阪府博物館協会との統合により名称を(財)大阪府文化財センターとし博物館協会がこれまで行っていた「日本民家集落博物館」の民家等を引き継ぎ、これの公開管理運営を行うとともに、大阪府の「弥生文化博物館」並びに「近つ飛鳥博物館」及び「近つ飛鳥風土記の丘」の管理運営を大阪府教育委員会から受託された。平成18年4月から指定管理者として「弥生文化博物館」、「近つ飛鳥博物館」、「近つ飛鳥風土記の丘」の管理運営を受託し、センターの本来事業と合わせて、文化財の発掘調査・研究・保存・公開展示及び普及啓発を総合的かつ効果的・経済的に推進し、もって大阪府の文化財行政に寄与していく。

## 2. 沿革

昭和 47.11.28	・大阪府教育委員会の認可を受け、財団法人大阪文化財センター設立。
48. 1.10	・第2阪和国道発掘調査に伴う遺物整理事業に着手。
48. 4. 1	・事務局を設置。(職員数12名)
48. 5.25	・第1回理事会において評議員を選出、評議員会を設置。
51. 7.26	・近畿自動車道天理～吹田線内に所在する遺跡の発掘調査に着手。
55. 8.19	・全国埋蔵文化財法人連絡協議会の設立に参画、副会長となる。
57.11.27	・財団法人大阪文化財センター設立10周年記念式典を開催。
58. 9. 1	・近畿自動車道天理～吹田線の発掘調査に伴う出土遺物の整理事業の開始。
59. 6. 1	・都市計画道路と近畿自動車道和歌山線の併設区間の発掘調査に着手。
60. 4. 1	・財団法人大阪府埋蔵文化財協会設立。
61. 2.28 ～3.4	・近畿自動車道天理～吹田線発掘調査終了記念事業(写真パネル展、講演会、映画会)を開催。
平成元. 4. 1	・都市計画道路松原泉大津線と近畿自動車道と和歌山線の併設区間の発掘調査に伴う出土遺物の整理事業の開始。 ・大阪府恩智川治水緑地建設予定地内遺跡の発掘調査に着手。

- 平成 2. 4. 1 ・大阪府新庁舎建設整備事業地内の大坂城跡発掘調査に着手。
- 2. 9. 1 ・財団法人大阪府博物館協会設立。
- 3. 3. 1 ・大阪府より委託を受け、安威川総合開発事業に伴う文化財総合調査に着手。
- 4.11.27 ・財団法人大阪文化財センター設立20周年記念式典を開催。
- 7. 4. 1 ・財団法人大阪府埋蔵文化財協会と統合し、財団法人大阪府文化財調査研究センターと名称変更。
- ・本部事務所を大阪市城東区蒲生2丁目11番3号小森ビル内に設置。新たに北部調査事務所を茨木市横江1丁目17-34に開設。旧財団法人大阪文化財センター長田分室を中部調査事務所とし、旧財団法人大阪府埋蔵文化財協会泉大津調査事務所を南部調査事務所とする。
- 組織の改正により、総務部、調査部の2部制とし、総務部に総務課、普及資料課を置き、調査部に調整課及び北部、中部、南部の3調査事務所を置く。
- 7.10. 3 ・史跡整備事業に初めて着手（池上曾根遺跡）。
- 7.12.15 ・南部調査事務所を堺市熊野町西1丁目2-22に移転。
- 8. 9.30 ・北部調査事務所を箕面市今宮3丁目19-2に移転。
- 9. 2.12 ・泉佐野収蔵庫竣工。
- 9. 3.31 ・泉ヶ丘資料室（堺市竹城台3-21-4）竣工。
- 10. 1.12 ・南阪奈道路関連の調査事業に着手するため、南部調査事務所古市分室を羽曳野市 軽里3丁目1-13に開設。
- 10. 3.31 ・南部調査事務所泉北分室を閉鎖。
- 12. 8.21 ・本部事務所を 堺市竹城台3丁目21番4号に移転する。
- 13. 2. 1 ・南部調査事務所を 堺市南田出井町1丁目1番10号に移転する。
- 13.10.31 ・泉佐野収蔵庫を泉佐野市に移管する。
- 14. 4. 1 ・財団法人大阪府博物館協会と統合し、財団法人大阪府文化財センターに名称変更。
- 組織の改正により、総務部、調査部、普及部の3部及び弥生文化博物館部、近つ飛鳥博物館部、日本民家集落博物館部の3博物館部を置く。
- 日本民家集落博物館の管理運営、並びに大阪府立弥生文化博物館及び大阪府立近つ飛鳥博物館の管理運営の受託事業を財団法人大阪府博物館協会より引継ぎ、実施。
- ・泉佐野収蔵庫（市に移管した収蔵庫の北西隣接地に）竣工。
- 14.11. 1 ・北部調査事務所を閉鎖。
- 15. 3.31 ・第二京阪道路建設の調査事業の増加に伴い、京阪支所を寝屋川市堀溝1丁目1-15に開設、京阪支所交野分室を交野市藤が丘1丁目2に開設。
- 15. 4. 1 ・京阪支所を京阪調査事務所に、中部調査事務所池島分室を池島支所に名称変更。
- 16. 4. 1 ・泉佐野第二収蔵庫を泉佐野市高松西2丁目に竣工。
- 18. 1.31 ・大阪府弥生文化博物館及び大阪府立近つ飛鳥博物館並びに近つ飛鳥風土記の丘の管理運営を指定管理者として受託。
- 18. 4. 1
- 19. 4. 1 ・京阪調査事務所交野分室を京阪調査事務所に、京阪調査事務所整理棟を寝屋川分室に名称変更。京阪調査事務所門真分室を門真市岸和田2丁目5-32に開設。
- 20. 4. 1 ・組織の改正により、総務部を総務企画部に改め、普及部を廃止し、調査部に資料活用課を置く。
- 20. 7. 31 ・京阪調査事務所門真分室を閉鎖。
- 21. 3. 31 ・京阪調査事務所寝屋川分室を閉鎖。（堺東の南部調査事務所を閉鎖。）
- 21. 4. 1 ・組織の改正により、調査事務所及び係制を廃止。総務企画課に総務グループを置く。調整課を廃止して調査課を置き、調査課に調整グループ及び調査グループを置く。（各調査事務所、分室、支所は施設名とする。）本部事務所に南部調査事務所を併設。
- 21. 5.31 ・古市分室を閉鎖。

### 3. 概要

#### (1) 目的

大阪府下における文化財の調査、整理、保存、研究、整備及び活用を行い、大阪府の文化財の保護並びに文化財に対する理解と認識を深めることに寄与する。

#### (2) 事業

設立趣旨に基づき次の事業を行う

- ①埋蔵文化財の調査、整理、保存、研究及び活用
- ②史跡、名勝及び天然記念物の調査、保存、研究、整備及び活用
- ③有形・無形・民俗文化財の調査、保存、研究、整備及び活用
- ④文化財に関する資料、情報の収集及び管理
- ⑤文化財の普及啓発
- ⑥日本民家集落博物館の管理及び運営
- ⑦大阪府が設置する博物館の管理及び運営の受託
- ⑧大阪府立近つ飛鳥風土記の丘の管理及び運営の受託
- ⑨その他目的を達成するために必要な事業

#### (3) 出資者

財団法人大阪府博物館協会、大阪府、パナソニック株式会社、住吉大社、四天王寺、財団法人藤田美術館

#### (4) 基本財産 116,700 千円

#### (5) 機構《施設所在地》

ア 本部事務所	堺市南区竹城台 3 丁 21 番 4 号
イ 京阪調査事務所	交野市藤が尾 1 丁目 2
ウ 中部調査事務所	東大阪市長田東 1 丁目 9 番 16 号
エ 南部調査事務所	堺市南区竹城台 3 丁 21 番 4 号
オ 中部調査事務所池島支所	八尾市福万寺町 8 丁目地先
カ 資料室	東大阪市長田東 1 丁目 9 番 16 号
キ 高石収蔵庫	高石市綾園 4 丁目地先
ク 岸和田収蔵庫	岸和田市磯上町 1 丁目地先
ケ 泉佐野収蔵庫	泉佐野市上之郷（地内）
コ 泉佐野第二収蔵庫	泉佐野市高松西 2 丁目 2430-1
サ 大阪府立弥生文化博物館	和泉市池上町 4 丁目 8 番 27 号
シ 大阪府立近つ飛鳥博物館	南河内郡河南町大字東山 299 番地
ス 日本民家集落博物館	豊中市服部緑地 1 番 2 号

## (6) 役員・評議員及び職員

### a 役員

(平成22年3月31日現在)

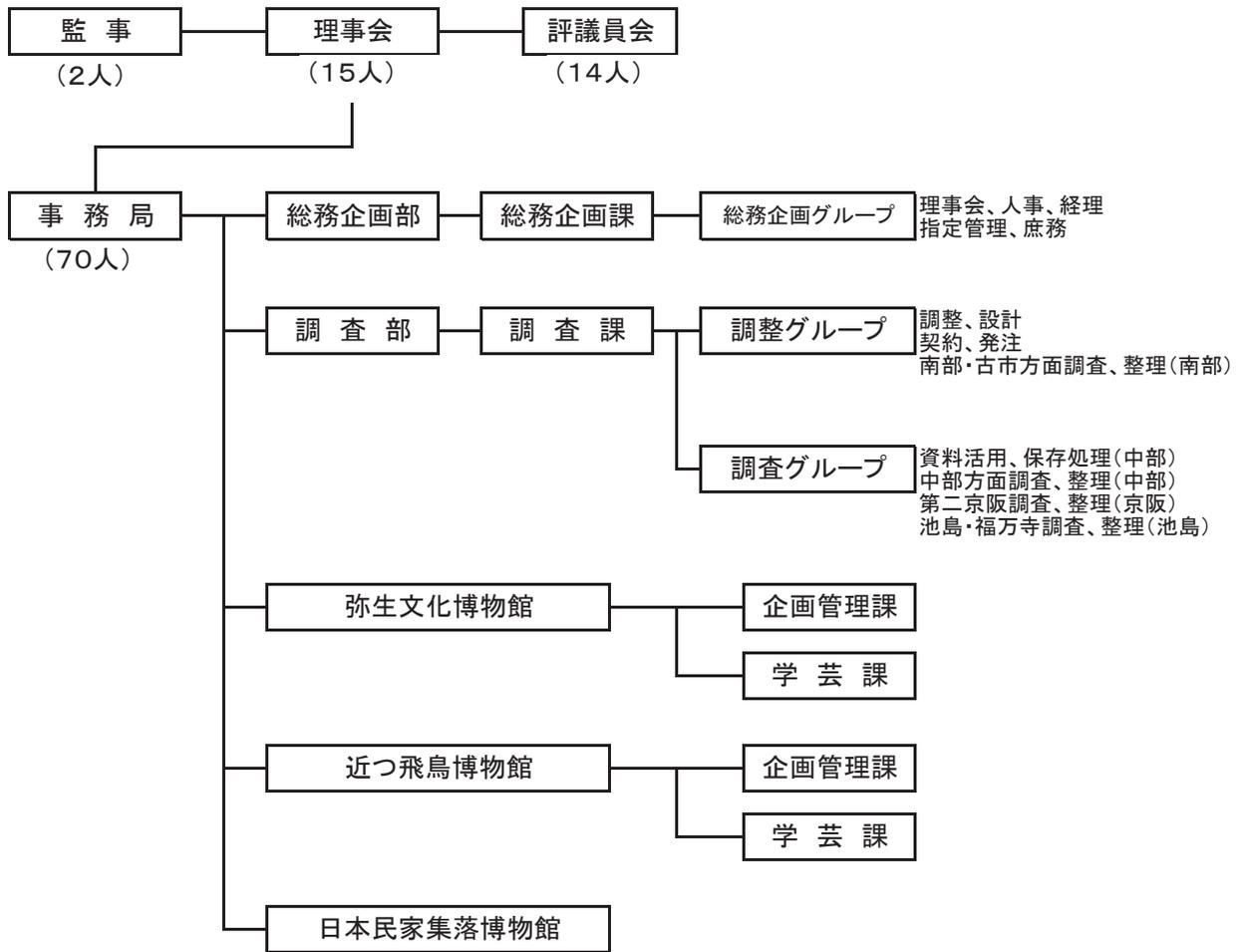
理事長	水野 正好	奈良大学 文学部名誉教授
専務理事	中平 正子	専任
理事	大橋 太朗	阪急電鉄株式会社 相談役
	金関 恕	大阪府立弥生文化博物館 館長
	釜谷 行藏	財団法人大阪府私学総連合会 代表(学校法人履正社 理事長)
	近藤 公夫	奈良女子大学 名誉教授
	白石太一郎	大阪府立近つ飛鳥博物館 館長
	須藤 健一	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立民族学博物館 館長
	高野 浩二	元沖縄開発庁 沖縄総合事務局 次長
	田邊 征夫	独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所 所長
	中西 正人	大阪府教育委員会 教育長
	福岡 澄男	(財)大阪府文化財センター 前普及部長
	藤 洋作	関西電力株式会社 相談役
	町田 章	元奈良文化財研究所 所長
領木新一郎	大阪ガス株式会社 相談役	
監事	藤田 周子	(財)藤田美術館 理事兼館長
	真川 正満	公認会計士・税理士
顧問	坪井 清足	財団法人元興寺文化財研究所 副理事長兼所長

### b 評議員

(平成22年3月31日現在)

有川 春代	アーツ&クラフツ チタチタ 代表
池田 良治	弁護士
蔵口 康裕	あずさ監査法人 大阪事務所 公認会計士
坂井 秀弥	奈良大学文学部文化財学科 教授
佐藤 茂弘	ボーイスカウト大阪連盟 泉州地区協議会 相談役
沢田 正昭	国土館大学大学院グローバルアジア研究科 21世紀アジア学部 教授
杉本 尚次	国立民族学博物館・総合研究大学院大学 名誉教授
竹林 弘美	大阪府都市教育長協議会 代表(藤井寺市教育委員会教育長)
都出比呂志	大阪大学 名誉教授
二澤 隆史	大阪府町村教育長会 会長(田尻町教育委員会教育長)
野口 雅昭	大阪府教育委員会事務局 文化財保護課長
狭間恵三子	サントリー株式会社大阪秘書室 課長 (財)大阪観光コンベンション協会 情報発信担当部長
藤本 裕子	メディアプロデューサー
真弓 常忠	住吉大社 宮司
南谷 恵敬	和宗総本山四天王寺 執事 法務部長

C 機 構



d 職 員

(平成22年3月31日現在)

職 名	氏 名	職 名	氏 名
専務理事兼事務局長兼日本民家集落博物館館長	中平 正子	副主査	黒須亜希子
総務企画部長	井上 忠	技師	新海 正博
総務企画課長兼総務企画グループ長	秋山 芳廣	副主査	奥村 茂輝
総務企画総括主査	白橋 哲	技師	鹿野 墨
副主査	宮本 哲男	副主査	信田真美世
副主査	鎗山 洋子	副主査	本田 元樹
副主査	栗山さよ子	副主査	市村慎太郎
嘱託	酒井 則和	京阪総括主査	三好 孝一
総括学芸員(副主査)	山城 統	主査	陣内 暢子
調査部長兼調査課長	福田 英人	副主査	佐伯 博光
調整グループ長	金光 正裕	技師	奥 和之
主査	上野 貞子	技師	船築 紀子
主査	岡戸 哲紀	技師	福佐美智子
副主査	後川恵太郎	主幹兼池島総括主査	小野 久隆
副主査	中尾 智行	副主査	三宮 昌弘
調整総括主査	岡本 茂史	副主査	後藤 信義
主査	中村 淳磯	技師	井西 貴子
副主査	田渕 紀江	副主査	島崎 久恵
副主査	亀井 聡	福万寺総括主査	西村 歩
技師	竹内 秀喜	副主査	駒井 正明
調査(南部)総括主査	森屋美佐子	副主査	井上 智博
副主査	林 日佐子	副主査	若林 幸子
技師	枡本 哲	技師	塚本 浩司
副主査	川瀬 貴子	弥生文化博物館館長	金関 恕
技師	正岡 大実	副館長兼企画管理課長	福井 克次
調査グループ長	寺川 史郎	学芸課長	江浦 洋
主査	片山 彰一	総括学芸員(副主査)	合田 幸美
資料活用総括主査	村上 年生	主任学芸員	永野 仁
主査	山口 誠治	近つ飛鳥博物館館長	白石太一郎
副主査	河端 智	副館長兼企画管理課長	浅田 稔
中部総括主査	秋山 浩三	学芸課長	市本 芳三
主査	辻本 武	総括学芸員(副主査)	森本 徹
主査	村上富喜子	総括学芸員(副主査)	廣瀬 時習
副主査	岡本 圭司	日本民家集落博物館副館長	奥村 直樹
副主査	伊藤 武	総括学芸員(副主査)	小島 久美

## II 平成21年度の事業概要及び決算

### 1. 理事会及び評議員会

以下のとおり理事会及び評議員会を開催し、上程議案はいずれも承認又は可決された。

年 月 日	会議名称	場 所	議 案
平成21年6月24日	第1回評議員会	財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1. 平成20年度事業報告及び収支決算について 2. 理事の選任について
	第1回理事会	財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1. 平成20年度事業報告及び収支決算について 2. 評議員の選出について
平成22年3月25日	第2回評議員会	財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1. 平成21年度補正予算書(案)について 2. 平成22年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)について
	第2回理事会	財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1. 平成21年度補正予算書(案)について 2. 平成22年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)について 3. 評議員の選出について

## 2. 決 算

### 収 支 計 算 書 総 括 表 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

科 目	一般会計	弥生文化博物館 特別会計	近つ飛鳥博物館 特別会計
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
① 基本財産運用収入	1,658,530	0	0
② 特定資産運用収入	13,722,329	0	0
③ 会費収入	0	0	0
④ 事業収入	1,802,067,563	142,753,105	158,195,240
⑤ 補助金等収入	0	0	0
⑥ 寄附金収入	0	0	0
⑦ 雑収入	2,137,455	74,239	81,458
⑧ 他会計からの繰入金収入	6,821,235	0	0
事業活動収入計	1,826,407,112	142,827,344	158,276,698
2. 事業活動支出			
① 事業費支出	1,626,420,767	137,955,684	155,452,111
② 管理費支出	117,819,522	0	0
③ 他会計への繰入金支出	7,220,670	4,596,122	2,225,113
事業活動支出計	1,751,460,959	142,551,806	157,677,224
事業活動収支差額	74,946,153	275,538	599,474
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
① 特定資産取崩収入	48,210,731	0	0
② 敷金・保証金戻り収入	20,000	0	0
投資活動収入計	48,230,731	0	0
2. 投資活動支出			
① 特定資産取得支出	87,747,082	0	0
② 固定資産取得支出	333,000	0	0
③ 敷金・保証金支出	260,000	0	0
投資活動支出計	88,340,082	0	0
投資活動収支差額	△ 40,109,351	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入	0	0	0
2. 財務活動支出			
①リース債務返済支出	2,127,634	0	0
財務活動支出計	2,127,634	0	0
財務活動収支差額	△ 2,127,634	0	0
IV 予備費支出	0	0	0
当期収支差額	32,709,168	275,538	599,474
前期繰越収支差額	30,668,294	69,001	540,228
次期繰越収支差額	63,377,462	344,539	1,139,702

(単位：円)

日本民家集落博物館特別会計	財団自主事業特別会計	府立博物館自主事業特別会計	内部取引消去	合計
0	0	0	0	1,658,530
612,949	0	130,000	0	14,465,278
3,400,000	0	0	0	3,400,000
12,431,210	1,602,201	11,127,082	△ 54,955	2,128,121,446
19,005,000	0	0	0	19,005,000
556,184	0	150,000	0	706,184
481,507	22,904	1,216,829	0	4,014,392
779,100	6,441,570	0	△ 14,041,905	0
37,265,950	8,066,675	12,623,911	△ 14,096,860	2,171,370,830
31,973,666	8,066,675	8,922,197	△ 54,955	1,968,736,145
0	0	0	0	117,819,522
0	0	0	△ 14,041,905	0
31,973,666	8,066,675	8,922,197	△ 14,096,860	2,086,555,667
5,292,284	0	3,701,714	0	84,815,163
1,166,952	0	0	0	49,377,683
0	0	0	0	20,000
1,166,952	0	0	0	49,397,683
7,709,324	0	0	0	95,456,406
0	0	0	0	333,000
0	0	0	0	260,000
7,709,324	0	0	0	96,049,406
△ 6,542,372	0	0	0	△ 46,651,723
0	0	0	0	0
0	0	0	0	2,127,634
0	0	0	0	2,127,634
0	0	0	0	△ 2,127,634
0	0	0	0	0
△ 1,250,088	0	3,701,714	0	36,035,806
2,032,317	0	13,355,554	0	46,665,394
782,229	0	17,057,268	0	82,701,200

### 3. 調査事業の概要

#### (1) 調査事業一覧

埋蔵文化財の発掘調査及び出土遺物の整理を事業施行者の委託を受けて、下記のとおり実施した。

管轄	遺跡(調査名)	調査地	受託事業名	工事・委託名	事業者	事業の種別	
京阪調査事務所	1 上私部遺跡07-1〔整理〕	交野市青山2丁目	第二京阪道路上私部・私部南遺跡他遺物整理/平成21年度第二京阪道路(一般国道1号)建設事業(大阪府域)に伴う埋蔵文化財発掘調査遺物整理作業(上私部・私部南遺跡他)	有池遺跡(その6)・上私部遺跡(その4)	国土交通省近畿地方整備局浪速国道事務所・西日本高速道路株式会社関西支社	道路建設	
	2 上私部遺跡08-1〔整理〕	交野市青山3丁目					
	3 有池遺跡07-1・上私部遺跡07-2〔整理〕	交野市青山2丁目		私部南遺跡(その2)			
	4 私部南遺跡06-1〔整理〕	交野市私部南1丁目					
	5 有池遺跡09-1〔調査〕	交野市青山4丁目	第二京阪道路私部南遺跡発掘調査/平成21年度第二京阪道路(一般国道1号)建設事業(大阪府域)に伴う埋蔵文化財発掘調査(私部南遺跡)	有池遺跡	国土交通省近畿地方整備局浪速国道事務所・西日本高速道路株式会社関西支社	道路建設	
	6 上私部遺跡09-1〔調査〕	交野市青山2丁目	上私部遺跡				
	上の山遺跡09-1〔調査〕	交野市私部西5丁目	上の山遺跡				
	私部南遺跡07-1〔調査・整〕	交野市向井田1丁目	私部南遺跡(その3)				
	7 上の山遺跡09-2〔調査〕	交野市私部西5丁目	平成21年度一般国道168号(枚方大和高田線、天の川磐船線)道路整備事業に係る上の山遺跡発掘調査等業務	上の山遺跡	大阪府枚方土木事務所	道路建設	
	8	津田遺跡08-2〔調査・整理〕	枚方市津田南町2丁目	第二京阪道路津田遺跡発掘調査/平成21年度第二京阪道路(一般国道1号)建設事業(大阪府域)に伴う埋蔵文化財発掘調査(津田遺跡)	津田遺跡(その4)	国土交通省近畿地方整備局浪速国道事務所・西日本高速道路株式会社関西支社	道路建設
津田遺跡08-1〔整理〕		枚方市津田南町1丁目	津田遺跡(その3)				
9	讃良部条里遺跡09-1〔調査〕	寝屋川市讃良東町地内	寝屋川北部地下河川讃良立坑築造工事に伴う讃良部条里遺跡発掘調査	讃良部条里遺跡(事業者発注)	大阪府寝屋川水系改修工営所	治水(地下河川)建設	
中部調査事務所	10 吹田操車場遺跡07-1〔整理〕	吹田市芝田町	吹田(信)基盤整備工事に伴う吹田操車場遺跡遺物整理9	吹田操車場遺跡(その5)	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構	信号場基盤整備	
	吹田操車場遺跡09-2〔調査〕	吹田市芝田町・平松町・目俣町		吹田操車場遺跡(事業者発注)			
	明和池遺跡09-1〔調査〕	摂津市千里丘7丁目		明和池遺跡(事業者発注)			
	11	吹田操車場遺跡09-1〔調査〕	吹田市片山町1丁目	吹田(信)基盤整備工事に伴う吹田操車場遺跡発掘調査10	吹田操車場遺跡(その6)	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 国鉄精算事業西日本支社	信号場基盤整備(貨物専用道路)
	12	吹田操車場遺跡09-3〔調査〕	吹田市芝田町地内	平成21年度北部大阪都市計画事業吹田操車場跡地土地区画整理事業埋蔵文化財発掘調査業務	吹田操車場遺跡(その1)〔区画整理〕	独立行政法人都市再生機構西日本支社	土地区画整理
13	吹田城跡隣接地09-1〔確認〕	吹田市西の庄町1丁目地先	吹田(信)基盤整備工事(貨物専用道路新設)に伴う吹田城跡隣接地発掘調査(確認)	吹田城跡隣接地(事業者発注)	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 国鉄精算事業西日本支社	信号場基盤整備(貨物専用道路)	
14	新上小阪遺跡08-1〔調査・整理〕	東大阪市新上小阪	大阪府営東大阪新上小阪住宅民生活プロジェクトに伴う新上小阪遺跡発掘調査	新上小阪遺跡(PFI)	中道・コーナン特定建設工事共同企業体(大阪府住宅まちづくり部住宅経営室住宅整備課)	集合住宅建設	
	新上小阪遺跡09-1〔調査・整理〕						

受託契約期間	今年度事業費	今年度面積	時期・性格	主な遺構・遺物	担当者		備考
H21. 4. 1～ H22. 3. 31	30,860,550	0	古墳時代～中世 集落・耕作地	掘立柱建物・土坑・堅穴建物・溝・柱穴・水田・流路 土師器・須恵器・瓦器・陶磁器・瓦質土器・土製品・瓦・木製品・銭貨	若林幸子		
		0	古墳時代～中世 集落・耕作地	掘立柱建物・土坑・堅穴建物・溝・柱穴・水田・流路 土師器・須恵器・瓦器・陶磁器・瓦質土器・土製品・瓦・木製品・銭貨	若林幸子		
		0	縄文時代～中世 集落・耕作地	掘立柱建物・土坑・堅穴建物・溝・柱穴・水田・流路 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・陶磁器・土製品・石器未成品・玉・木製品・銭貨	若林幸子		平成19～20年度
		0	縄文時代～中世 集落・生産	堅穴住居・掘立柱建物・溝・土坑・ビット・井戸・耕作痕 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・陶磁器・石器・鉄器・木器・銭貨・帯金具・骨	船築紀子	(熊谷博志)	
H21. 4. 1～ H22. 3. 31	210,709,800	136	平安時代～室町 時代 集落・耕作地	ビット・溝 土師器・須恵器・瓦器・磁器	若林幸子		
		34	古墳時代～中世 集落	溝 須恵器・土師器・瓦器・陶磁器・瓦	市村慎太郎		
		1,044	弥生時代～古代 集落	掘立柱建物・ビット・溝 須恵器	森本 徹		平成21年度
		5,252	縄文～中近世 集落・生産	掘立柱建物・堅穴建物・ビット・溝・土坑・耕作痕 縄文土器・弥生土器・須恵器・土師器・瓦器・陶磁器・土管・瓦・滑石製子持勾玉・滑石製紡錘車・屑材・鉄鎌	三好孝一 奥和之 信田真美世	佐伯博光 (入江正則)	平成19～21年度
H21. 4. 1～ H22. 12. 28	13,862,100	1,040	弥生時代～中世 集落・墓	掘立柱建物・墓・土坑・溝・井戸 弥生土器・石器・土師器・須恵器・陶磁器	奥村茂輝		平成21年度
H21. 4. 1～ H22. 3. 31	43,910,054	2,680	古代～中世 寺院・集落	礎石建物・石群・埴・土坑・ビット 土師器・須恵器・青磁・灰釉陶器・瓦器・瓦・埴仏・青銅製品・鉄製品	三好孝一	本間元樹	
		0	古代～中世 集落・生産	流路・溝・土坑 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・瓦質土器・瓦・五輪塔	本間元樹		
H21. 10. 26～ H23. 1. 31	14,628,600	1,788	縄文時代～近世 集落・生産	堅穴住居・掘立柱建物・井戸・土坑・溝・水田跡・畠跡 須恵器・土師器・石製品・金属製品	福佐美智子 (小林千夏)		平成21～22年度
H20. 12. 1～ H22. 3. 31	46,200,000	0	弥生時代～近世 集落・生産	掘立柱建物・柱穴・土坑・溝・井戸・流路 陶器・磁器・瓦器・黒色土器・土師器・須恵器・石製品・銭貨・木製品	岡本圭司	村上富喜子	平成20～21年度
		1,526	縄文時代～近世 集落・墓・生産	掘立柱建物・柱列・井戸・土坑・溝・鋤溝・方形周溝墓 土師器・須恵器・陶棺・陶磁器・瓦器・黒色土器・瓦・中国陶磁器・弥生土器・土人形・汽車土瓶・鞆羽口・石製品・銭貨・漆製品・木製品	辻本 武	岡本圭司	
		72	弥生時代～中世 集落・生産	掘立柱建物・鋤溝・土坑・井戸・ビット 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・陶磁器	辻本 武	岡本圭司	
H21. 4. 1～ H22. 6. 30	35,050,050	2,060	古代～近世 集落・生産	畝・鋤溝・池・溝・畦畔状高まり・土坑・落込み・谷状地形 須恵器・土師器・黒色土器・瓦器・青磁・白磁・陶磁器・瓦・銭貨・サヌカイト片	新海正博 (前田俊雄)		
H21. 10. 1～ H22. 3. 31	78,993,600	3,334	古代～近世 集落・生産	池・溝・掘立柱建物・鋤溝・土坑・井戸・ビット 土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・陶磁器・瓦・サヌカイト片	寺川史郎 秋山浩三	鹿野 壘	
H219. 1～ H21. 10. 30	3,780,000	150	古代～近世 集落・生産	畝溝・鋤溝・溝・ビット・谷地形 土師器・須恵器・瓦器・瓦	辻本 武		平成21年度
H20. 9. 1～ H22. 12. 22	44,023,350	1,350	弥生時代～中世 集落・生産・墓	掘立柱建物・方形周溝墓・落込み・土坑・溝・ビット 弥生土器・土師器・須恵器	伊藤 武 (河本純一)	林 日佐子	平成20～22年度
		19	古代～中世 包含層	土師器・須恵器・瓦器	伊藤 武 (河本純一)	林 日佐子	平成20～22年度

	遺跡(調査名)	調査地	受託事業名	工事・委託名	事業者	事業の種別
中部調査事務所	15 山賀遺跡08-1〔整理〕	八尾市新家町5丁目	寝屋川水系改良事業(一級河川寝屋川新家調節池)地内の埋蔵文化財に係る発掘調査(その3)	山賀遺跡(その2)	大阪府八尾土木事務所	調節池築造
	16 久宝寺遺跡08-1〔調査・整理〕	八尾市西久宝寺	寝屋川流域下水道中央南増補幹線(一)人孔築造工事外に伴う久宝寺遺跡発掘調査(その2)	久宝寺遺跡(下水・その2)	大阪府東部流域下水道事務所	下水道人孔築造工事
	17 植松遺跡08-1〔調査・整理〕	八尾市植松町8丁目	大阪府営八尾植松(第2期)住宅(建て替え)建設工事に伴う植松遺跡発掘調査	植松遺跡(その2)	大阪府住宅まちづくり部住宅経営室住宅整備課	集合住宅建設
	18 植松遺跡08-1〔整理〕	八尾市植松町8丁目	大阪府営八尾植松(第2期)住宅(建て替え)建設工事に伴う植松遺跡遺物整理	植松遺跡	大阪府住宅まちづくり部住宅経営室住宅整備課	集合住宅建設
	19 大堀遺跡隣接地09-1〔確認〕	松原市大堀4丁目地先	主要地方道 大阪中央環状線新明治橋第4橋下部工事に伴う埋蔵文化財確認調査委託	大堀遺跡隣接地(事業者発注)	大阪府富田林土木事務所	道路建設
	20 北鳥池遺跡09-1・若江北遺跡09-1〔調査〕	東大阪市若草町地内 東大阪市若江西新町3丁目地内	大阪府営水道 中期整備事業 系統連絡送水管布設工事に伴う若江北遺跡・北鳥池遺跡発掘調査委託	北鳥池遺跡・若江北遺跡(事業者発注)	大阪府東部水道事業所	送水管布設
	21 久宝寺遺跡09-1〔調査・整理〕	八尾市西久宝寺地内	寝屋川流域下水道中央南増補幹線(一)人孔築造工事外に伴う久宝寺遺跡発掘調査(その3)	久宝寺遺跡(下水・その3)	大阪府東部流域下水道事務所	下水道人孔築造工事
	22 片山荒池遺跡隣接地09-1〔確認〕	吹田市片山町1丁目地内	吹田(信)基盤整備工事(貨物専用道路新設)に伴う片山荒池遺跡隣接地発掘調査(確認)	片山荒池遺跡隣接地(事業者発注)	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 国鉄精算事業西日本支社	道路建設
	23 止々呂美城跡隣接地09-1〔確認〕	箕面市下止々呂美地内	平成21年度高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査(箕面市域)その1	止々呂美城跡隣接地	西日本高速道路株式会社関西支社	道路建設
24 止々呂美城跡09-1〔調査〕	箕面市下止々呂美地内	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査(箕面市域)その2		西日本高速道路株式会社関西支社	道路建設	
池島支所	25 池島・福万寺遺跡07-1〔調査〕	八尾市福万寺町8丁目	一級河川恩智川治水緑地池島・福万寺遺跡Ⅱ発掘調査(その7)	池島・福万寺遺跡Ⅱ(その7-1)	大阪府寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成
	26 池島・福万寺遺跡07-2〔調査〕	東大阪市池島町7丁目	一級河川恩智川治水緑地池島・福万寺遺跡Ⅱ発掘調査(その8)	池島・福万寺遺跡Ⅱ(その8-1)	大阪府寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成
	27 池島・福万寺遺跡08-1〔調査〕	八尾市福万寺町6丁目	一級河川恩智川治水緑地池島・福万寺遺跡Ⅱ発掘調査(その9)	池島・福万寺遺跡Ⅱ(その9-1)	大阪府寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成
	池島・福万寺遺跡06-1〔整理〕	八尾市福万寺町8丁目		池島・福万寺遺跡Ⅱ(その5-1)		

受託契約期間	今年度事業費	今年度面積	時期・性格	主な遺構・遺物	担当者		備考
H20.11.26～ H21.8.31	5,429,550	0	弥生時代～中世 生産・集落・墓	水田・溝・建物・井戸・柱穴・流路・木棺 墓・周溝墓？ 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・陶磁器・ 木製品・土製品・円筒植輪・サヌカイト・木 棺・獣魚骨・炭化米	亀井 聡		平成20～21年度
H20.11.4～ H22.10.30	15,427,650	415	縄文時代～中世 生産・集落・墓	溝・ピット・土器溜り・流路 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・瓦質 土器・陶磁器	秋山浩三		平成20～21年度
H20.11.4～ H22.1.29	88,925,550	1,033	弥生時代～中世 集落・生産	竪穴建物・土器溜り・水田・島畠・溝・土 坑・落込み・流路 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・瓦 器・陶磁器・獣歯・木製品	黒須亜希子		平成20～21年度
H22.2.1～ H22.3.31	3,979,500	0	弥生時代～中世 集落・生産	竪穴建物・土器溜り・水田・島畠・溝・土 坑・落込み・流路 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・瓦 器・陶磁器・獣歯・木製品	黒須亜希子		平成21～22年度
H21.11.2～ H22.1.29	7,110,600	17	中世	水田	奥村茂輝		平成21年度
H22.1.4～ H23.2.28	6,721,050	110	中世 生産	ピット・溝・畦畔・土坑 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・瓦質土 器・陶器	信田真美世		平成21～22年度
H22.1.4～ H22.6.30	6,381,900	74	弥生時代～中世 生産・集落	溝・土坑・流路 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・陶磁器	奥村茂輝		平成21～22年度
H22.2.1～ H22.3.31	3,625,650	80	古墳時代～中世 集落・耕作地	溝・土坑・ピット 土師器・須恵器・瓦器・陶磁器	市村慎太郎		平成21年度
H22.1.18～ H22.3.31	7,106,400	195	近代以降	陶磁器・瓦・土師器	市村慎太郎		平成21年度
H22.2.1～ H24.9.28	0	0	中世	城跡			平成21～24年度
H19.9.3.～ H21.10.30	148,191,750	3,775	縄文時代～近世 生産・集落	水田・畦畔・島畠・溝・流路 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・石器	西村歩 (吉田知史)	田中龍男 辻本 武 井上智博	平成19～21年度
H19.9.3.～ H21.10.30	155,209,950	3,791	縄文時代～近世 生産・集落	水田・畦畔・島畠・井戸・溝・土坑・流路 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・黒色 土器・瓦・木製品・鉄製品・石製品	金光正裕 (乾哲也)	島崎久恵 福佐美智子	平成19～21年度
H20.9.1.～ H22.8.31	199,185,000	3,982	中世～近世 生産	水田・畦畔・坪境・土坑 土器・陶磁器	西村 歩 (垣内拓郎)	駒井正明	平成20～22年度
		0	縄文時代～近世 生産	水田・島畠・溝・土坑・ピット・杭列 陶器・磁器・瓦・瓦質土器・土師器・須恵 器・弥生土器・鉄製品・木製品・土製品	塚本浩司		平成20～21年度

	遺跡(調査名)	調査地	受託事業名	工事・委託名	事業者	事業の種別
池島支所	28 池島・福万寺遺跡08-2〔調査〕	東大阪市池島町5丁目	一級河川恩智川治水緑地池島・福万寺遺跡Ⅱ発掘調査(その10)	池島・福万寺遺跡Ⅱ(その10-1)	大阪府寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成
	池島・福万寺遺跡06-2〔整理〕	東大阪市池島町4丁目		池島・福万寺遺跡Ⅱ(その6-1)		
	29 池島・福万寺遺跡09-1〔調査〕	八尾市福万寺町6丁目	一級河川恩智川治水緑地池島・福万寺遺跡Ⅱ発掘調査(その11)	池島・福万寺遺跡Ⅱ(その11-1)	大阪府寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成
	池島・福万寺遺跡07-1〔整理〕	八尾市福万寺町8丁目		池島・福万寺遺跡Ⅱ(その7-1)		
	30 池島・福万寺遺跡09-2〔調査〕	東大阪市池島町7丁目	一級河川恩智川治水緑地池島・福万寺遺跡Ⅱ発掘調査(その12)	池島・福万寺遺跡Ⅱ(その12-1)	大阪府寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成
	池島・福万寺遺跡07-2〔整理〕	東大阪市池島町7丁目		池島・福万寺遺跡Ⅱ(その8-1)		
南部調査事務所	31 池内遺跡08-2・三宅西遺跡08-1〔調査・整理〕	松原市天美北1丁目・三宅西5・6丁目	都市計画道路 大和川線外 池内遺跡(その3)・三宅西遺跡(その2)発掘調査委託	池内遺跡(事業者発注)	大阪府富田林土木事務所	道路建設
	池内遺跡08-1〔整理〕	松原市天美北1・6丁目		池内遺跡(その4)		
	池内遺跡09-1・三宅西遺跡09-1〔調査・整理〕	松原市三宅西5～7丁目		池内遺跡・三宅西遺跡(事業者発注)		
	三宅西遺跡09-2〔調査・整理〕	松原市天美東5丁目		池内遺跡・三宅西遺跡(事業者発注)		
	32 池内遺跡09-2〔調査〕	松原市天美東4丁目	都市計画道路 大阪河内長野線 池内遺跡発掘調査委託	池内遺跡(府道その1)	大阪府富田林土木事務所	道路建設
	33 池内遺跡09-3〔調査〕	松原市天美東2・4丁目地内	都市計画道路 大阪河内長野線 池内遺跡(その2)発掘調査委託	池内遺跡(府道その2)	大阪府富田林土木事務所	道路建設
	34 太井遺跡09-1・余部日置荘遺跡09-1〔調査〕	堺市美原区太井地内他	大阪府営水道中期整備事業「バイパス送水管布設工事」に伴う太井・余部日置荘遺跡発掘調査委託	太井・余部日置荘遺跡	大阪府水道部南部水道事業所	送水管布設
	35 下池田遺跡07-1〔整理〕	岸和田市下池田町3丁目	大阪府営岸和田下池田住宅民活プロジェクトに伴う下池田遺跡発掘調査	下池田遺跡(PFI)	(株)奥村組 関西支店(大阪府住宅まちづくり部住宅経営室住宅整備課)	集合住宅建設
	36 大和川今池遺跡07-1〔整理〕	堺市北区常磐町3丁目・松原市天美西8丁目	都市計画道路 大和川線 大和川今池遺跡(その2)遺物整理委託	大和川今池遺跡(その2)	大阪府富田林土木事務所・堺市	道路建設
	37 大和川今池遺跡06-1〔整理〕	松原市天美西3丁目・大阪市東住吉区矢田7丁目	都市計画道路 大和川線外 大和川今池遺跡遺物整理委託	大和川今池遺跡	大阪府富田林土木事務所	道路建設
	38 若山遺跡08-1〔調査〕	松原市上田6丁目	(仮称)松原ポンプ場築造工事に伴う若山遺跡発掘調査委託	若山遺跡	大阪府水道部南部水道事業所	ポンプ場建設
	39 若山遺跡08-1〔整理〕	松原市上田6丁目地内	(仮称)松原ポンプ場築造工事に伴う若山遺跡遺物整理委託	若山遺跡	大阪府水道部南部水道事業所	ポンプ場建設
	40 三宅西遺跡隣接地09-1〔確認〕	松原市三宅西5丁目	都市計画道路 大和川線今井戸川取水施設整備工事に伴う三宅西遺跡隣接地確認調査委託	三宅西遺跡隣接地	大阪府富田林土木事務所	道路建設
41 大和川今池遺跡09-1〔調査〕	松原市天美西4・7丁目地内	都市計画道路 大和川線 大和川今池遺跡(その3)発掘調査委託	大和川今池遺跡(事業者発注)	大阪府富田林土木事務所	道路建設	

受託契約期間	今年度事業費	今年度面積	時期・性格	主な遺構・遺物	担当者		備考
H20.9.1.～ H22.9.30	209,034,000	3,666	縄文時代～近世 生産・集落	水田・島島・坪境・畝溝・溝・土坑・掘立柱 建物・ピット・井戸 弥生土器・土師器・須恵器・韓式系土器・黒 色土器・瓦器・陶磁器・銭貨・金属製品・石 製品・木製品	後藤信義 (飯田浩光)	井西貴子	平成20～22年度
		0	縄文時代～近世 生産・集落	水田・畑・坪境・溝・土坑・ピット・杭列 陶器・磁器・土師器・瓦・瓦器・瓦質土器・ 須恵器・弥生土器・縄文土器・鉄器・石器・木 製品・石製品・土製品・銅鏡	陣内暢子		平成20～21年度
H21.6.1～ H23.6.30	118,755,000	3,826	縄文時代～近世 生産・集落	水田・畦畔・島島・溝	若林幸子	(藤田憲司)	平成21～23年度
		0	縄文時代～近世 生産・集落	水田・畦畔・島島・溝・流路 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・石器	井上智博		
H21.6.1～ H23.6.30	94,080,000	4,220	縄文時代～近世 生産・集落	水田・畦畔・島島・溝	三宮昌弘	(入江正則)	平成21～23年度
		0	縄文時代～近世 生産・集落	水田・畦畔・島島・井戸・溝・土坑・流路 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・黒色 土器・瓦・木製品・鉄製品・石製品	島崎久恵		
H20.8.1～ H22.3.31	30,000,600	978	縄文時代～古代 集落	流路・溝・井戸・土坑・ピット 縄文土器	正岡大実		
		0	縄文時代～中世	掘立柱建物・土器廃棄土坑・溝・ピット・土 坑・落込み・流路 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・黒色 土器・瓦器・瓦質土器・陶磁器・石鏡・移動 式竈	正岡大実		
		270	縄文時代～古代 集落	流路・溝・土坑・ピット	正岡大実		
		794	中世～近世	水路	正岡大実		
H21.6.1～ H22.3.31	38,358,600	3,112	古代～中世 集落・生産	鋤溝・溝・土坑・掘立柱建物・ピット	川瀬貴子		
H21.11.2～ H23.11.30	21,114,450	3,036	古代～中世 集落・生産	掘立柱建物・ピット・溝・水路・土坑	川瀬貴子		平成21～23年度
H20.7.1～ H22.3.31	15,258,600	734	中世 生産	畦畔・土坑・溝・轍・谷状地形 土師器・須恵器・瓦器・陶磁器・旧石器	市村慎太郎		
[整理] H20.8.1～ H21.7.31	2,916,900	0	弥生時代～古墳 時代・近代	竪穴住居・掘立柱建物・井戸・ピット・流 路・溝・土坑・粘土採掘坑 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・瓦質土 器・陶磁器・瓦・石器・銅壺・レール・銅 鏡・絵画土器	市村慎太郎		平成20～21年度
H21.3.2～ H21.7.31	2,462,250	0	弥生時代～近世 集落・生産・道 路	道路遺構・大畦畔・溝・鋤溝・ピット 土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・瓦質土 器・陶器・磁器・瓦・鉄・石器・木製品	三宮昌弘		平成20～21年度
H20.9.1～ H21.8.31	4,608,450	0	弥生時代～中世 集落・古墳・生 産	掘立柱建物・古墳周濠・埴輪棺・井戸・土 坑・溝・柱穴・水田・自然流路 弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・瓦 器・瓦・陶磁器・埴輪・木製品・石製品・金 属製品・土製品	森屋美佐子		平成20～21年度
H20.9.1～ H21.12.28	152,057,850	12,850	中世～近世 生産	水田・鋤溝・落込み・溝・井戸・流路 土師器・須恵器・瓦器・陶磁器・瓦・木製 品・銭貨	榎本 哲	辻本 武(～9月) 林日佐子(9月～)	平成20～21年度
H22.1.4～ H22.8.31	6,350,400	0	中世～近世 生産	水田・鋤溝・落込み・溝・井戸・流路 土師器・須恵器・瓦器・陶磁器・瓦・木製 品・銭貨	榎本 哲		平成21～22年度
H21.7.1～ H21.9.30	4,223,100	235	縄文時代～古代 集落	土坑・ピット・溝・流路 土師器・須恵器・瓦器	正岡大実		平成21年度
H22.1.4～ H22.5.31	4,334,400	664	弥生時代～中世 集落・古墳・生 産	土坑・柱穴 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・瓦・陶磁 器	森屋美佐子		平成21～22年度

## (2) 主な調査の概要

### a. 京阪調査事務所

#### 1. 上私部遺跡 07 - 1〔整理〕

上私部遺跡は交野市青山町に所在する。古墳時代から中世にかけての遺跡で、特に古墳時後半の集落構造を具体的に把握する上で、好材料となる。土師器、須恵器、瓦器、瓦質土器、磁器、木器、金属器などが出土し、分量はコンテナにして約 35 箱分である。その成果は平成 20 年 8 月 31 日に刊行した発掘調査報告書『上私部遺跡Ⅲ、有池遺跡Ⅲ』にまとめた。本文 120 ページと写真図版 33 からなる。他方、遺物・写真・図面の収納作業、および各種台帳の作成を行って、整理作業を終了した。

#### 2. 上私部遺跡 08 - 1〔整理〕

上私部遺跡は交野市青山町に所在する。既往の上私部遺跡調査区に隣接する箇所調査で、従来の調査の空白地を埋めるように、住居址等を検出した。その成果は有池遺跡 07 - 1・上私部遺跡 07 - 2 の調査成果とともに、平成 20 年 8 月 31 日に刊行した発掘調査報告書『上私部遺跡Ⅲ、有池遺跡Ⅲ』にまとめた。本文 210 ページと写真図版 33 からなる。他方、遺物・写真・図面の収納作業、および各種台帳の作成を行って、整理作業を終了した。

#### 3. 有池遺跡 07 - 1・上私部遺跡 07 - 2〔整理〕

有池遺跡および上私部遺跡は交野市青山町を中心として広がる。既往の有池遺跡および上私部遺跡調査区に隣接する箇所調査で、従来の調査の空白地を埋めるように、住居址や溝等を検出した。その成果は有池遺跡 08 - 1 の調査成果とともに、平成 20 年 8 月 31 日に刊行した発掘調査報告書『上私部遺跡Ⅲ、有池遺跡Ⅲ』にまとめた。本文 210 ページと写真図版 33 からなる。他方、遺物・写真・図面の収納作業、および各種台帳の作成を行って、整理作業を終了した。

#### 4. 私部南遺跡 06 - 1〔整理〕

平成 17 年 7 月から平成 20 年月にかけて行なった遺跡西部の調査区 11,600 m<sup>2</sup> から出土したコンテナ約 500 箱分の遺物整理を実施した。

その結果、縄文時代では土坑より中期末から後期初頭の限定された段階の資料や、姫川産の翡翠原石や、長野県産の黒曜石が含まれていることが明らかになった。

弥生時代では前期新段階から中期初頭にかけての土器や石器が確認され、東側約 500 m 離れた地点で検出された竪穴建物を主とする遺構群とは異なる集団の存在が確認された。

古墳時代では中期後半から後期にかけての遺物が確認され、中でも韓式系土器や、縄蓆文タタキの施された陶質土器、轆轤を用いた土師器の存在は、当該期の集団の出自を推測する上において示唆的である。

飛鳥から奈良・平安時代では土器を中心として、円面硯や墨書土器、青銅製帯金具、東海産陽刻花文緑釉三足壺片など特徴ある資料の存在が注目される。

鎌倉から室町時代にかけては遺物量は少ないが、龍泉窯系青磁の托蓋など後半段階の資料の中に重視される遺物が含まれている。

これらは、交野台地の歴史に新たな 1 頁を加えるばかりでなく、北河内地域の開発史を知る上においても重要視される。

#### 5. 有池遺跡 09 - 1〔調査〕

第二京阪道路建設に伴う発掘調査である。有池遺跡は大型の屋敷地をはじめとする中世集落を広範囲にわ

たって検出しており、当時の景観を解明する上での好例となった。このため、細かな未調査部分についても発掘調査が必要とされ、実施した調査である。今回検出した柱列は、遺物が出土しておらず時期の特定は難しいが、掘立柱建物の妻側の柱列と考えるならば、これまで考えられている集落の範囲がさらに北東へ広がる可能性を示すものであろう。

## 6. 上私部遺跡 09-1〔調査〕

第二京阪道路の常時環境監視施設設置工事に伴う調査である。今回の調査地は、上私部遺跡でも北西端に位置し、過去に当センターにより調査が行われた上私部遺跡 03-1 の北西に位置する。過去の調査により、上私部遺跡 03-1 北端から有池遺跡 03-2 南端にかけては、谷状地形が検出されている。これは、段丘上の埋没谷と考えられており、上私部遺跡 03-1 調査では溝 21 と称されている。調査の結果、調査地内全域がこの 03-1 調査の溝 21 内の延長であることがわかった。掘削深度内における層は、03-1 調査溝 21 第 1 層までに対応する。この層の時期は 14 世紀中頃とされており、今回の出土遺物もこれと矛盾しない。

## 6. 上私部遺跡 09-1〔調査〕・上の山遺跡 09-1〔調査〕・私部南遺跡 07-1〔調査・整理〕

私部南遺跡 07-1 は、第二京阪道路建設に伴う発掘調査で、最後の大規模調査である。調査は本体工事と同時併行で進められ、平成 22 年 2 月に終了している。以後、整理作業に移行している。上私部遺跡 09-1・上の山遺跡 09-1 は、当該遺跡内でこれまでの調査で未調査であった部分の発掘調査である。

私部南遺跡 07-1 では、開析谷によって区分された 4 箇所の高燥な平坦面で古墳時代から平安時代までの建物跡や土坑・溝などを検出している。この内、6 世紀後半の須恵器が出土する溝からは、スラグや鞆の羽口とともに、鍛造剥片が出土しており周辺で小鍛冶を行っていたことが推測できる。上の山遺跡 09-1 では、飛鳥から奈良時代の遺構を検出しており、集落の範囲が北西側に広がりを見せることがわかった。上私部 09-1 では以前の調査で検出している段丘上の埋没谷を確認し、5・6 世紀代の集落が営まれた埋没谷南西側の段丘の範囲がさらに西へ延びることが確認できた。

## 7. 上の山遺跡 09-2〔調査〕

上の山遺跡 09-2 では、弥生時代中期の方形周溝墓 3 基、古墳時代・飛鳥時代の集落跡が検出された。本調査により、上の山遺跡の北側では弥生時代中期前半の墓域がひろがっていたことがわかる。また調査地は、茄子作遺跡から上の山遺跡南部へと広がる古墳時代の集落域の北端であることが明らかになった。

## 8. 津田遺跡 08-2〔調査・整理〕

第二京阪道路の建設工事に伴い埋め立てられた池の代替池工事に先立つ調査である。旧石器時代以降の遺物と、飛鳥時代から安土桃山時代までの各時代の遺構を検出した。

飛鳥時代～奈良時代では、落ち込みや包含層から出土した火頭形三尊埴仏、小形独尊埴仏、鋳型が特筆される。須恵器をはじめ、土師器や瓦も出土した。

平安時代では、3 基の火葬墓を調査した。3 基とも土器は口縁部が打ち欠かれ、逆位に据えられていた。いずれも 9 世紀から 10 世紀前半の所産で、尾張、播磨、美濃といった他地域産である。

鎌倉時代は遺構が最も多い。青磁碗 2 点、青磁皿 3 点、瓦器椀 1 点、鉄製短刀 1 振、鉄釘などの一括遺物を伴った墓や、床面に大石や炉のある竪穴などを検出した。さらに、溝や多くの石を使って構築された遺構も調査した。

安土桃山時代では、寺と推定される礎石建物がある。多量の瓦に加え、懸仏尊像部や線刻十一面観音鏡像などの青銅製品も出土した。阿弥陀如来の石仏列もみられた。

以上のように、古代～中世を通じて、この調査地が生産や信仰の場であったことが明らかとなった。

## 8. 津田遺跡 08－1〔整理〕

津田遺跡は枚方市津田南町1丁目他に所在する。古代から中世までの溝、土坑、素掘小溝群、自然流路などを検出した。主な出土遺物は、弥生土器、土師器、須恵器、瓦器、瓦質土器、瓦、五輪塔である。

整理作業として、分類、抽出、遺物接合、石膏復原、実測図作成、実測遺物台帳作成、実測、写真図版作成などを行った。

遺物整理の結果、縄文時代では、土器片とサヌカイト製楔形石器が認められた。弥生時代では、中・後期の土器やサヌカイト剥片がみられた。奈良・平安時代の溝からは、土師器や須恵器が出土した。鎌倉・室町時代では、流路と洪水砂層から鎌倉時代を中心とする土師器、須恵器、瓦器、瓦質土器、陶器、瓦、五輪塔が出土した。室町時代と推定される花崗岩製の五輪塔の空・風輪も出土した。

## 9. 讚良郡条里遺跡 09－1〔調査〕

寝屋川北部地下河川讚良立坑築造工事に伴う発掘調査である。

調査は古墳時代から近世まで4面の遺構面を検出した。特に、第4面では古墳時代中期から後期にかけての竪穴建物・掘立柱建物・溝などの遺構や、韓式系土器をはじめ多くの遺物が出土し、集落域であったことを明らかになった。また集落廃絶後の土地利用の変遷も追うことが出来た。第2面で検出した北側の高まりは第二京阪道路建設に伴う発掘調査の03－6調査区から続く奈良時代から平安時代の集落域の南限にあたり、それより南は水田と畠の耕作地となる。中世には湿地のような景観が広がり、近世前半に再び水田開発が行われ全域が水田化される。

## b. 中部調査事務所

### 11. 吹田操車場遺跡 09－1〔調査〕

今年度の調査は基盤整備工事（貨物専用道路）に伴うもので、片山荒池遺跡の南東に位置し吹田操車場遺跡においては西端に当たる。調査地の旧地形は東から西へと緩やかに下降する。東側の丘陵に近く高位の部分には中世墓や古代・弥生時代の土坑などが構築されており居住域に近い環境にあったと思われる。一方、低位となる西側は古墳～古代においては湿地状の環境にあった。低位部が埋まって行く中で、古代以降近代に至るまで連綿と耕作地が営まれていた。

### 12. 吹田操車場遺跡 09－3〔調査〕

今回の調査は、北部大阪都市計画事業吹田操車場跡地土地区画整理事業に先立ち、岸辺駅北交通広場や区画街路・防火水槽等に当たる箇所を対象とした。

主な成果として、古墳時代後期から古代にかけて掘削された粘土採掘坑と考えられる150基を越す土坑があげられる。また、飛鳥～奈良時代の流路とピット群が検出されたことから当該時期の集落の存在が想定される。ほかに、縄文時代晩期の土器やサヌカイト製の石鏃、弥生土器が出土したことから当該時期にすでにこの地で人々が活動をおこなっていたことが明らかとなった。

### 14. 新上小阪遺跡 08－1〔調査・整理〕

平成20年度から継続して行なっている府営住宅建替え工事に伴う調査である。現地での調査は平成21年8月末までで、現在は平成22年11月の報告書刊行に向けた、整理作業を行なっている。調査では弥生時代中期後半の方形周溝墓が3基検出され、遺跡の南半部にこの時期の墓域が広がっていることが確認された。また古代の遺物の中には、重圈紋軒丸瓦をはじめとする多くの瓦や埴、凝灰岩切石などのほか、硯や製塩土器、灰釉・緑釉陶器、新羅系土器など、近隣に役所などの公的な施設や寺院が存在した可能性を示すものが多く含

まれていた。

#### 14. 新上小阪遺跡 09 - 1 [調査・整理]

新上小阪遺跡 08 - 1 調査地の北側に面する道路下の下水管理設工事に伴う発掘調査である。下水マンホールを設置するための竪坑部 2 箇所調査で、調査面積は両区併せて 19.2 m<sup>2</sup>である。平成 21 年 5 月 8 日に着手し、同 6 月 2 日に終了した。調査では、08 - 1 調査区からつづく遺物包含層が確認できたが、遺構は検出できなかった。

#### 17. 植松遺跡 08 - 1 [調査・整理]・18. 植松遺跡 08 - 1 [整理]

府営住宅建て替え工事に伴う調査である。昨年度に引き続き、住棟部に相当する調査区において、発掘調査および基礎整理作業をおこなった。古墳時代後期から平安時代初頭に堆積した大規模な洪水砂（旧平野川堆積砂）を除去したところ、古墳時代前期の遺構面を確認した。集落を限ると推測される溝の埋土およびその周辺では、古式土師器の破片が多量に出土した。

さらに下層では、T.P.+6.0～6.2 m 深度において、弥生時代前期に遡る水田跡を検出した。水田耕作土からは、弥生土器のほか、緑泥片岩製石庖丁の破片が出土した。



17. 集落を限る溝と土器だまり（古墳時代前期）

調査終了後、引き続き整理作業をおこなった。その結果、古墳時代前期土器だまり庄内式新段階～布留式古段階を中心とすること、また完形復元できるものが少なく実生活の道具であることがわかり、当該時期に確実に人々の起居があったことを追認した。また、採取した土壌の花粉分析をおこなった結果、中世の水田ではイネを、畑地ではソバを栽培した可能性が示された。

#### 20. 北鳥池遺跡 09 - 1・若江北遺跡 09 - 1 [調査]

大阪府東部水道事業所によって進められている大阪府営水道の中期整備事業である系統連絡送水管布設工事に伴う、立坑築造箇所の調査である。平成 21 年度は、東大阪市若草町所在の北鳥池遺跡の調査を実施した。弥生時代から古墳時代の遺構面でピット等を、中世の耕作面で畦畔、溝、土坑等を検出した。引き続き、平成 22 年度に東大阪市若江新町所在の若江北遺跡の調査を実施する。

#### 21. 久宝寺遺跡 09 - 1 [調査・整理]

久宝寺遺跡 09 - 1 では、中世、古墳時代初頭、弥生時代前期の遺構面等を確認した。これらのうち、古墳時代初頭期の遺構面では、基幹水路と周溝墓と想定される溝を検出した。当該期の調査地付近では、集落域と墓域が展開していた可能性が高いと判断できる。また弥生時代前期の遺構面では、溝と土坑を検出した。

#### 22. 片山荒池遺跡隣接地 09 - 1 [確認]

J R 吹田駅近傍の貨物専用道路新設に先立つ確認調査で、線路沿い約 200 m の範囲に 4 か所のトレンチを設定した。

大正時代以降に建設された吹田操車場、それ以前の作土層、中世以前の遺構面などを検出した。なかでも中世以前の遺構面では、溝、土坑、ピットなどの遺構を検出した。出土遺物は、瓦器、白磁、土師器、須恵器などであった。

### 23. 止々呂美城跡隣接地 09 - 1 [確認]

止々呂美城跡隣接地は、箕面市北部の下止々呂美に所在し、周知の遺跡である止々呂美城跡の東隣接地である。調査地は両側を山に挟まれた谷部分であり、事業地内中央の谷最低部には余野川に注ぐ小河川である奥山川が流れる。事業地内に8箇所のトレンチを設定し調査を行った。調査の結果、各トレンチとも最上部で近代の遺物を含む層を確認したものの、以下地山層までは大小様々な砂礫からなる堆積層だった。中には1mほどの礫も含むトレンチもあった。これらの層からの出土遺物はなく堆積時期は不明である。このように近代を遡る人為的な層は皆無であり、隣接する止々呂美城跡に関わる遺構、遺物などは確認できなかった。

### 25. 池島・福万寺遺跡 07 - 1 [調査]

この調査は、恩智川治水緑地建設に伴って実施したもので、昨年度から継続して調査をおこなった。この調査地は福万寺Ⅱ期地区の北西部と北東部の2か所にわかれていたが、今年度は後者を中心に調査をおこなった。特筆すべき遺構としては、11世紀後半から12世紀中頃に属する溜池があげられる。これは長径20m以上、深さ約2mで、最下層を中心に瓦器椀や土師器杯などが出土した。

### 26. 池島・福万寺遺跡 07 - 2 [調査]

平成19年度から継続して実施している恩智川治水緑地建設に伴う調査である。調査地はⅡ期地区の南西部に位置している。

今年度の調査では弥生時代前期から中期にかけて4面の水田面を検出した。弥生時代中期初頭と後葉の水田面の間で、新たに水田面を検出した点は特筆できる。

前期の遺構面では排水、取水路を伴って良好に水田域を検出したが、中期に比してその範囲は小さい。低地部分は水田として利用されず、投弾と考えられる自然礫が数点出土しており、土地利用の違いが考えられる。



26. 弥生時代前期の水田検出状況

### 27. 池島・福万寺遺跡 08 - 1 [調査]

近世～弥生時代後期の遺構面の調査を実施した。このうち近世～平安時代中・後半の遺構面では、調査区南半を東西方向に延びる坪境畦畔及びそれに取り付く畦畔や、南北方向の島畠を検出した。さらに奈良時代半ばの遺構面では、北流する流路をこの坪境に沿って付け替えるために打設した杭を検出。その下層では流路と坪境の交点に据えた石も見つかった。

弥生時代後期の遺構面では、微高地とその縁辺を北流する流路、ならびに小規模な畦畔によって区画された水田を検出した。

### 28. 池島・福万寺遺跡 08 - 2 [調査]

昨年度から継続して発掘調査を実施している。今年度は古墳時代前期～中期の集落跡および水田跡、弥生時代中期後葉の水田跡と水利施設などを検出した。古墳時代面では掘立柱建物6棟、井戸、溝などを検出した。

特筆すべき遺物として、古墳時代前期の井戸から陶質土器が土師器と共に出土した。さらに包含層中ではあるが、



28. 弥生時代中期後葉の遺構面

ヒスイ製の勾玉が1点出土した。弥生時代中期後葉の遺構面では、水田遺構の他に流路から用水を引き込むための堰と水路がセットで検出され、当時の水利技術の高さを理解する上で良好な資料であるといえる。

#### 28. 池島・福万寺遺跡06－2〔整理〕

本調査は、恩智川治水緑地建設に伴う調査の池島Ⅱ期地区の中央東部に位置する。古墳時代以降は、各時期の人為的行為によって大きく削平を受けており、各面の出土遺物は混入と思う遺物が多かった。その中で、特記すべきは、水田部分と思われる所から出土した小形仿製鏡である。弥生時代前期末から中期初頭の第13面で、当遺跡として初めて集落域と考えられる遺構群が確認され、その時期の土器やサヌカイト片が出土している。整理作業は完了し、12月末に報告書『池島・福万寺遺跡9』として刊行した。

#### 29. 池島・福万寺遺跡09－1〔調査〕

福万寺Ⅱ期地区南西に位置し、河内郡字走十四ノ坪にあたる。平成21年度は8月に現地調査が始まり、近世から中世の10面以上の遺構面の調査を行った。耕作地であり、条里地割に沿った南北方向の水田畦畔・島畠を検出し、洪水砂に覆われた遺構面は遺存状態が特に良好であった。中世から島畠が比較的多く構築される場所であり、複雑に出現、拡張していく。調査区中央に位置する2条の島畠は特に規模が大きく中世初期から拡張しながら継続する。こうした島畠を境に東西で標高が異なり、調査区東部と西部とでは20cmを越える標高差がある。



29. 中世後期水田・島畠

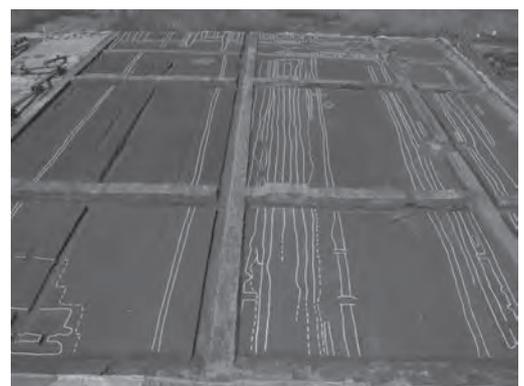
#### 29. 池島・福万寺遺跡07－1〔整理〕

池島・福万寺遺跡07－1は恩智川治水緑地建設に伴い調査したもので、調査終了後、引き続いて整理作業を実施した。整理では主に、周辺調査区との関係も含めた層序の検討と、遺物の接合・実測をおこなった。後者については中世後期に属する銭貨51枚、古墳時代後期の滑石製白玉・管玉・ガラス小玉、弥生時代後期・前期の土器などが含まれる。

#### 30. 池島・福万寺遺跡09－2〔調査〕

今年度の7月より着手、本格的な調査は9月からとなった。今年度の調査は近世から古代にかけての条里地割りの耕作区画・島畠などを検出した。

3月現在、最古の条里地割りの存在する第9面まで達している。周辺の既存の調査では検出されていなかった島畠も検出できた。他、最古条里の年代が既往の調査より新しくなる可能性が出てきた。遺跡内の東寄り西側より層も収斂してきており、南北に隣接する調査区との層序の検討が課題である。



30. 東半第9面

#### 30. 池島・福万寺遺跡07－2〔整理〕

平成19～21年度に実施した調査の整理事業である。調査では中世から近世にかけて条里地割にもとづく水田、畠跡を検出した。古代の遺構面では南北方向の溝を検出した。古墳時代では微高地上でピット、土坑を多く検出し、弥生時代では前期から中期の水田面4面を検出した。遺物、遺構の基礎整理を行い、上記の調査成果とあわせて再検討し、平成22年度刊行にむけ報告書作成を行っている。

## **c. 南部調査事務所**

### **31. 三宅西遺跡 09－2〔調査・整理〕**

古墳時代～古代では、09－2－2区で掘立柱建物・溝・土坑などを検出した。この時期の居住域は小規模で、従前の調査では、東・中央・西部の3箇所で検出されているが、今回の調査で、西南側でも新たな居住域を検出することができた。中世以降は、ほぼ全域で耕作に伴う溝を確認し、耕作地としての景観が復元できる。09－2－1区の23水路では、13世紀代の瓦器椀が出土したことから、現今井戸川の前身の灌漑用の水路が整備されていた様子を窺うことができた。

### **34. 太井遺跡 09－1・余部日置荘遺跡 09－1〔調査〕**

太井遺跡と余部日置荘遺跡は、堺市の東部に位置する。西除川を挟み、東側の右岸に太井遺跡、西側の左岸に余部日置荘遺跡が位置する。今回の調査地は、両遺跡とも過去に当センターの前身組織である（財）大阪文化財センターが調査を行った阪和自動車道建設に伴う調査地に近接する。

太井遺跡 09－1は遺跡の西端で、西除川の谷底平野に位置する。僅かに出土した遺物から、少なくとも13世紀以降の西除川氾濫原の堆積状況が確認できた。今回の調査地は、中世以降になりようやく積極的な活動痕跡が見られるようである。余部日置荘遺跡 09－1は遺跡の中央で、中位段丘に位置する。調査の結果、谷埋没に伴うと推定される轍痕跡や、この谷埋没と連動し8世紀頃に条里開発に伴い掘削され、9世紀頃に埋没したと推測される用水路が検出された。これ以後、隣接調査地では10世紀などの遺構が検出されているが、今回の調査地では様相不明であり、13世紀になり耕作地として再開発されている。なお、当該期には河内鑄物師の中心集落である当遺跡を象徴する鑄造関連遺物が少数見られた。

### **35. 下池田遺跡 07－1〔整理〕**

遺跡は岸和田市下池田町に所在する。昨年度に引き続き整理作業を行った。報告書作成の終盤であり、編集、遺物写真再編集、収納作業等を4月中に行った。その後入稿し校正作業を経て、最終的に7月に報告書を刊行し、すべての事業を終了した。報告書では、多数出土した第Ⅴ様式～庄内式の土器の計量分析や、煉瓦生産にかかわると推測された粘土採掘坑出土のトロッコ用ルールについての検討なども行い、当遺跡の地域での位置づけを図った。

### (3) 保存処理事業

平成 21 年度保存処理事業一覧

調査事業に関連して以下の通り保存処理事業を実施した。

遺跡名	処理種別	処理方法	処理数量
近畿道関連	木製品	整理・点検	1,000 点
大坂城遺跡	木製品	整理・点検	1,000 点
池島福万寺遺跡	木製品	整理・点検	200 点
山賀遺跡	木製品	整理・点検	200 点
讃良郡条里遺跡	木製品	PEG-FD 処理	100 点
大坂城Ⅲ遺跡	木製品	PEG-FD 処理	3,000 点
植松遺跡	木製品	PEG-FD 処理	50 点
新上小阪遺跡	木製品	PEG-FD 処理	50 点
玉櫛Ⅲ遺跡	木製品	PEG-FD 処理	70 点
花屋敷遺跡	木製品	PEG-FD 処理	100 点
奥山遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	60 点
讃良郡条里遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	30 点
巢本遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	30 点
池内遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	10 点
下池田遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ 10 箱
有池・上私部遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ 10 箱
吹田操車場遺跡	動物遺体	分類・鑑定	コンテナ 10 箱
池島福万寺遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ 10 箱
池内遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ 10 箱
津田遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ 10 箱
X線調査	各種遺物	X線透視撮影	金属・有機遺物 50 点

PEG: ポリエチレングリコール FD: 真空凍結乾燥を示す。

### (4) 現地説明会等

平成 21 年度現地説明会・現地公開等は次のとおり実施した。

実施年月日	内容	対象者	場所	参加人数
5 月 16 日	私部南遺跡現地公開	一般	私部南（その 3-2）	174
5 月 23 日	新上小阪遺跡現地公開	一般	新上小阪（PFI）	392
7 月 4 日	池島・福万寺遺跡現地公開	一般	池島・福万寺（その 10-1）	128
2 月 6 日	池内遺跡現地公開	一般	池内（府道その 2）	193
2 月 20 日	池島・福万寺遺跡現地公開	一般	池島・福万寺（その 10-1）	170
			計	1,057 名

## 池島・福万寺遺跡08-2現地公開

古墳時代前期の集落跡および水田遺構が良好な状態で検出されたため、平成21年7月4日（土）に現地公開を実施した。当日は説明のほかに、水田畦畔の検出作業を実演して発掘調査への理解を求める工夫した。参加者数は128名であった。さらに調査を進めていく中で、弥生時代中期後葉の水田遺構が、流路から用水を取り込む水利施設などと共に良好な状態で検出されたため、平成22年2月20日（土）に現地公開を実施した。当日は参加者に遺構検出を体験してもらうなど参加型の公開を目指し好評を得た。参加者数は170名であった。



遺構検出をおこなっている様子

## 4. 資料活用事業

### A. 文化財体験学習事業

#### (1) 体験学習等の受け入れ

実施年月日	内容	対象者	場所	参加人数
7月27日～ 7月31日	夏季集中講座「考古学入門」	大阪府立今宮高校2年生	池島支所・池島・福万寺遺跡Ⅱ（その10・11）	6
10月15日	平成21年度古代史研修	和光高校2年生	池島支所・池島・福万寺遺跡Ⅱ（その9・10）	28
12月8日～9日	「職業体験学習」	東大阪市立池島中学校2年生	池島・福万寺遺跡Ⅱ（その11）	4
2月2日～3日	「職業体験学習」	東大阪市立石切中学校2年生	池島・福万寺遺跡Ⅱ（その12）	6

計 44名

#### 今宮高校考古学講座

平成21年度、池島・福万寺遺跡では4回の体験学習を受け入れた。外業では土層観察、断面・平板測量の他、遺構や足跡を検出して掘削も行うことができ、生徒たちに好評であった。内業では遺物の洗浄・注記、接合、土器拓本を行った。接合する破片が見つかる歓声が上がっていた。発掘・整理作業を実際に体験する中で、過去の人々に思いをさせ、考古学の楽しさを感じてくれたようである。



今宮高校考古学講座

## (2) 発掘現場等の見学の受け入れ

実施年月日	内容	対象者	場 所	参加人数	備 考
10月1日～ 10月9日	発掘調査現場公開	一般	池島・福万寺遺跡Ⅱ（その9）	4	関西考古学の日関連事業
10月31日	「発見！体験！考古学」1回目 受入	一般	池島・福万寺遺跡Ⅱ（その12）	17	弥生文化博物館・近つ飛鳥博物館の発掘体験事業
11月7日	「発見！体験！考古学」2回目 受入	一般	池島・福万寺遺跡Ⅱ（その11）	12	弥生文化博物館・近つ飛鳥博物館の発掘体験事業
					計 33名

## B. 文化財資料収集事業

### (1) 文献及び文化財情報の収集・整理

① 平成21年度に購入および受贈等によって収集した図書は下記のとおりである。

購入図書	316冊
研究機関、行政機関等からの寄贈図書	2,269冊
計	2,602冊
累計	76,430冊

② 蔵書データベース、雑誌目次データベースの入力を行った。

蔵書データベースは総計76,300レコード。

③ 発掘調査資料の管理を行った。

遺物・写真・図面・各種台帳等を管理した。

### (2) 文化財情報のデジタル化

今年度、文化財情報のデジタル化事業については実施していない。

## C. 文化財資料提供事業

### (1) インターネット及び報道機関を通じての情報の提供

ホームページにより当センター情報を提供した。

インターネットを通じて、当センターの発掘・調査、イベント、出版等に関する情報を一般に公開し、より一層文化財の普及を図った。

当センターが開催した諸行事に関する情報及び現地説明会資料、展示会のリーフレット・ブックレット等をホームページに掲載公開した。また、報道機関にも積極的に情報提供した。

(2) 資料の出品、写真資料、ビデオなどの貸出

①資料の出品

平成21年度常設展示貸出し資料一覧

文書番号	貸出先	貸出展示等名称	貸出期間	資料名	点数
J09-01	大阪府立弥生文化博物館(移動記録)	弥生文化博物館 常設展示	H21.4.1 ~ H22.3.31	新家:1, 瓜生堂:2, 巨摩:6, 山賀:6, 亀井北:1, 亀井:26, 田山:47, 西大路:5, 脇浜:12, 貝掛:9	実物115
J09-02	大阪府立近つ飛鳥博物館(移動記録)	近つ飛鳥博物館 常設展示	H21.4.1 ~ H22.3.31	久宝寺:6, 美園:6, 小阪:40, 日置荘:2	実物54
J09-03	大阪府教育委員会 文化財保護課	泉北考古資料館 常設展示	H21.4.1 ~ H22.3.31	伏尾:家形埴輪1, 野々井西:弥生土器4/石器11/全景写真1, 陶器関連パネル4	実物16 写真5
J09-04	和泉市教育委員会	和泉市いずみの国歴史館 常設展示	H21.4.1 ~ H22.3.31	福瀬:墨書皿(寺)1/木製弓2/下駄2/匏台1/桶底板1/椀1/雁股式有茎鉢1/小刀1, 仏並:縄文土器(鉢)1/縄文土器(深鉢)1/土面レプリカ1/パネル2, 池田寺:縄文土器(深鉢)1/文字瓦(池田・堂)2	実物16 パネル2
J09-05	泉佐野市立歴史館いずみさの	歴史館いずみさの 常設展示	H21.4.1 ~ H22.3.31	上町東:白磁椀2, 若宮:檀波羅密寺銘平瓦8, 日置荘:鉄瓶1	実物11
J09-06	大阪府立狭山池博物館	狭山池博物館 常設展示	H21.4.1 ~ H22.3.31	城山:韓式土器5, 日置荘:青磁碗1	実物6
J09-07	吹田市立博物館	吹田市立博物館 常設展示	H21.4.1 ~ H22.3.31	吹田操車場:須恵器大型甕1	実物1
J09-08	堺市博物館	堺市立みはら歴史博物館 常設展示	H21.4.1 ~ H22.3.31	真福寺:梵鐘鑄造遺構切り取り1	実物1
J09-09	堺市博物館	堺市立みはら歴史博物館 常設展示	H21.4.1 ~ H22.3.31	真福寺:梵鐘鑄型等8/鑄型(外型)用途不明1/鑄型(外型)磬1/瓦器椀2/東播系こね鉢1/土師器羽釜1/鑄型(外型)鍋2/轆羽口2/円面硯1, 余部:磬鑄型2/釜鑄型1, 太井:轆羽口2/統一新羅印花文陶器1/延喜通寶3/坩堝4/轆羽口2/須恵器高杯1/丸靱1, さば山古墳:円筒埴輪2/朝顔形埴輪2, 丹上:巡方1	実物41
J09-10	大阪府教育委員会	府立泉北考古資料館 常設展示	H21.4.1 ~ H22.3.31	大庭寺:TG231号窯須恵器3/TG232号窯須恵器2	実物5
J09-11	独立行政法人国立文化財機構 九州国立博物館	九州国立博物館 文化交流常設展示「海の道、アジアの路」	H21.4.1 ~ H22.3.31	大庭寺:須恵器6	実物6
J09-12	独立行政法人都市再生機構 西日本支社	サンヴァリエ藤井寺集会所 展示コーナー		はざみ山:土師器甕1/土師器杯2/土師器把手付壺1/須恵器杯身3/須恵器杯蓋2/須恵器平瓶1/須恵器ハ/ウ2/須恵器高杯3/須恵器高杯蓋1/瓦器椀3/瓦器小皿2/瓦器小型椀1/黒色土器椀2/土師器小皿3/国府型ナイフ形石器3/有茎尖頭器1/石鏃2/凹石1/叩石3/砥石5/轆羽口5/須恵器紡錘車2/須恵器添容器5/須恵器蹄脚円面硯2/圈足円面硯1	

総点数329点

平成21年度貸出し資料一覧

番号	貸出先	展示等名称	期間	資料名	点数
M09-01	大阪府立弥生文化博物館(移動)	平成21年度春季特別展「弥生建築-卑弥呼のすまゝい-」	H21. 4. 8 ~ H21. 6. 8	男里: 絵画土器1, 西岩田: 柱1/梯子1, 八尾南: 壁溝はぎとり1/堅穴住居復原模型1, 新家: 扉2, 溝咋: 棟押?1, 野乃井: 杵状木製品1, 亀井: 縦斧1,	10
M09-02	大阪府立近つ飛鳥博物館(移動)	平成21年度春季特別展	H21. 4. 17 ~ H21. 7. 17	小阪合: 特殊器台形埴輪破片1	1
M09-03	八尾市歴史民俗資料館	平成21年度春季企画「タイムトリップ! 発掘 奄美操車場の歴史」	H21. 4. 20 ~ H21. 6. 26	久宝寺: 七ツ門耳環3/壺1/手あぶり形土器1/汽車土瓶1/陶器1/緑釉猪口1/1号墳模型1	9
			H21. 4. 13 ~ H21. 4. 30	久宝寺: 水田遺構1/墳墓群1/敷葉1/堰1/1号墳の全景1/七ツ門古墳の横穴式石室1/軌道敷1	7
M09-04	大阪歴史博物館	特集展示「難波遷都-大化改新がもたらした難波の変化-」	H21. 6. 8 ~ H21. 9. 4	大坂城址: 陶棺2/須恵器ハソウ6/須恵器壺7/土師器底部1/漉し布4, 大和川今池: 黒色土器椀3/瓦器皿1/緑釉陶器椀1/瓦器椀1/須恵器杯5	31
M09-05	島根県立古代出雲歴史博物館	企画展「出雲国誕生と奈良の都」	H21. 9. 30 ~ H21. 12. 22	難波宮跡: 1号木簡	1
			承諾日 ~ H21. 9. 30	〃	1
M09-06	堺市博物館	平成21年度秋季特別展「仁徳陵古墳築造-百舌鳥・古市の古墳群からさぐる-」	H21. 8. 25 ~ H21. 11. 20	大庭寺: TG232号窯須恵器22/TG231号須恵器1, 野乃井西: ON231号須恵器15	38
M09-07	交野市教育委員会	「発掘! 発見! 緑立つ道-第二京阪国道建設予定地の発掘成果-」	H21. 6. 30 ~ H21. 11. 2	東倉治: 石器石鏃2/石器搔器1/剥片8/石器石匙1/弥生土器8/ガラス玉2/管玉1, 倉治: 須恵器甕1/須恵器高杯1/須恵器杯1/須恵器杯蓋1, 有池: 土師器皿17/瓦器椀8/瓦器皿3, 上私部: 碧玉製管玉1/滑石製管玉1/滑石製剣形石製模造品1/滑石製双穴円盤2/滑石製紡錘車2/土師器平底鉢1/土師器高杯3/土師器埴1/土師器杯3/須恵器杯2/須恵器蓋杯7/須恵器蓋1/移動式竈(破片)3/新羅土器長頸壺1/須恵器杯6/土師器鉢1/土師器甕2/須恵器高杯蓋1/須恵器甕1/土師器壺1/須恵器はそう1	97
		「発掘! 発見! 緑立つ道-交野に緑の萌える頃-」	H21. 12. 1 ~ H22. 3. 29	私部南: 縄文土器深鉢1/弥生土器壺6/弥生土器甕1/動物型土製品(いのしし)1/土師器手焙形土器1/須恵器把手付甕1/須恵器円面硯2/備前焼甕1/黒曜石剥片1/ヒスイ原石1/石棒1/石包丁3/土製紡錘車1/滑石製紡錘車1/子持ち勾玉1/銅製巡方1/鉄釘3/火打ち金3/鑿1/錐1/鉄製品1/備前甕1	34
M09-08	下関市立考古博物館	平成21年度企画展「木の文化II-古墳時代の木器-」	H21. 10. 1 ~ H21. 12. 11	新家: 団扇形木製品1, 下田: 環形付木製品1/短甲1/組物(四方転びの箱)4, 西大井: 直弧文板1	8
			H21. 7. 31 ~ H21. 10. 26	新家: 団扇形木製品1, 下田: 環形付木製品1/短甲2/組物(四方転びの箱)1, 西大井: 直弧文板1	6
M09-09	寝屋川市教育委員会	寝屋川市立埋蔵文化財資料館企画展示「緑立つ道の遺跡たち」	H21. 9. 24 ~ H22. 5. 31	[旧石器]高宮1[縄文]讃良郡条里9[弥生]讃良郡条里13, 太秦: 7, 大尾3, 小路3[古墳]太秦古墳群7, 讃良郡条里32, 奥山1号墳26[飛鳥]寝屋南4[奈良~平安]讃良郡条里15[中世]高宮3	123
			H21. 9. 1 ~ H21. 10. 9	讃良郡条里2, 太秦1, 大尾1, 小路1, 太秦古墳群1, 奥山1号墳1, 高宮2, 寝屋南1	10
M09-10	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	平成21年度秋季特別展「銅鐸-弥生時代の青銅器製造-」	H21. 9. 17 ~ H21. 12. 3	池島・福万寺: 土製鑄型外枠5, 瓜生堂: 石製鑄型1, 亀井: 不明鑄型4/被熱変形土器2/銅鏃4/貨泉1/銅鐸破片2/小形製鏡1	20
			H21. 8. 11 ~ H21. 10. 9	瓜生堂: 石製鑄型1, 亀井: 不明鑄型1/銅鏃1/貨泉1/銅鐸破片2/小形製鏡1, 池島・福万寺: 土製鑄型外枠1	8
M09-11	吹田市立博物館	平成21年度秋季特別展「北摂の戦国時代」	H21. 8. 18 ~ H21. 12. 10	佐保栗栖山砦跡: 土師器小皿3/染付皿2/瓦器香炉1/香炉1/丹波壺1/瀬戸美濃鳥形水滴1/瀬戸美濃皿2/備前甕2/備前播鉢1/小柄1/基石1/三又鏃1/雁又鏃1/尖根鏃2/鉄板片4	24

MO9-12	尼崎市教育委員会	第39回尼崎市立田能資料館特別展「弥生人」	H21. 10. 29 ~ H21. 12. 16	山賀:足跡石膏型(大人)1/木偶1/三日月形垂飾1/三日月形石製品1/垂飾型木製品1/瓜生堂:足跡石膏型(子供)1,久宝寺:石製獣形勾玉1/石製石鏃形垂飾1	8
			H21. 10. 9 ~ H21. 10. 30	山賀:Bトレンチ人間足跡歩行状況1/13Bトレンチ人間足跡歩行状況1,亀井:冠形木製品1	3
MO9-13	大阪府立近つ飛鳥博物館(移動)	平成21年度秋季企画展「河内平野の集落と古墳」	H21. 9. 16 ~ H21. 12. 22	瓜生堂:土器6,亀井:鐸形土製品2,久宝寺:土器25/管玉4/ガラス玉6,佐堂/土器10,池島・福万寺:土器10,八尾南:土器9/石器4	76
MO9-14	大阪府立弥生文化博物館(移動)	平成21年度秋季企画展「大阪の宝物-出土品が歴史を語る-」	H21. 9. 4 ~ H21. 11. 19	粟生間谷:石鍋2/ガラス玉50/奈良三彩1,池島・福万寺:石製装飾品1/木製高杯1/卒塔婆1/鳥形土製品1,池田寺:文字瓦1,瓜生堂:絵画土器1/線刻須恵器(そりを引くウマ)1/銅鐸形土製品1/鳥形木製品1,大坂城跡:犬形土製品49/大型飾瓦1/家紋瓦2/家紋軒丸瓦5/桐文飾瓦2/金箔鬼瓦1/金箔瓦3/金箔軒平瓦5/基石28/コウガイ1/サイコロ1/尿瓶1/数珠玉1/将棋駒4/すごろく駒8/銭貨5/滴水桐文軒平瓦2/野点傘1/墓107取り上げ1/墨書土師器皿1/目貫13/文字線刻瓦3/木簡4/動物骨6,大庭寺:円面硯1/銅印1,亀井:絵画土器シカ2/彩文土器高杯1/彩文土器壺1/銅鐸形土製品2/滑石製臼玉36/滑石製剣形1/滑石製不明穿孔有5/滑石製勾玉7/鉄製釣針1/鉄鏃2/鉄製穂筒具1,河原城:中空円面硯1,観音寺:五輪塔スタンプ文のある平瓦1/スタンプ文字のある1/年号線刻灯明台1/文字線刻瓦1/文字線刻灯明台1,久宝寺:石棒1/土偶3/割竹形木棺1,小阪合:鳥形土製品1/墨書土器5/饒益神寶2/承和昌宝1/長年大宝1/富寿神宝2/隆平永宝1/和同開珎30,小阪:鳥形はそう1,巨摩:スタンプ文土器1,駒ヶ谷:奈良三彩小壺1,金剛寺:土師器小皿墨描絵画1,佐堂:線刻土製品1/墨書土器2,讃良郡条里:人面墨書土器4,下田:扁平鈕式銅鐸1,小路:人面墨書土器6,城山:墨書土器1,吹田操車場:奈良三彩小壺1,総持寺:墨書土器1,玉櫛:温石3,難波宮跡:11号木簡1/19号木簡1/1号木簡1/2号木簡1/4号木簡1/漆容器14/絵馬1/祭祀関連木製品9/銅鏡2/木製竿柱1,東奈良:絵画土器1/銅鐸形土製品1,仏並:土面1,船橋:鳥形土製品1/土師器真蛸壺1,溝咋:赤彩土器1/線刻土器人面1/鳥形土製品1/不明土製品1,向出:石棒2	392
MO9-15	大阪府立弥生文化博物館(移動)	10/10入門講座「聞いてなっとく弥生の世界」	H21. 10. 9 ~ H21. 10. 12	19区竪穴住居出土石器類一括	116
MO9-16	財団法人 徳島県埋蔵文化財センター	いにしえ夢街道企画展「鳴門・板野古墳群」	H21. 10. 30 ~ H21. 11. 26	溝咋:阿波系土器3/結晶片岩6	9
MO9-17	明石市教育委員会	明石市立文化博物館企画展「発掘された明石の歴史展-明石原人から縄文人へ-」	H21. 11. 9 ~ H21. 12. 18	縄文人マネキン・復元衣装・装飾品(一式)	1
MO9-18	神戸市立博物館	特別展「海の回廊」	H21. 12. 22 ~ H22. 3. 19	大庭寺:船形須恵器	1
			H21. 12. 8 ~ H22. 1. 22	〃	1
MO9-19	和泉市教育委員会	和泉市いづみの国歴史館平成21年度企画展「描かれた戦争、創られるイメージ-刷り物で見る日清・日露戦争と東アジア-」	H21. 12. 8 ~ H22. 3. 18	禁野本町:無文軒丸瓦1/丸瓦1/熨斗瓦1/岸和田煉瓦5	8
MO9-20	近つ飛鳥博物館(移動)	平成21年度スポット展示	H21. 12. 16 ~ H22. 1. 22	船橋:土師器杯10/漆壺2/ガラス小玉鍍型14/棒状土製品5/鞆羽口4/鈺滓4/砥石1/不明石製品1	41

M09-21					
M09-22	大阪府立弥生文化博物館(移動)	平成21年度冬季企画展「大阪の20世紀—古写真・出土品などから見た昔の暮らし」	H22. 1. 21 ~ H22. 3. 18	大坂城跡:金箔瓦9/家紋瓦12/サイコロ1/将棋駒12/基石30/双六の駒2/独楽10/土人形87/木球1/羽子板6	170
M09-23	近つ飛鳥博物館	平成21年度スポット展示	H22. 1. 22 ~H22. 2. 16	玉櫛:須恵器椀1/白磁椀1/瓦器椀1/瓦器皿1/土師器皿1/高麗青磁片2/瓦質土器羽釜1/常滑焼三筋壺1/木製鞍(前輪)1.粟生間谷:高麗青磁皿1	11
M09-24	大阪歴史博物館	特集展示「遺跡から見た奈良時代の大阪-難波宮とその周辺-」	H22. 3. 24 ~H22. 6. 8	大坂城跡:海獣葡萄鏡1/須恵器瓶1,長原土師器皿2/土師器甕2	6
M09-25	四国地区埋蔵文化財センター	平成22年度四国地区埋蔵文化財センター巡回展	H22. 3. 9 ~H23. 3. 25	瓜生堂:弥生土器2	2
M09-26	八尾市文化財調査研究会	平成22年度春季企画「八尾の古代寺院を探る」	H22. 4. 22 ~H22. 6. 25	小阪合:瓦8	15
M09-27	吹田市立博物館	平成22年度春季特別展「古代摂津国考—難波宮と吹田—」	H22. 4. 13 ~H22. 6. 16	大坂城跡:木簡5/土師器坏1/土師器鉢1/須恵器7.吹田操車場:須恵器蹄脚硯1/軒丸瓦1/軒平瓦1/平瓦2/須恵器坏蓋2/須恵器坏1/須恵器甕口縁部1	27
M09-28	飛鳥資料館	秋季特別展「飛鳥時代の木簡 もうひとつの木簡展」	H22. 10. 16 ~H22. 11. 28	難波宮:木簡11	11
M09-29	兵庫県立歴史博物館	特別企画展「仮面のひみつ」(夏休み親子シリーズ)	H22. 7. 17 ~H22. 9. 23	仏並:土面1	1
				合計	243

②写真資料の貸出し

平成21年度写真貸出し・掲載許可申請

番号	貸出先	依頼書年月日	使用目的	資料名	内訳	点数
P09-01	大阪歴史博物館	H21. 4. 1	特集展示「難波遷都一大化改新がもたらした難波の変化」のパネル、講演会資料	大和川今池：難波大道発掘調査現場と難波宮を望む/検出された難波大道、難波宮跡：漆容器出土状況/漆容器集合写真	カラー×4	4
P09-02	大阪市文化財協会	H21. 4. 1	シンポジウム「畿内の都城と大道－難波大道の発掘は何を語るか－」の資料	大和川今池：航空写真/検出された難波大道/古代官道と宮都	カラー×2 図×1	3
P09-03	泉佐野市教育委員会 歴史館いずみさの	H21. 4. 9	歴史館いずみさの平成21年度企画展「復元、江戸時代の村々～村絵図の世界～」パネル展示	植田池・長滝・安松：植田池遺跡内旧長滝墓地域全景航空写真/旧長滝墓地域墓壇検出状況(北東から)/174-0X石塔群出土状況(北東から)/122～124-0U3基集合墓壇全景および棺底部埋葬骨検出状況(南から)	モノクロ×1 カラー×3	4
P09-04	精華町教育委員会	H21. 4. 10	窯跡研究会編「古代窯業の基礎研究－須恵器窯の技術と系譜－」	大庭寺：393-0L出土韓式系土器長胴甕/TG232号窯出土須恵器壺拓本	カラー×1 図×1	2
P09-05	阪南市教育委員会	H21. 4. 1	学校教育のため	向出遺跡調査関係 パネル	パネル×2	2
P09-06	富山県工業技術センター	H21. 4. 21	日本トライボロジー学会誌「トライボロジスト」	瓜生堂：線刻須恵器(轡をひく馬)	カラー×1	1
P09-07	国立歴史民俗博物館	H21. 5. 28	『歴博』155号「石の加工」の特集ページ「中世石造物の普及をささえた技術」の挿図	棕谷石切場跡：採石坑A～C全景(北東から)	カラー×1	1
P09-08	NHK科学環境番組部	H21. 5. 26	NHK教育テレビ「サイエンスZERO」	池島・福万寺：島島の俯瞰/島島の断面/出土花粉のソバ、ワタ	カラー×2 モノクロ×2	4
P09-09	東京法令出版株式会社	H21. 6. 11	中学歴史資料集「グラフィックワイド歴史」	大庭寺：TG231・232号窯出土初期須恵器、亀井：一木鋤	カラー×2	2
P09-10	堺市博物館	H21. 6. 16	企画展「よみがえる中世都市 堺－発掘調査の成果と出土品－」写真パネル	堺環濠都市：濠全景(北から)/濠西側断面	カラー×2	2
P09-11	堺市博物館	H21. 6. 20	平成21年度秋季特別展「仁徳陵古墳築造－百舌鳥・古市の古墳群からさぐる－」図録への掲載、パネル製作、広報等	大庭寺：TG232号窯灰原全景(西から)/TG231号窯灰原全景(西から)/TG232号窯出土須恵器集合写真、野乃井西：0N231号窯出土須恵器集合写真	カラー×4	4
P09-12	株式会社新人物往来社	H21. 7. 2	『歴史読本』2009年9月号「石原莞爾と満州帝国」	池島・福万寺：弥生時代前期第14-2面全景	モノクロ×1	1
P09-13	東大阪市立郷土博物館(財)東大阪市施設利用サービス協会	H21. 7. 17	平成21年度特別展示「綿作りの四季」展示図録、パネル・ポスター	池島・福万寺：島島のない水田面/中世後期の島島/表層条里型地割と一致する最古の水田/水路38・40・41と小区画水田/小区画水田/十六ノ坪第8a面島/第11b層下部から切り込まれた農具痕/第3-3面中世の水田と島島/第2-1層上面遺構検出状況/第4-1層上面遺構検出状況/第10-2'層内遺構検出状況	カラー×11	11
P09-14	堺市立久世小学校	H21. 7. 24	「100周年記念誌」に掲載	平井：溜池内遺物出土状況/B地区瓦器窯、伏尾：古墳全景/出土家形埴輪	カラー×4	4
P09-15	株式会社NHKエデュケーショナル	H21. 7. 24	NHK高校講座・日本史第18回「豊臣秀吉の経済力」	大坂城跡：堀から出土した金箔瓦	カラー×1	1
P09-16	共同通信大阪支社社会部	H21. 7. 27	共同通信加盟の地方新聞社に配信	禁野本町：出土した砲弾	カラー×1	1
P09-17	兵庫県立考古博物館	H21. 8. 1	ふるさと発掘展「アミノヒボコの考古学」でのサテライト展「アミノヒボコと古代船」ひぼこ」の展示パネル	久宝寺：船材(船底部)/船材(縦板部)、大庭寺：船形須恵器	カラー×3	3
P09-18	吹田市立博物館	H21. 8. 8	平成21年度秋季特別展「北摂の戦国時代」の写真パネル、図録	佐保栗栖山砦跡：全景/石積10/建物1全景/壘堀1・2頂上部断面	カラー×4	4
P09-19	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	H21. 8. 13	平成21年度秋季特別展の展示図録、ポスター、チラシ、ホームページ等	池島・福万寺：土製鋳型(集合)	カラー×1	1

P09-20	佐賀県立名護屋城博物館	H21. 9. 3	平成21年度特別企画展「肥前名護屋城と「天下人」秀吉の城」の広報用資料、展示図録、写真パネル等	大坂城跡：堀障子遺構	カー×1	1
P09-21	宮内庁 北條朝彦	H21. 9. 14	続日本紀研究会編「続日本紀研究」第381号	大坂城跡：谷2における絵馬の出土分布	図×1	1
P09-22	茨木市教育委員会	H21. 9. 21	第26回テーマ展「いばらきとみしま」	総持寺：調査地遠景、溝咋：上宮跡1面/平安時代末の瓦	カー×3	3
P09-23	河内長野市立郷土資料館	H21. 9. 30	平成21年度特別展「井路一水と田んぼをつなぐ知恵」	池島・福万寺：川と堰と水田/大規模な堰/木製導水管	カー×3	3
P09-24	大阪府立弥生文化博物館（移動）	H21. 9. 30	文化財講座『考古学からみた浪速・大阪の歴史』「弥生時代の水都大阪」	瓜生堂：銅戈・貨泉/方形周溝墓/方形周溝墓（人骨）/方形周溝墓（第2号）/貨泉出土状況/スタンプ文土器/同左（アップ）/銅鏃・銅釧・貨泉集合/ガラス玉/瀬戸内系搬入土器/竪穴式住居（炭化材）、亀井：ポンプ場全景/銅鏡出土状況/彩色土器/邪視文土器/線刻（鹿）土器/分銅形土製品/銅鐔形土製品/冠状木製品/鳥形木製品/ト骨/犬（全身骨格）/鉄斧	カー×23	23
P09-25	株式会社講談社出版サービスセンター	H21. 9. 28	「弥生に生まれた鳥神阿治志貴高日子根考」本文中に掲載	池島・曾根：鳥形木製品、亀井北：鳥形木製品	モノ×2	2
P09-26	原子力発電環境整備機構	H21. 10. 14	シンポジウム「電気の廃棄物問題」を考える	下田：銅鐔出土状況	カー×1	1
P09-27	株式会社メルプランニング	H21. 11. 6	「時代別日本の歴史1巻 大むかしのくらし」に掲載	古墳女性のファッション、巨摩：管玉、亀井：広鏃と着柄	カー×2 モノ×1	3
P09-28	徳島市立考古資料館	H21. 12. 8	特別企画展「絵画が語る弥生人の世界」の展示図録に掲載	瓜生堂：絵画土器（建物）、溝咋：線刻土器（人面）、亀井：銅鐔形土製品（魚）/人面付分銅形土製品/邪視文土器	モノ×5	5
P09-29	河内長野市教育委員会	H21. 12. 11	文化財普及啓発本「シリーズ河内長野の遺跡4 観心寺遺跡」～平安時代の河内長野～	高向：27-0W出土遺物/F区遺構（平安時代建物跡群）/F区遺構（27-0W）	カー×3	3
P09-30	（株）ぎょうせい	H21. 12. 22	『日本の美術』「土偶とその周辺Ⅱ」	仏並：土面	カー×1	1
P09-31	国立歴史民俗博物館	H21. 12. 16	れきしはくこどもワークシート「さがしてみよう」に写真図版掲載	仏並：土製仮面複製品	モノ×1	1
P09-32	寝屋川市教育委員会	H22. 1. 13	第二京阪道路に設置する遺跡説明版の作成のため	太秦：古墳検出状況、弥生時代竪穴住居跡群検出状況、高宮：古代大型倉庫群検出状況、小路：前方後方形周溝墓検出状況	カー×5	5
P09-33	大阪歴史博物館	H22. 2. 12	特集展示「遺跡から見た奈良時代の大阪一難波宮とその周辺」のリーフレット、パネル、公報資料	難波宮：海獣葡萄鏡、火葬墓に副葬された海獣葡萄鏡	カー×2	2
P09-34	光文書院	H22. 2. 9	社会科資料集 6年に掲載	亀井：出土臼	モノ×1	1
P09-35	赤十字病院	H22. 2. 12	職員向け冊子「院友」に使用	大和川今池：難波宮と難波大道、古代官衙と宮都	カー×2	2
P09-36	横浜市歴史博物館	H22. 3. 1	企画展「考古学ってなに？」	八尾南：竪穴建物9・10断面	カー×1	1
P09-37	堺市博物館	H21. 6. 19	企画展「よみがえる中世都市 堺－発掘調査の成果と出土品－」	堺環濠都市（SKT960地点）：濠全景（北から）/濠西側断面	カー×2	2
P09-38	株式会社ダン	H22. 3. 1	小学館発行学習まんが『名探偵コナン推理ファイル 人類の謎』に掲載	瓜生堂：弥生土器（甕）、亀井：石製の穂摘み具（石庖丁）、木製の農具（鍬）	モノ×3	3
P09-39	環濠都市・堺歴史文化クラブ	H22. 3. 9	堺環濠都市（SKT960地点）現地説明板に使用	堺環濠都市遺跡（SKT960地点）濠1の断面、環濠の位置図	カー×2	2
P09-40	東大阪市教育委員会	H22. 3. 9	東大阪遺跡ガイドブックに使用	磐田：井戸枠板検出状況、花屋敷：出土遺物8、新家：井戸枠転用扉材、弓削ノ庄：土器棺検出状況、亀田：遺物出土状況	カー×4、 赤外線×2	6

P09-41	ミネルヴァ書房	H22.3.31	松藤和人・門脇誠一編 『よくわかる考古学』 に掲載	八尾南：竪穴建物6検出状況(北西から)	カラー×1	1
	奈良文化財研究所		「てびき」	八尾南：竪穴遠景(白線あり)/竪穴(白線なし)、亀川：竪穴断面/壁材近景	カラー×4	4
					合計	120

### ③ビデオの貸出し・上映一覧

#### 平成21年度映画・ビデオ貸出し

番号	貸出先	申請年月日	使用目的	映像資料名	点数
V09-01	奈良大学文学部 文化財学科 坂井秀弥	H21.6.20	大学の授業(考古学 概論、考古学特殊 講義)	河内平野を掘る－低湿地遺跡の発掘 調査－/弥生時代の住まい－八尾南 遺跡の発掘調査－/北河内発掘 第二 京阪道路内遺跡の発掘調査/池内遺 跡－私たちの発掘体験－	4
V09-02	奈良大学文学部 文化財学科 坂井秀弥	H21.10.13	大学の授業(考古学 概論、考古学特殊 講義)	城山遺跡－発掘された弥生時代集落 －/蘇る手工業集団－陶器と河内鑄 物師－/農耕の技術/河内馬飼いの里 －讚良群条里遺跡の発掘調査－	4
				合計8点	

### (3) 図書の出版・販売

#### ①図書の出版

平成21年度は、下記の図書を出版した。

1	『下池田遺跡』(センター調査報告書 第190集)
2	『大和川今池遺跡Ⅰ』(センター調査報告書 第191集)
3	『大和川今池遺跡Ⅱ』(センター調査報告書 第192集)
4	『上私部遺跡Ⅲ・有池遺跡Ⅲ』(センター調査報告書 第193集)
5	『山賀遺跡Ⅱ』(センター調査報告書 第194集)
6	『池島・福万寺遺跡8』(センター調査報告書 第195集)
7	『池島・福万寺遺跡9』(センター調査報告書 第196集)
8	『上の山遺跡Ⅳ』(センター調査報告書 第197集)
9	『池内遺跡』(センター調査報告書 第198集)
10	『太井遺跡・余部日置荘遺跡』(センター調査報告書 第199集)
11	『津田遺跡Ⅱ』(センター調査報告書 第200集)
12	『吹田操車場遺跡Ⅳ』(センター調査報告書 第201集)
13	『財団法人大阪府文化財センター・日本民家集落博物館・大阪府立弥生文化博物館・大阪府立近つ飛鳥博物館 2007年度共同研究成果報告書』
14	『研究調査報告 第7集』
15	『年報－平成20年度－』
16	『大阪文化財研究 第35号』
17	『大阪文化財研究 第36号』
18	『林遺跡・国府遺跡・土師の里遺跡 大阪府埋蔵文化財調査報告 2008-4』
19	『銭塚古墳 大阪府埋蔵文化財調査報告 2008-5』
20	『堀遺跡 大阪府埋蔵文化財調査報告 2009-1』
21	『大町遺跡Ⅱ 大阪府埋蔵文化財調査報告 2009-2』
22	『蔀屋北遺跡Ⅰ 大阪府埋蔵文化財調査報告 2009-3』
23	『九頭神遺跡 大阪府埋蔵文化財調査報告 2009-4』

24	『若宮遺跡 大阪府埋蔵文化財調査報告 2009-5』
25	『高向神社南遺跡 大阪府埋蔵文化財調査報告 2009-6』
26	『寺田遺跡Ⅱ 大阪府埋蔵文化財調査報告 2009-7』
27	『安威城跡Ⅱ 大阪府埋蔵文化財調査報告 2009-8』
28	『衣ヶ谷古墳 大阪府埋蔵文化財調査報告 2009-9』
29	『田尻遺跡 大阪府埋蔵文化財調査報告 2009-10』
30	『招堤中町遺跡Ⅲ 大阪府埋蔵文化財調査報告 2009-11』
31	『福井遺跡Ⅲ 大阪府埋蔵文化財調査報告 2009-12』
32	『千里丘遺跡Ⅲ 大阪府埋蔵文化財調査報告 2009-13』
33	『桑原遺跡Ⅱ 大阪府埋蔵文化財調査報告 2009-14』
34	『山城廃寺発掘調査概要』

18 から 34 については府教委の増刷である。

## ②図書の販売

平成 21 年度は、次のとおり販売した。

販売総数 1,234 冊                      販売金額 1,430,936 円（税込）

## (4) 出版物の寄贈・配布

関係団体、行政機関、研究機関等に対して、当センターの刊行図書を寄贈配布した。

## D. 文化財研究事業

### (1) 「近畿ブロック埋文研修会」

第 15 回の平成 21 年度 近畿ブロック埋蔵文化財研修会は、財団法人 京都府埋蔵文化財調査研究センターが開催法人となり、平成 21 年 11 月 2 日（月）、京都市の京都アスニーで開催された。

「秀吉の遺跡」というテーマで 8 本の研究発表が行われた。

### (2) 全埋協コンピュータ等研究委員会及び地区委員会の参加、それに伴う業務

#### 1. 平成 21 年度全埋協コンピュータ等研究委員会

於：財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター

実施日：平成 21 年 7 月 16・17 日

#### 2. 全埋協近畿地区 O A 委員会

第 1 回全埋協近畿地区 O A 委員会 於：大阪市文化財協会 平成 21 年 6 月 5 日

第 2 回全埋協近畿地区 O A 委員会 於：大阪市文化財協会 平成 21 年 12 月 11 日

## E. 文化財調査支援事業

センターが平成 18・19 年度に実施した研究助成事業に基づく報告書を編集・出版した。

## F. 広報事業

### (1) 年報の編集と発行

当センターの事業年報（平成 20 年度）を編集し、発行した。

## G. 文化財講演会事業

平成 21 年度の講演会事業「大阪の歴史遺産を語る」として、講演会を次のとおり実施した。

実施年月日	内 容	対象者	会 場	参加人数	備 考
11月19日	眼で見て、手で触れる 北河内の古代	一般	エル・おおさか文化プラザ	44	エル・おおさかとの共催事業
1月14日	鼎談「大阪が迎えた民家達」	一般	エル・おおさか文化プラザ	42	エル・おおさかとの共催事業
2月23日	対談「古市・百舌鳥古墳群の被葬者」	一般	エル・おおさか南ホール	109	エル・おおさかとの共催事業
3月18日	対談「大阪の弥生時代アラカルト」	一般	エル・おおさか南ホール	93	エル・おおさかとの共催事業
			計	288名	

### Ⅲ. 大阪府立弥生文化博物館事業

#### 1. 常設展示

##### (1) 第1展示室

「目で見る弥生文化」は、タイムトンネルと実物大の竪穴住居からなる導入ゾーン、「米づくりの始まり」、「新しい技術の誕生」、「ムラ・戦い・クニ」、「交流」、「死とまつり」、「弥生人」の6つのテーマゾーン、全国各地の弥生文化を紹介する弥生プラザの3つのゾーンで、弥生文化をビジュアルに展示。

弥生プラザ（最新情報コーナー）展示替

「倭国大乱の一断章」平成21年1月6日（火）～平成21年8月25日（火）

「おくるうつわ—府中遺跡3号墓に供えられた弥生土器—」平成21年8月26日（水）～

##### (2) 第2展示室

「池上曾根ワールド」という名称で、池上曾根遺跡から出土した資料を展示。

#### 2. 特展企画展事業

##### (1) 春季特別展「弥生建築—卑弥呼のすまい—」

《入館者数：9,419人》

ア. 開催概要 弥生人が建物を表現した土器や青銅器などの資料とともに、弥生時代の遺跡からみつかった柱、壁、床、扉、屋根、はしごなどを展示した。

イ. 開催期間 平成21年4月25日（土）～6月7日（日） 38日間

ウ. 場 所 特別展示室

エ. 入館料 一般600円（480円） 65歳以上および高校大学生400円（320円）

（ ）内は団体割引料金

オ. 印刷物 図録「弥生建築—卑弥呼のすまい—」（平成21年4月25日発行）

カ. 学芸員による展示解説

4月25日（土）／5月3日（日祝）／5月4日（月祝）／5月5日（火祝）／5月10日（日）／5月16日（土）／5月17日（日）／5月23日（土）／5月31日（日）／6月7日（日）におこなった。

キ. 池上曾根史跡公園復元建物解説と竪穴住居いごこち体験

5月4日（月祝）

《参加者：56人》

5月5日（火祝）

《参加者：42人》

ク. 日本民家集落博物館見学ツアー

5月30日（土）学芸員が同行し、日本民家集落博物館を訪れた。

《参加者：12人》

ケ. その他

##### (2) 夏季特別展「火焰土器の国—5000年前のメッセージ—」

《入館者数：10,423人》

ア. 開催概要 5000年前、現在の新潟県域に相当する地域で作られた「火焰土器」。新潟県立歴史博物館が開館以来蓄積してきた火焰土器の研究成果をもとに、火焰土器の数々を展示した。

イ. 開催期間 平成21年6月27日（土）～8月30日（日） 56日間

ウ. 場 所 特別展示室

エ. 入館料 一般 600 円 (480 円) 65 歳以上および高校大学生 400 円 (320 円)

( ) 内は団体割引料金

オ. 寄稿 「弥生の造形」『火焰土器の国 新潟』新潟県立歴史博物館編 (平成 21 年 4 月 30 日発行)

カ. 学芸員による展示解説

7 月 20 日 (月祝) / 6 月 27 日 (土) / 7 月 12 日 (日) / 7 月 26 日 (日) / 8 月 16 日 (日)

キ. ワークショップ

7 月 11 日 (土) 「土偶を作ろう」

《参加者：20 人》

8 月 22 日 (土) 「土偶を作ろう」

《参加者：45 人》

定員各回 20 名

ク. その他

10 月 19 日 (月) ~ 21 日 (水) 「火焰土器の国をたずねて」

学芸員が同行し、新潟県立歴史博物館をはじめ、新潟県内の遺跡を訪れた。(主催：株式会社国際交流サービス)

### (3) 秋季特別展 文化庁巡回展『新発見考古速報展 発掘された日本列島 2009』地域展

「大阪の宝物—出土品が歴史を語る—」

《入館者数：8,335 人》

ア. 開催概要

財団法人大阪府文化財センターが約 30 年にわたって大阪府下一円を発掘調査し、蓄積してきた各時代の重要資料を展示した。

イ. 開催期間

平成 21 年 9 月 12 日 (土) ~ 11 月 15 日 (日) 56 日間

ウ. 場所

特別展示室

エ. 入館料

一般 600 円 (480 円) 65 歳以上および高校大学生 400 円 (320 円)

( ) 内は団体割引料金

オ. 印刷物

図録「大阪の宝物—出土品が歴史を語る—」(平成 21 年 9 月 12 日発行)

カ. 学芸員による展示解説

9 月 12 日 (土) / 9 月 13 日 (日) / 9 月 20 日 (日) / 9 月 21 日 (日祝) / 9 月 23 日 (水祝) / 9 月 27 日 (日) / 10 月 4 日 (日) / 10 月 11 日 (日) / 10 月 18 日 (日) / 10 月 25 日 (日) / 11 月 1 日 (日) / 11 月 8 日 (日) / 11 月 14 日 (土) / 11 月 15 日 (日) におこなった。

キ. ワークショップ

9 月 19 日 (土) 「秀吉さんのころ!? 犬の土人形を作ろう」

《参加者：15 人》

9 月 26 日 (土) 「秀吉さんのころ!? 犬の土人形を作ろう」

《参加者：3 人》

定員各回 20 名

ク. 大阪府立泉大津高等学校考古学資料室見学ツアー

10 月 3 日 (土) 泉大津高等学校考古学資料室見学と同校で考古学セミナーを実施した。

《参加者：17 人》

定員 40 名

ケ. 弥生文化博物館・泉穴師神社・織編館見学ツアー

9 月 22 日 (火祝) 泉大津市織編館と連携し、見学ツアーを実施した。

《参加者：18 人》

定員 50 名

**(4) 冬季企画展Ⅰ 「とんぼ玉 100 人展ー掌から無限の世界へー」** ≪入館者数：5,403 人≫

ア. 開催概要 和泉市の地場産業のひとつがガラス細工であることから、現代のとんぼ玉作家の作品を全国から公募で集め、展示した。

イ. 開催期間 平成 21 年 11 月 21 日（土）～ 12 月 20 日（日） 26 日間

ウ. 場 所 特別展示室

エ. 入館料 一般 400 円（320 円） 65 歳以上および高校大学生 300 円（240 円）

（ ）内は団体割引料金

オ. ワークショップ

11 月 22 日（土）「とんぼ玉製作体験」 ≪参加者：60 人≫

12 月 6 日（土）「とんぼ玉製作体験」 ≪参加者：60 人≫

12 月 13 日（土）「とんぼ玉製作体験」 ≪参加者：60 人≫

定員各回 60 名

カ. 実演

11 月 28 日（土）「とんぼ玉製作実演ー増井敏雅」 ≪参加者：250 人≫

12 月 5 日（土）「とんぼ玉製作実演ー内田敏樹」 ≪参加者：186 人≫

12 月 12 日（土）「とんぼ玉製作実演ー竹内大祐」 ≪参加者：314 人≫

**(5) 冬季企画展Ⅱ 「大阪の 20 世紀ー古写真・出土品などからみた昔のくらしー」**

≪入館者数：6,206 人≫

ア. 開催概要 絵葉書・古写真、発掘調査でみつかった出土遺物など、近代から現代にかけての大阪に関わるものを中心に展示した。

イ. 開催期間 平成 22 年 1 月 23 日（土）～ 3 月 22 日（月祝） 51 日間

ウ. 場 所 特別展示室

エ. 入館料 一般 400 円（320 円） 65 歳以上および高校大学生 300 円（240 円）

（ ）内は団体割引料金

オ. 印刷物 リーフレット「大阪の 20 世紀ー古写真・出土品などからみた昔のくらしー」

（平成 22 年 1 月 23 日発行）

カ. ワークショップ

2 月 6 日（土）「ピンホールカメラを作ろう」 ≪参加者：13 人≫

2 月 27 日（土）「ピンホールカメラを作ろう」 ≪参加者：13 人≫

定員各回 20 名

### 3. 講演会事業

#### (1) 春季特別展開連

①大阪・滋賀博物館連携企画特別講演会

5 月 23 日（土）

≪参加者：142 人≫

「卑弥呼の居処 [すみか] とその周辺」

奈良県立橿原考古学研究所総務企画部長 寺澤 薫

「鼎談 卑弥呼の居処 [すみか] とその周辺」

奈良県立橿原考古学研究所総務企画部長 寺澤 薫

滋賀県立安土城考古博物館学芸課長 大橋信弥

当館館長 金関 恕

## ②特別講演会

4月25日(土)「想像 弥生建築と卑弥呼の館」

水野正好(当センター理事長)

《参加者：68人》

6月7日(日)「描かれた弥生建築」

金関 恕(当館館長)

《参加者：154人》

## ③考古学セミナー

5月3日(日)「縄文時代～古代の建築材」

別府大学客員教授 宮本長二郎

《参加者：110人》

5月17日(日)「弥生時代における建築技術」

財団法人竹中大工道具館学芸部長 渡邊 晶

《参加者：63人》

5月31日(日)「弥生建築の実証的復元－青谷上寺地遺跡の衝撃－」

鳥取環境大学教授 浅川滋男

《参加者：136人》

## ④ジョイントセミナー

5月16日(土)「大型建物から見えてくるもの－弥生時代のまつりと社会－」

滋賀県立安土城考古博物館学芸課主任 鈴木康二

《参加者：42人》

5月9日(土)「弥生建築－卑弥呼のすまい－」

於：滋賀県立安土城考古博物館 当館総括学芸員 合田幸美

《参加者：88人》

## ⑤発掘調査報告会

5月10日(日)「埋没した竪穴住居－八尾南遺跡の建築材－」

当センター技師 正岡大実

《参加者：86人》

## (2) 夏季特別展関連

### ①特別講演会

7月20日(月祝)「火焰土器と装飾須恵器－華麗なる器の世界－」

水野正好(当センター理事長)

《参加者：62人》

### ②講演会

6月27日(土)「燦燦 火炎土器を生み出した人びと」

水野正好(当センター理事長)

《参加者：162人》

7月12日(日)「西日本縄文土器伝統の転換期」

泉 拓良(京都大学教授)

《参加者：146人》

7月26日(日)「火炎土器 目の付け所」

西田泰民(新潟県立歴史博物館専門研究員)

《参加者：246人》

8月16日(日)「縄文土器の世界」

坪井清足(財団法人元興寺文化財研究所長)

《参加者：250人》

### (3) 秋季特別展関連

#### ①特別講演会

9月12日(土)「大阪の宝物ー出土品が歴史を語るー」

当センター理事長 水野正好

《参加者：77人》

11月13日(金)「大阪で出土した銅鐸」

当館館長 金関 恕

《参加者：88人》

#### ②考古学セミナー

9月27日(日)「難波宮と大坂城の考古学」

当館学芸課長 江浦 洋

《参加者：78人》

10月18日(日)「難波宮跡出土の木製箒柱」

当館学芸員 中川二美

《参加者：55人》

### (4) 冬季企画展Ⅱ関連

#### ①特別講演会

3月14日(日)「近代大阪出版物語」

山野博史(関西大学教授)

《参加者：72人》

#### ②考古学セミナー

2月13日(土)「近代大阪発掘物語」

江浦 洋(当館学芸課長)

《参加者：50人》

2月21日(日)「ガラス瓶の考古学」

市村慎太郎(当センター副主査)

《参加者：25人》

2月28日(日)「禁野火薬庫跡の調査」

駒井正明(当センター副主査)

《参加者：42人》

### (5) 弥生プラザ関連

1月17日(土)「和泉市府中遺跡の方形周溝墓」

阿部幸一(大阪府教育委員会)

《参加者：35人》

### (6) その他

#### ①大阪府環境水産総合研究所との共催講演会「魚と人の6000年」

第1回2月7日(日)「大阪の魚介類と食文化」

《参加者：115人》

第2回3月6日(土)「大阪の淡水魚と生息環境」

《参加者：79人》

#### ②近畿弥生の会主催講演会「弥生時代入門講座2009 聞いてなっとく弥生の世界」

第1回6月13日(土)「土器から見る弥生時代のはじまり」(豆谷和之)

《参加者：70人》

第2回8月8日(土)「農耕を営むための道具 木器・石器・金属器」

《参加者：65人》



- 10月4日(土) ノルウェーからの贈りもの～グリーグの調べ～ 《参加者：168人》  
ヨハンセン陽子(ピアノ)
- 10月11日(日) 秋の日コンサート 《参加者：200人》  
Moderato：三好久美子(メゾソプラノ) 烏野恵子(バイオリン)  
藤本朱美・松田真由美(ピアノ)
- 11月8日(日) 音楽家のレストラン～歌とピアノのフルコース～ 《参加者：191人》  
室田香織・吉里瞳子(ソプラノ) 籠谷紗希・星川響子(ピアノ)
- 11月29日(日) ピアノで彩る秋のひとつとき 《参加者：210人》  
常 瑠里子・辻 祐子・山本さや香(ピアノ)
- 12月20日(日) 天使の響き Part 3～ハンドベルコンサート～ 《参加者：354人》  
ドリーム21ハンドベル教室、指揮・指導：高木至通・高木希見子
- 1月10日(日) 新春お楽しみコンサート～音楽の福袋～ 《参加者：187人》  
鶴田美奈子(ピアノ)
- 1月31日(日) 親子で楽しむピアノデュオ!!～4手で奏でるハーモニー～ 《参加者：126人》  
樋口五葉・宇賀治和子(ピアノデュオ)
- 2月14日(日) パウゼ～ヴァレンタインのひとつときを共に～ 《参加者：269人》  
西村佐和子・高橋久美子・高 千恵・張 一美(ピアノ)
- 3月7日(日) 魅惑のクロマチックハーモニカ 《参加者：197人》  
矢木秀行(クロマチックハーモニカ) 金山淳史(パーカッション)  
藤木雅東子(ピアノ)
- 3月28日(日) 春、旅立ちのとき!～モーツァルトとシューベルトの音楽～ 《参加者：206人》  
笹山晶子(ソプラノ) 中本吉啓(クラリネット) 中牟田豊子(ピアノ)

## (2) ミニギャラリー

エントランスホールで写真や絵画等の展示をおこなった。

5月26日(火)～6月7日(日) 磯田三雄原画展—昭和を歩き、町を歩き、山里に遊ぶ。—

出展者：磯田三雄(イラストレーター)

7月20日(月祝)～8月1日(土) 景観ルネッサンス—岸和田の民家とレトロ建築—

出展者：岸和田美術の会(美術愛好団体)

9月15日(火)～9月26日(土) 骨壺展

出展者：佐ノ川谷藍子(陶芸家)

陶芸体験教室「骨壺をつくろう」9月20日(日) 《参加者：5人》

陶芸体験教室「骨壺をつくろう」9月21日(月祝) 《参加者：5人》

定員各回5名

11月17日(火)～11月28日(土) 和泉市書道連盟作品展

出展者：和泉市書道連盟役員(書家)

3月9日(火)～3月22日(月祝) 和泉洋画会展

出展者：和泉洋画会(和泉市文化協会主催洋画教室)

### (3) ボランティア活動および研修

点訳（図録の点訳、視覚障がい者の来館補助）、翻訳（開催要項等の英語・中国語訳）、平日（展示室巡回、書庫整理、発送等の業務補助）、土曜（土器パズル等体験学習の補助）ボランティアの4つの分野で活動がおこなわれた。

また、次年度に新規内容として予定したボランティアによる学校団体解説に向けた研修をおこなった。

欠員が出たため、ホームページ上で新規ボランティアを募集した。

《定員：25名 登録者数：25名》

## 5. 「博物館 in school」事業－博学連携事業

### (1) 小中学校の団体見学受け入れ

事前に説明会を催し、また、館内案内ビデオの貸出しをおこなうことで事前学習の一助とした。また、見学をより充実したものにしてもらうため、ホームページ上にワークシート8種類を用意し、各学校に利用を呼びかけた。見学当日には、各団体の意向に沿って学芸員や教育専門員が展示解説をおこない、展示室での学習を支援した。

《来館数：157校・12,957名》

4月3日（金）～4月8日（水） 下見説明会 計5回

### (2) 体験ゾーンの活用

屋外に設置した竪穴住居の復元施設の活用を推進した。

《実績：199回・6,907名》

### (3) 資料貸出し

資料を貸し出し、授業の一助とした。

4月24日（金）和泉市立黒鳥小学校 甕（復原品）、蓋（復原品）、貫頭衣、鹿角製針、貝紫染色麻布、  
貝紫解説パネル、アカニシ貝殻

5月31日（日）～6月12日（金）吹田市立千里第三小学校 貫頭衣

8月19日（水）大阪府立登美丘高等学校 脱穀用臼・杵、銅鏡（レプリカ）、銅鐸（レプリカ）、サヌカイト、  
黒曜石、火起しセット、ビデオ「石斧と鉄斧」、石斧、鉄斧

### (4) 出前授業

小学校等から依頼を受け、教育専門員および学芸員が出向いて授業をおこなった。

《72授業・2,329名》

4月13日（月）	八尾市立刑部小学校6年生	1回	127人
4月13日（月）	八尾市立刑部小学校6年生	4回	127人
4月17日（金）	堺市立竹城台東小学校6年生	1回	38人
4月20日（月）	大阪市立千本小学校6年生	3回	97人
4月22日（水）	忠岡町立忠岡小学校6年生	3回	83人
4月25日（土）	和泉市立池上小学校6年生	1回	58人
4月28日（火）	枚方市立藤阪小学校6年生	3回	93人

4月30日(木)	岬町立深日小学校6年生	1回	38人
4月30日(木)	岬町立深日小学校6年生	1回	38人
5月11日(月)	堺市立深井小学校6年生	3回	109人
5月12日(火)	岸和田市立岸和田中央小学校6年生	1回	29人
5月14日(木)	岸和田市立旭小学校6年生	4回	130人
5月15日(金)	堺市立若松台小学校6年生	3回	93人
5月26日(火)	大阪市立日吉小学校6年生	2回	46人
5月29日(金)	大阪市立弁天小学校6年生	3回	86人
6月1日(月)	大阪市立大道南小学校6年生	2回	69人
6月2日(火)	熊取町立西小学校6年生	3回	93人
6月4日(木)	堺市立東三国丘小学校6年生	4回	123人
6月9日(火)	堺市立福泉東小学校6年生	2回	49人
6月11日(木)	堺市立西陶器小学校6年生	2回	51人
6月18日(木)	大阪府立豊島高等学校6年生	2回	46人
6月24日(水)	大阪市立長谷川小学校3～6年生	1回	14人
7月16日(木)	堺市立原山台東小学校6年生	2回	67人
7月29日(水)	私立大阪青凌中学校1～3年生	3回	105人
8月19日(水)	大阪府立登美丘高等学校3年生	2回	50人
10月20日(火)	岸和田市立大宮小学校5年生	4回	122人
10月21日(水)	和泉市立南松尾小学校4～6年生	1回	20人
10月23日(金)	岸和田市立山直南小学校4年生	2回	95人
10月27日(火)	堺市立日置荘西小学校6年生	2回	74人
11月26日(木)	貝塚市立永寿小学校6年生	2回	55人
1月27日(水)	岸和田市立山直南小学校4～6年生	2回	50人
3月9日(火)	大阪市立玉出小学校5年生	2回	54人

## (5) 博学連携授業

博物館の活動をよりよく理解してもらうため、小学校から大学までを対象に、展示解説やバックヤードツアーをおこなったほか、教員を対象に博学連携セミナーを実施し、意見交換の場を設けた。

《小学校8校、中学校1校、高校9校、大学3校、計732人》

4月10日(金)	和泉市立池上小学校6年生体験学習	70人
4月16日(木)	和泉市立芦部小学校6年生体験学習	100人
4月16日(木)	和泉市立和気小学校6年生体験学習	200人
5月16日(土)	追手門学院大学博物館実習見学	32人
6月10日(水)	泉大津市立条南小学校歴史クラブ体験学習	25人
7月7日(火)	奈良大学博物館実習見学	11人
7月16日(木)	大阪府立泉大津高等学校地歴部秋季特別展連携協議	10人
8月6日(水)	大阪府立泉大津高等学校地歴部秋季特別展連携協議	9人

8月18日(火)	大阪府立泉大津高等学校地歴部秋季特別展連携協議	4人
8月28日(金)	大阪府立和泉総合高等学校総合学習	9人
9月2日(水)	私立クラーク国際高校キャリアトライ	21人
9月18日(金)	桃山学院大学博物館実習見学	6人
9月30日(水)	泉大津市立条南小学校歴史クラブ体験学習	21人
10月14日(水)	私立クラーク国際高校キャリアトライ	15人
10月23日(金)	岸和田市立山直南小学校体験学習	95人
11月22日(日)	私立青陵中学校体験学習	16人
11月25日(水)	私立クラーク国際高校キャリアトライ	14人
11月28日(土)	和泉市立池上小学校土曜教室館内スケッチ	23人
12月9日(水)	私立クラーク国際高校キャリアトライ	16人
2月24日(水)	泉大津市立条南小学校歴史クラブ体験学習	25人
3月3日(水)	私立クラーク国際高校キャリアトライ	10人

## (6) 大学生博物館学実習

実習生を受け入れ、博物館の実務について指導した。

7月2～6日(水～日) 博物館実習(大学名:帝塚山学院大学、立命館大学、京都女子大学、大阪大学、近畿大学、京都外国語大学、神戸女子大学、奈良大学、京都光華女子大学、京都文教大学、摂南大学、大阪芸術大学、大阪観光大学、桃山学院大学 実習生数:29人)

7月29・30日(水・木) 博物館実習(奈良大学通信教育部 30人)

## (7) 高校生のインターンシップ

7月の4日間、高校1校から1名を受け入れた。

## (8) 中学生の職場体験学習

5校から15名を2～3日間受け入れ、博物館業務を体験する機会を提供した。

10月22日(木)～10月23日(金)	2日間	3名(1校)
10月28日(水)～10月29日(木)	2日間	4名(1校)
11月18日(水)～11月19日(木)	2日間	3名(1校)
2月1日(火)	1日間	1名(1校)
2月3日(火)～2月4日(水)	2日間	4名(1校)

## (9) 博学連携セミナー

博物館の活動を理解してもらうため、学校教員との意見交換会の場を設けた。募集方法は、各学校へ開催案内を送付し、教員が自主的に応募することとした。

2月24日(水) 博学連携セミナー(小学校教員対象)

《参加者:2人》

## (10) 教員研修の受け入れ

教員の研修を博物館に誘致し連携を深めた。

7月31日(金)	堺市中学校校長会	《参加者：50人》
8月13・14日(木・金)	大阪府教育委員会初任者研修	《参加者：24人》
8月20日(木)	和泉市立池上小学校他3校合同研修会	《参加者：80人》
1月28日(木)	大阪府町村教育委員会協議会	《参加者：42人》

## 6. 「どこでも博物館」事業

### (1) 出張展示

他館と連携し、当館資料を展示した。

7月4日(土)～9月6日(日)	「復元 目でみる卑弥呼の世界」(於：尼崎市立田能資料館)	《入館者：8,388人》
11月13日(金)	高齢者大学出張展示(於：国際障害者交流センター「ビッグ・アイ」)	《見学者：800人》

### (2) 出張パネル展示・体験学習

各種催しにパネル展示や体験学習ブース等出店した。

10月11日(日)	御堂筋 kappo (於：御堂筋大阪ミュージアムゾーン)	《参加者：873人》
10月24・25日(土・日)	第31回和泉市商工まつり(於：池上曾根史跡公園)	《参加者：226人》
10月31日(土) ・11月1日(日)	高校軽音フェスタ in 弥生の杜 2009(於：池上曾根史跡公園)	
11月7日(土)	古代体験秋まつり(於：兵庫県立考古博物館)	《参加者：98人》
11月21日(土)	日本民家集落博物館まつり(於：日本民家集落博物館)	《参加者：400人》

### (3) 講演

当館学芸員が、各所から依頼を受け、出張講演をおこなった。

5月9日(土)	講演「弥生建築 - 卑弥呼のすまい」(於：滋賀県立安土城考古博物館)	《参加者：88人》
7月4日(土)	解説会「復元 目でみる卑弥呼の世界」(於：尼崎市立田能資料館)	《参加者：6人》
8月9日(日)	シンポジウム「関西から博物館・図書館の元気を発信する」 (於：大阪府立国際児童文学館)	《参加者：35人》
9月19日(土)	講演「邪馬台国のルーツを探る」(於：豊中市千里公民館)	《参加者：48人》
9月19日(土)	講演「堺の縄文時代を探る」(於：ソフィア堺)	《参加者：40人》

- 9月26日(土) 講演「隼人の考古学—南九州東岸における弥生文化の南下の姿—」  
(於：大阪府立近つ飛鳥博物館) <<参加者：30人>>
- 10月14日(水) 講演「弥生時代の水都大阪」(於：四条畷市公民館) <<参加者：37人>>
- 11月11日(水) 講演「大阪の縄文時代を探る」(於：四條畷市教育委員会)  
<<参加者：30人>>
- 12月5日(土) 東大阪市歴史講座「建築材はおもしろい—弥生時代～古墳時代—」  
(於：東大阪市教育委員会) <<参加者：68人>>
- 2月13日(土) 平成21年度美術講座「弥生画帖—弥生人が描いた世界—」  
(於：神戸市立小磯記念美術館) <<参加者：40人>>
- 3月6日(土) 大阪府水生生物センター連携事業「大阪の淡水魚と生息環境」  
(於：大阪府水生生物センター情報プラザ) <<参加者：79人>>

#### (4) 連続講座「摂河泉名所図会と考古学」

大阪府立近つ飛鳥博物館と共同で、大阪府立中之島図書館において連続講座をおこなった。

- 7月15日(水) 『『摂津名所図会』にみる茨木市溝咋神社の考古学』  
当館総括学芸員 合田幸美 <<参加者：110人>>
- 8月19日(水) 『『和泉名所図会』にみる雨乞い神事』  
当館主任学芸員 永野 仁 <<参加者：74人>>
- 10月21日(水) 「隼人」をとおしてみる河内と薩摩・大隅(南九州)のつながり」  
当館学芸員 東 徹志 <<参加者：118人>>
- 1月20日(水) 『『河内名所図会』に描かれた妙見寺—「采女竹良塋域碑」と「塔ノ石ツエ」』  
当館学芸課長 江浦 洋 <<参加者：90人>>

## 7. 「体験する博物館」事業

### (1) ワークショップ

体験することにより、知的好奇心を高め、また当館により親しんでもらうため、ワークショップをおこなった。  
特別展・企画展関連以外に館内で実施したものは下記のとおり。

- 7月5日(日) 天王寺チャレンジ・アウトドアクラブ「土器づくり」  
(於：大阪市立信太山野外活動センター) <<参加者：120名>>
- 8月1日(土) 夏休み計量教室「棒はかりをつくろう」 <<参加者：50名>>
- 10月31日(土) 発見！体験！考古学(第1回)(於：池島・福万寺遺跡)  
<<参加者：17名>>
- 11月3日(火祝) 野外で体験「弥生の暮らし」(第1回)  
(於：大阪市立信太山野外活動センター) <<参加者：45名>>
- 11月7日(土) 発見！体験！考古学(第2回)(於：池島・福万寺遺跡)  
<<参加者：12名>>
- 11月14・15日(土・日) 「江戸のおもちゃ“泥めんこ”を作ろう」 <<参加者：180人>>
- 11月14・15日(土・日) 「ミニ銅鐸を作ろう」 <<参加者：80人>>

11月14・15日(土・日)「棒はかりをつくろう」	《参加者：173人》
11月14・15日(土・日)「土器パズル」	《参加者：20人》
1月24日(日) 野外で体験「弥生の暮らし」(第2回)	
(於：大阪市立信太山野外活動センター)	《参加者：45名》
3月24・25日(水・木)「狩人きぶん」	《参加者：293人》
3月24・25日(水・木)「埴輪ストラップ作り」	《参加者：65人》
3月26・27日(金・土)「拓本教室」	《参加者：140人》
3月26・27日(金・土)「石器で切れるかな？」	《参加者：209人》
3月24～27日(水～土)「パズルコーナー」	《参加者：40人》
3月27日(土)「こんぺいとうを作ってみよう」	《参加者：35人》
毎週土曜日「土器パズル」	

## (2) みんないっしょに考古楽

体験活動をとおして当館ならびに弥生文化を身近に感じてもらうため、弥生文化を中心とした、子どもから大人までを含めた一般向けの体験型考古学講座を実施した。

4月18日(土)「挑戦！むかし昔の火おこし」	《参加者：48人》
5月16日(土)「弥生の“米つき”!?～脱穀精白～」	《参加者：30人》
6月20日(土)「挑戦！むかし昔の火おこし」	《参加者：44人》
7月18日(土)「弥生の“米つき”!?～脱穀精白～」	《参加者：25人》
8月5日(水)「野外で復原!? 竪穴住居」	《参加者：13人》
8月12日(水)「磨いてビックリ！弥生の鏡を作ろう」	《参加者：73人》
8月15日(土)「作って飛ばそう！鳥形“紙”ひこうき」	《参加者：35人》
8月19日(水)「挑戦！むかし昔の火おこし」	《参加者：41人》
8月26日(水)「縄文の布“あんぎん”を編む」	《参加者：38人》
9月19日(土)「秀吉さんのころ!? 犬の土人形を作ろう」	《参加者：15人》
9月26日(土)「秀吉さんのころ!? 犬の土人形を作ろう」	《参加者：3人》
10月17日(土)「挑戦！むかし昔の火おこし」	《参加者：8人》
11月21日(土)「弥生の“米つき”!?～脱穀精白～」	《参加者：10人》
12月19日(土)「ふれて見る!? 本物の土器に触れる体験」	《参加者：38人》
1月16日(土)「弥生土器で炊飯実験！」	《参加者：11人》
2月20日(土)「挑戦！むかし昔の火おこし」	《参加者：35人》
3月20日(土)「弥生の“米つき”!?～脱穀精白～」	《参加者：33人》

## 8. 各種連携事業

### (1) 学校との連携

#### ①大阪府立泉大津高等学校

秋季特別展「大阪の宝物—出土品が歴史を語る—」に地歴部の資料を展示した。

また、10月3日(土)同校考古資料室見学ツアーをおこなった。

《参加者：17人》

## (2) 企業等との連携

### ①朝日新聞社

春季特別展招待券裏面に共催同社広告を掲載し、販売店をとおした招待券の配布に努めた。

同社が主催し10月18日(日)に開催された「弥生ロマンツデーウォーク」参加者に、秋季特別展の招待券を提供し、入館者増に努めた。

### ②南海電気鉄道株式会社

同社が主催し11月1日(日)に開催された「五私鉄リレーウォーク」参加者に、秋季特別展の招待券を提供し、入館者増に努めた。

### ③泉北高速鉄道株式会社

平成21年3月28日(土)～6月14日までの79日間、「第15回泉北ぐるりんウォーキングスタンプラリー」のスタンプポイント設置に協力し、入館者増に努めた。

同社が主催し12月13日(日)に開催された「泉北沿線てくてくウォーク」参加者に、冬季企画展の招待券を提供し、入館者増に努めた。

### ④佐竹ガラス株式会社

冬季企画展「とんぼ玉100人展ー掌から無限の世界へー」を同社と連携して企画・運営した。

### ⑤株式会社国際交流サービス

6月5日(金)「近江の弥生遺跡を訪ねて」に講師派遣の要請を受け、滋賀県下の遺跡・博物館見学に当館学芸員が随行した。 <<参加者：52人>>

10月19日(月)～21日(水)「新潟 史跡と考古の旅 火焰土器の国を訪ねて」に講師派遣の要請を受け、新潟県下の遺跡・博物館見学に当館学芸員が随行した。 <<参加者：49人>>

### ⑥近畿弥生の会

同会が主催する講演会「弥生時代入門講座2009 聞いてなっとく弥生の世界」をおこなった。

第1回6月13日(土)「土器から見る弥生時代のはじまり」(豆谷和之) <<参加者：70人>>

第2回8月8日(土)「農耕を営むための道具 木器・石器・金属器」 <<参加者：65人>>

第3回10月10日(土)「石器・金属器の観かた／石器から金属器へ」 <<参加者：80人>>

第4回1月9日(土)「弥生絵画の世界ー絵画土器と銅鐸から見た稲作の祭りー」 <<参加者：65人>>

第5回3月13日(土)「土器から見る弥生時代のおわり」(田中元浩) <<参加者：70人>>

### ⑦その他

研修、見学、展示案内等の受入れをおこなった。

7月10日(金) 社団法人日本セカンドライフ協会 <<参加者：25人>>

7月23日(木) 積水ハウス <<参加者：10人>>

9月15日(火) NPO高齢者大学 <<参加者：50人>>

1月26日(水) NPO高齢者大学 <<参加者：60人>>

## (3) 公共機関との連携

### ①大阪府計量検定所

「関西文化ワークショップフェスティバル」参加にご協力いただいた。

8月1日(土) 夏休み計量教室「棒はかりをつくろう」 ≪参加者：50名≫

「関西文化の日」参加にご協力いただいた。

11月14・15日(土・日)「棒はかりをつくろう」 ≪参加者：173人≫

11月14・15日(土・日) 家庭用計量器無料診断、健康器具体験

②大阪市立信太山野外活動センター

「野外で体験 弥生の暮らし」を当館と共同で計画・実施した。

第1回 11月3日(火祝) ≪参加者：45名≫

第2回 1月24日(日) ≪参加者：45名≫

③和泉市商工会議所

和泉市商工会議所が主催し池上曾根史跡公園で開催された「和泉市商工まつり」に体験ブースを出店した。

10月24・25日(土・日)「チャレンジ!土器パズル」 ≪参加者：226人≫

④兵庫県立考古博物館

兵庫県考古博物館主催の「古代体験秋まつり」に体験ブースを出店した。また、併せてパネルを用いた当館の紹介をおこなった。

11月7日(土)「磨いてビックリ!弥生の鏡を作ろう!」 ≪参加者：98名≫

⑤関西広域機構

関西広域機構が主催する催しに参加登録した。

8月1日(土)「関西文化ワークショップフェスティバル」 ≪参加者：50名≫

11月14・15日(土・日)「関西文化の日」 ≪参加者：563名≫

⑥全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿支部

全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿支部が主催する「関西考古学の日」に参加した。

⑦和泉市・和泉市教育委員会

A) 史跡公園を活用した催しに講師を派遣していただいた。

5月4日(月祝)「池上曾根史跡公園復元建物解説と竪穴住居いごち体験」 ≪参加者：56人≫

5月5日(火祝)「池上曾根史跡公園復元建物解説と竪穴住居いごち体験」 ≪参加者：42人≫

11月14日(土)「弥生ツアー」 ≪参加者：15人≫

11月15日(土)「弥生ツアー」 ≪参加者：20人≫

3月27日(土)「池上曾根探検ツアー」 ≪参加者：45人≫

B) 和泉市主催の催しに当館紹介ブースを出店し、当館の周知に努めた。

10月31日(土)「高校軽音フェスタ in 弥生の杜 2009」(於：池上曾根史跡公園)

11月1日(日)「高校軽音フェスタ in 弥生の杜 2009」(於：池上曾根史跡公園)

C) 市主催の催しに招待券を提供し、入館者増に努めた。

10月31日(土)「高校軽音フェスタ in 弥生の杜 2009」(於：池上曾根史跡公園)

11月1日(日)「高校軽音フェスタ in 弥生の杜 2009」(於：池上曾根史跡公園)

12月13日(日) 歴史ウォーク 2009「信太山の歴史と自然を歩く」

⑧泉大津教育委員会

織編館と連携し、見学ツアーをおこなった。

《参加者：18名》

⑨八尾市しおんじやま古墳学習館

「弥生フェスティバル」においてワークショップブースを設けていただいた。

3月24・25日（水・木）ワークショップ「埴輪ストラップ作り」

《参加者：65名》

⑩京都市考古資料館

「関西文化の日」のワークショップ実施にあたり、「泥めんこ」の型をお貸しいただいた。

⑪大阪府生活文化部「こどもファーストデイ」

大阪府が実施する「こころの再生」府民運動の一環として、毎月第3週土曜日を「子どもファーストデイ」として設け、家族のコミュニケーションを深めるきっかけづくりを応援した。

⑫その他

見学、展示案内等の受入れをおこなった。

9月18日（金）守山市立埋蔵文化財センター友の会

《参加者：50人》

#### （4）史跡と一体となった事業

①和泉市立弥生学習館行事に当館を利用

10月3日（土）「大阪府立弥生文化博物館バックヤードツアー」

《参加者：6人》

②当館行事に史跡公園を活用

11月14・15日（土・日）関西文化の日「弥生ツアー」

《参加者：35人》

3月27日（土）弥生フェスティバル「池上曾根遺跡探検ツアー」

《参加者：45名》

#### （5）研究機関との連携

①大阪府環境水産総合研究所

共催講演会「魚と人の6000年」を開催した。

第1回2月7日（日）「大阪の魚介類と食文化」

《参加者：115人》

第2回3月6日（土）「大阪の淡水魚と生息環境」

《参加者：79人》

②奈良文化財研究所

1月14日（木）遺跡整備活用過程研修の受け入れ

《参加者：19人》

## 9. 広報普及事業

### （1）弥生フェスティバル開催

当館の存在を広くPRするとともに、地元の各種団体や他の博物館、企業と連携して楽しく学べる空間を創出することを目的として、弥生フェスティバルを実施した。

ア. 開催期間 平成21年3月24日（水）～27日（土） 4日間

イ. 入館料 無料

ウ. イベント内容および開催場所

博物館バックヤードツアー 27日（土）

収蔵庫

《参加者：21名》

考古学屋台村

24日（水）～27日（土） 第2展示室

卑弥呼登場	24日(水)～27日(土)	特別展示室前	
竪穴住居で写真を撮ろう!	24日(水)～27日(土)	第1展示室	
海渡君はどこ?	24日(水)～27日(土)	第1展示室	
池上曾根探検ツアー	27日(土)	史跡公園	《参加者:45名》
体験屋台村			
埴輪ストラップ作り	24日(水)・25日(木)	エントランスホール	《参加者:65名》
狩人きぶん	24日(水)・25日(木)	ホール	《参加者:293名》
拓本教室	26日(金)・27日(土)	エントランスホール	《参加者:140名》
石器で切れるかな?	26日(金)・27日(土)	エントランスホール	《参加者:209名》
絵で見る弥生文化博物館	24日(水)～27日(土)	2階	
こんぺいとうを作ってみよう	27日(土)	セミナー室	《参加者:35名》

## (2) 要覧

『平成20年度弥生文化博物館要覧』(平成21年9月30日発行)

## (3) 特別展・企画展・その他催しのポスター等の作成・配布

ポスター、チラシ、招待券等を催しの規模に応じて作成し、広報活動に活用した。

## (4) 常設展リーフレット作成

常設展示の内容を簡単に紹介したA4三折りのリーフレット(日本語・英語・中国語・韓国語)を配布した。

## (5) 小学生用見学のしおり・ワークシート

小学生が弥生文化を学習するうえで助けとなるよう、「小学生のための見学のしおり」を配布した。

また、社会見学等で来館の学校団体には、ワークシート(8種)を用意し、当館ホームページからダウンロードしてご利用いただけるようにした。

## (6) 解説シート

常設展示の解説シート(7種)、およびボランティアが作成した常設展示点字解説シート、特別展示点字解説シート、外国語解説シート等を用意した。

## (7) 問合せ対応

マスコミ、出版社等弥生文化を中心とする質問についての回答や、参考文献の紹介をすることで、弥生文化に関する情報を発信した。 《問合せ件数:96件》

## (8) マスコミ・ミニコミへの資料提供

各種イベントごとに報道提供資料を作成し、大阪府政記者会、大阪教育記者会、堺市政記者クラブに情報を提供した。また、新聞五大紙やテレビ局各社をはじめ情報誌、地元ミニコミ誌へも同様の資料を作成・送付し、広報への協力を依頼した。 《報道提供回数37回/紙面等掲載・ラジオ放送等300回以上》

## (9) インターネットホームページ

ホームページによる情報提供をおこなった。

《年間アクセス件数：255,045 件》

## 10. 資料貸出し

当館所蔵の資料（実物・復元・写真・映像等）を全国各地の博物館等へ貸出し、所蔵資料を活用するとともに、各方面へ弥生文化に関する情報を発信した。

資料 10 件・145 点／写真 69 件・159 点／映像 14 件・43 点

## 11. 研究事業

### (1) 海外の研究者との学術交流

5 月 15 日（金）	嶺南文化財研究所	3 名
10 月 18 日（日）	韓国文化遺産研究員	9 名
11 月 17 日（火）	釜山大学校	2 名
11 月 20 日（金）	韓国文化遺産研究院、大邱博物館	12 名
11 月 27 日（金）	SOUL OF ASIA	4 名
1 月 28 日（木）	韓国慶州国立博物館	2 名
1 月 29 日（金）	韓国高麗大学校	60 名
1 月 29 日（金）	仁済大学校	1 名
2 月 19 日（金）	韓神大学校	10 名
2 月 26 日（金）	済州島文化遺産研究所	27 名
	釜山大学校	1 名
	中国社会科学院考古研究所	2 名

## 12. 資料製作事業

### (1) 資料収集

学術図書の計画的購入など、資料収集に努めた。

### (2) 実物資料の寄贈・寄託

弥生文化に関する資料を、寄贈・寄託によって収集し、収蔵展示をおこなった。

## 13. サービス事業

### (1) 職員研修

全職員を対象とした接遇力向上研修を実施した。

### (2) アンケート調査の実施

よりよい館運営をおこなうため、展示室にアンケート用紙を設置したほか、講演会やコンサートでアンケート用紙を配布し、来館者の要望や展示内容の疑問などの把握に努めた。

### (3) 音声ガイド

展示資料の理解をより深めてもらうため、常設展示ならびに特別展示資料を紹介する音声ガイドを無料で貸し出した。また、常設展示については、英語版の音声ガイドも無料で貸し出した。

### (4) 館内紹介ビデオ・DVD

主に学校団体ご利用に向けて、館内ならびに体験ゾーンの紹介と見学に際しての注意を盛り込んだ映像ソフトの貸し出しをおこなった。 《貸出件数：84件》

### (5) 設備

来館者の便宜供与あるいは省資源化を目的として、下記の設備を設置ないし更新した。

- ①常設展示室「タイムトンネル」の画像パネル更新
- ②常設展示室「弥生の家族」のいろりにフリッカーランプ設置
- ③常設展示室電光掲示板の活用に向けてプロジェクタ設置（スクリーンは22年度設置予定）
- ④常設展示室モニター前9か所にベンチ設置
- ⑤体験ゾーン疑土ブロック更新
- ⑥監視カメラ増設
- ⑦弥生情報館に展示ケースならびに入館者数カウンター設置

## 14. 自主事業

### (1) ミュージアムショップの整備

オリジナルグッズや受託販売商品の充実に努めた。また、障がい者福祉に貢献するため、授産施設商品の受託販売を開始した。

## 15. 入館者数および入館料一覧表

区 分	入館者数（人）			入館料（円）	備 考
	有 料	無 料	合 計		
常 設 展	1,934	8,018	9,952	465,980	77 日間
割合%	11.0	25.0	20.0		
春季特別展	2,562	6,857	9,419	973,480	38 日間
割合%	14.5	21.3	18.9		
夏季特別展	4,901	5,522	10,423	2,070,820	56 日間
割合%	27.9	17.2	21.0		
秋季特別展	2,359	5,976	8,335	901,740	56 日間
割合%	13.4	18.6	16.8		
冬季企画展Ⅰ	3,087	2,316	5,403	866,540	26 日間
割合%	17.5	7.2	10.9		
冬季企画展Ⅱ	2,777	3,429	6,206	994,200	51 日間
割合%	15.8	10.7	12.5		

合 計	17,620	32,118	49,738	6,272,760	304 日間
割合%	100.0	100.0	100.0		
平成 20 年度実績			45,717	4,276,000	303 日間
平成 19 年度実績			45,502	4,739,220	303 日間

(金額は税込額)

- ・ 秋季企画展の無料欄には、天皇陛下御即位 20 周年記念慶祝事業 (11 月 12 日) の入館者 (一般 18 人、65 歳以上 20 人)、関西文化の日 (11 月 14・15 日) の入館者 (一般 278 人、高大生 15 人、65 歳以上 116 人) を含む。
- ・ 常設展の無料欄には弥生フェスティバル (3 月 24 ~ 27 日) の入館者 (一般 264 人、高大生 8 人、65 歳以上 38 人) を含む。

## IV. 大阪府立近つ飛鳥博物館事業

### 1. 常設展示

#### (1) 第1ゾーン：「近つ飛鳥と国際交流」

日本古代律令国家成立への道筋と、その中で近つ飛鳥の地域が果たした役割を、5～6世紀「倭の五王と渡来文化」、7世紀「古墳の終わり」、7世紀前半「聖徳太子の時代」、7世紀後半「仏教文化の開花」、8世紀「文字の時代」の五つのサブテーマにより展示をした。

#### (2) 第2ゾーン：「古代国家の源流」

古代律令国家の移行段階としての古墳時代の文化を、「竪穴式石室の世界」「埴輪の世界」「王と民衆」「横穴式石室の世界」「古墳造営のムラ」「大古墳の造営」の六つのサブテーマで展示をした。

#### (3) 第3ゾーン：「現代科学と文化遺産」

現在、様々な科学技術が多くの文化財の保存や調査・分析に応用され、大きな成果を挙げている。このことについて、保存処理を終えた修羅を中心に、幾つかの例を取り上げ、その方法や成果を紹介展示をした。

### 2. 特展企画展事業

#### (1) 冬季企画陳列『近つ飛鳥博物館ポスター展～15年をめぐる～』

≪20年度 総入館者数：1,907人、うち展示室：430人、展示室1日当たり72人≫

≪21年度 総入館者数：4,602人、うち展示室：998人、展示室1日当たり91人≫

ア. 開催概要 当館は、平成21年3月25日、開館15周年を迎えた。開館以来のポスター、建築にかかわる資料を展示し、この15年間に発信した情報を振り返り、古代国家を形成した「大阪の活力」を伝え、現代を生きる人の創造性に訴える企画とした。

イ. 開催期間 平成21年3月25日（水）～4月12日（日）

（開館日数 20年度6日、21年度11日）

ウ. 場 所 特別展示室

エ. 入館料 一般300円（240円）、65才以上・高校大学生200円（160円）

（ ）内は団体割引料金

オ. 印刷物 ポスター、チラシ

#### (2) 開館15周年記念 春季特別展

##### 「卑弥呼死す、大いに冢（ちょう）をつくる—前方後円墳の成立—」

≪総入館者数：28,270人、うち展示室：12,297人、展示室1日当たり216人≫

ア. 開催概要 3世紀は弥生時代から古墳時代へと時代が移り行く変革期にあたる。巨大な墓を築くことで自らの存在を示し、その巨大な墓が媒体となり各地の権力者が結びついた。日本列島各地の3・4世紀の墳墓における埋葬施設とその出土資料から、古墳の成立と各地の動向を探る展示をした。



《総入館者数：20,891人、うち展示室：7,388人、展示室1日当たり132人》

ア. 開催趣旨 大阪府内の古墳時代集落遺跡の調査成果の蓄積は断片的ながらも、そこには古墳だけでは分からない古墳時代像を明らかにしてくれる数多くの鍵が潜んでいる。河内平野の集落遺跡を中心に墳墓も含めて、古墳時代社会に光を当てた展示をした。

イ. 開催期間 平成21年10月10日(土)～12月13日(日) 《開館日数56日》

ウ. 場 所 特別展示室

エ. 入館料 一般400円(320円)、65才以上・高校大学生300円(240円)

( )内は団体割引料金

オ. 印刷物 ポスター、チラシ、リーフレット、  
図録《広報1,200冊、販売1,200冊》

カ. 展示解説 10月12日(月・祝)、17日(土)、24日(土)、11月21日(土)

《参加者合計：143人》

### (6) 冬季特別展「ふたつの飛鳥の終末期古墳—河内飛鳥と大和飛鳥—」

《総入館者数：15,238人、うち展示室：7,129人、展示室1日当たり162人》

ア. 開催趣旨 終末期古墳に焦点をあて、河内と大和に多く存在する横口式石槨を中心に、出土品および埋葬施設の構造を比較し、古墳時代終末期の様相を探る展示をした。展示にあたっては、南河内地域や奈良県などと連携し、展示内容や講演会の充実に努めた。

イ. 開催期間 平成22年1月23日(土)～3月14日(日) 《開館日数44日》

ウ. 場 所 特別展示室

エ. 入館料 一般600円(480円)、65才以上・高校大学生400円(320円)

( )内は団体割引料金

オ. 印刷物 ポスター、チラシ、リーフレット、  
図録《広報1,200冊、販売1,300冊》

カ. 展示解説 1月24日(土)、2月13日(土)、3月13日(土)

《参加者合計：108人》

## 3. 講演会事業

### (1) 冬季企画陳列関連

4月12日(日) ミニシンポジウム 近つ飛鳥博物館から大阪の古代を探る  
「河内にひろがる古代寺院」市本芳三(当館学芸課長)  
「近つ飛鳥の古墳と古道」山本 彰(大阪府教育委員会)  
「百舌鳥・古市古墳群と仁徳陵古墳」一瀬和夫(京都橘大学教授)  
ミニシンポジウム(白石当館館長交えて)

《参加者：216人》

### (2) 春季特別展関連

5月17日(日)「3・4世紀の倭国と東アジア」

鈴木靖民(國學院大學教授)

《参加者：187人》

5月31日(日)「卑弥呼の死と前方後円墳の誕生」



2月11日(祝) 調査報告会

「平石古墳群の調査成果—シシヨツカ・ツカマリ・アカハゲ古墳を中心に—」

栢本 哲 (当センター)

「羽曳野市の終末期古墳—小口山古墳の調査を中心に—」

河内一浩 (羽曳野市教育委員会)

「明日香村の終末期古墳の調査成果」 西光慎治 (明日香村教育委員会)

《参加者：201人》

2月14日(日) 「大王陵最後の前方後円墳をめぐって」

高橋照彦 (大阪大学)

《参加者：207人》

2月21日(日) ミニシンポ「ふたつの飛鳥の終末期古墳と被葬者像」

「大和飛鳥の終末期古墳と被葬者像」

相原嘉之 (明日香村教育委員会)

「河内飛鳥の終末期古墳と被葬者像」

堀田啓一 (奈良県立橿原考古学研究所指導研究員)

「文献史料からみた終末期古墳の被葬者像」

塚口義信 (堺女子短期大学名誉学長)

[ミニシンポジウム] パネリスト/上記講演者3名

司会・進行/白石太一郎 (当館館長)

《参加者：242人》

2月28日(日) 「斉明女帝大葬を凝視した鬼」

猪熊兼勝 (京都橘大学名誉教授)

《参加者：243人》

3月7日(日) 「ふたつの飛鳥の終末期古墳—横口式石槨を中心に—」

白石太一郎 (当館館長)

《参加者：271人》

## (7) 近つ飛鳥入門講座・土曜講座 (オーサカ発調査研究最前線)

生涯学習の一環として、博物館周辺の歴史を学ぶ基礎となる講座「近つ飛鳥入門講座」を毎月第3木曜日に実施する。また、最新の発掘調査や研究を知る機会として土曜講座を毎月第4土曜日に開催し、合わせてスポット展示を実施する。弥生文化博物館、大阪府教育委員会、当法人埋蔵文化財発掘調査部門と連携した事業。

### ア. 近つ飛鳥入門講座

第21回 4月16日 小栗 梓「石棺のみかた」

第22回 5月21日 高松雅文「鏡のみかた」

第23回 6月18日 鹿野 塁「古墳時代の土器のみかた」

第24回 7月16日 市本芳三「瓦のみかた」

第25回 8月20日 廣瀬時習「石製品のみかた」

第26回 9月17日 小栗 梓「近つ飛鳥風土記の丘、一須賀古墳群を探る」

第27回 10月15日 森本 徹「一須賀古墳群(近つ飛鳥風土記の丘)を歩く」

第28回 11月19日 高松雅文「金色に輝く馬具のみかた」

第29回 12月17日 森本 徹「鉄製武器のみかた」

- 第30回 1月21日 市本芳三「古代寺院をさぐる－出土品から何がわかるか－」  
 第31回 2月18日 森本 徹「火葬墓の始まりをさぐる」  
 第32回 3月18日 廣瀬時習「鉄製品農工具のみかた」

《参加者合計：429人》

イ. 土曜講座 オーサカ発 調査研究最前線

- 第12回 4月25日 大阪府教育委員会 小山田宏一「いま、三角縁神獸鏡から言えること」  
 第13回 5月23日 当館 鹿野 壘「埋葬施設からみた弥生墳丘墓と古墳」  
 第14回 6月27日 当館 高松雅文「卑弥呼・壺与を支えた政治組織」  
 第15回 7月25日 大阪府教育委員会 橋本高明「大阪の古墳」  
 第16回 8月22日 当センター 奥村茂樹  
 「讃良郡条里遺跡－古墳時代の馬飼集団が使った船・矢じり・祭りの道具」  
 第17回 9月26日 弥生文化博物館 東 徹志「隼人の考古学」  
 第18回 10月24日 当館 廣瀬時習「河内平野の4世紀を考える」  
 第19回 11月28日 当館 森本 徹「渡来人と井戸－古墳時代のムラづくり－」  
 第20回 12月19日 当センター 正岡大実  
 「藤井寺市・柏原市船橋遺跡の調査－飛鳥時代の工芸工房－」  
 第21回 1月30日 当センター 信田真美世  
 「茨木市玉櫛遺跡の調査－古墳時代の木製鞍から中世のムラまで－」  
 第22回 2月27日 当館 小栗 梓「横口式石槨出現をめぐる問題点」  
 第23回 3月27日 大阪府教育委員会 岡田 賢  
 「王権と馬飼－四條畷市部屋北遺跡の調査成果を中心に－」

《参加者合計：437人》

#### 4. 「府民が参加する博物館」事業

##### (1) 風土記の丘古墳時代まつり「春の風土記の丘であそぼう」

博物館周辺にひろがる豊かな自然を持つ風土記の丘を積極的に活用する事業として、ウォークラリーをはじめ、古代衣装着用体験・勾玉づくり・森の工作などを5月5日（火・祝）に開催。

《参加者合計：416人》

##### (2) 古墳の森コンサート「奏・SO・爽2009」

博物館屋上階段広場を利用して、音楽会を4月29日（水・祝）に開催。地元高校生の軽音楽部の発表の場、他学校との交流の場とし、博物館・風土記の丘への親しみを育んだ。

上宮太子高校、阪南大学高校、大阪府立金剛高校・長野高校・藤井寺高校

《参加者合計：312人》

##### (3) こども博物館探検ツアー

小中学生およびその保護者を対象に、博物館により親しみが持てるよう、博物館の仕組みの説明や、普段公開しない収蔵庫などの博物館のバックヤードを観察する見学会を実施した。

8月9日（日）、29日（土）、9月5日（土）、2月6日（土）、3月6日（土）

《参加者合計：48人》

#### (4) こども古墳探検ツアー

中学生以下の子どもとその保護者を対象にして、近つ飛鳥風土記の丘の古墳群を見学する探検ツアーを実施した。

12月5日(土)、3月6日(土) 雨天中止

《参加者合計：5人》

#### (5) 近つ飛鳥ギャラリー

府民の文化活動を支援すると共に当館の広報に資するため、地階ロビー、1階ロビーの空間を活用して、絵画、写真等の展示を実施した。

5月1日～5月24日 ふるさと俳画展(河南町俳画クラブ・俳画彩美会) 《参加者：11,039人》

7月3日～7月5日 夏の花会(近つ蘭遊倶楽部《富貴蘭全般》・羽曳野市 内田氏《アートフラワー》・大宝はなみずき会《押し花展示》) 《参加者：920人》

8月6日～9月1日 日本の石橋写真展 森野秀三 《参加者：7,568人》

9月5日～10月11日 (財)大阪府みどり公社「平成20年度 大阪府民の森写真コンテスト」 《参加者：6,439人》

10月20日～11月4日「伊勢大神楽-森本忠太夫組の1年」写真展 出水伯明 《参加者：2,685人》

11月8日～11月23日「風景写真 しおんじやまこふん」 河合都章 《参加者：2,788人》

11月25日～11月29日 第21回MOA美術館南河内児童作品展 《参加者：2,721人》

1月16日～1月31日 親子で集う「ふるさと写生会」巡回展、太子町ふるさとときり絵風景・物 《参加者：2,157人》

2月2日～2月21日 寺社仏閣ミニチュア模型「木造空間の匠」川本正勝棟梁 《参加者：3,053人》

2月26日～3月12日 第11回かなん写真クラブ作品展 《参加者：2,553人》

#### (6) ボランティア活動・観光ボランティアへの支援

継続してボランティアを募集する。講演会・ワークショップ・体験学習などの事業への支援、図書整理などの博物館環境整備への支援などの活動を行った。

また、地元各市町の観光ボランティア「みなみかわちガイドネットワーク」の活動と連携し、活動を支援すると共に当館への来館を推進する広報員になってもらった。他地域のボランティア、友の会においても研修の場を提供した。

6月5日 高槻市文化財スタッフの会 埋蔵文化財チーム研修 24人

7月1日 藤井寺市観光ボランティアの会研修 20人

9月 みなみがわちガイドネットワークウォーキングへの後援名義

9月18日 滋賀県守山市立埋蔵文化財センター友の会研修 45人

11月11日 和泉市観光ボランティア研修 20人

11月22日 堺市教育文化振興会研修 14人

1月24日 城陽市歴史民俗資料館友の会研修 35人

2月19日 明日香村ボランティアグループ(あすかり山クラブ)研修 20人

2月23日 奈良県広陵町文化財ガイドの会研修 18人

3月27日 兵庫県丹波古陶館友の会研修 51人

《他、みなみがわちガイドネットワーク等組織との提携支援件数：23件》

## 5. 「市町村と連携する博物館」事業

### (1) 連携展示事業

企画展等の実施に際しては、堺市、羽曳野市、藤井寺市と協力し、世界遺産登録をめざす百舌鳥・古市古墳群について印刷物に追加した。また、地元、市町を中心に大阪府下市町村教育委員会の協力を得て、効率的かつ効果的な展示事業を実施した。

### (2) スポット展示

大阪府下における発掘調査最新成果の展示公開を大阪府、財団法人大阪府文化財センターの協力を得て適時実施した。また、毎月実施する土曜講座に際して、その成果発表を行った。

3月19日～4月5日

大阪府教育委員会「古代寺院を彩る～舍利と堂塔の荘厳～」

《入館者数：4,109人》

11月21日～12月6日

当センター「4世紀の池島・福万寺遺跡」

《入館者数：1,975人》

12月19日～1月22日

当センター「船橋遺跡の発掘調査―飛鳥時代の工芸工房―」

《入館者数：853人》

1月23日～2月14日

当センター「玉櫛遺跡―古墳時代木製鞍と高麗青磁―」

《入館者数：2,827人》

3月19日～4月9日

大阪府教育委員会「四條畷市葺屋北遺跡の調査成果―王権と馬飼―」

《入館者数：6,514人》

### (3) 広報の強化

近隣市町の協力を得て、広報誌やホームページに当館の案内やコラム等を掲載し、効率的かつ効果的な広報を行った。企画展等の実施には共催、後援を依頼し、広報の協力を得た。

#### ア. 広報誌掲載

「広報かなん」、「広報富田林」、「はびきの」、「太子町」

《回数：10回》

#### イ. 後援依頼

春季特別展：河南町・河南町教育委員会、太子町・太子町教育委員会

夏季企画陳列：河南町・河南町教育委員会、太子町・太子町教育委員会

夏季特別展：河南町・河南町教育委員会、太子町・太子町教育委員会

秋季企画展：河南町・河南町教育委員会、太子町・太子町教育委員会

冬季特別展：明日香村教育委員会、河南町・河南町教育委員会、太子町・太子町教育委員会

### (4) 史跡と一体となった事業の拡充

近つ飛鳥風土記の丘をより多くの人に知っていただき、訪れていただくため、大阪府文化財センター、河南町内の文化福祉団体、大阪芸術大学、当館から構成する実行委員会を立ち上げ、「かなんフェス」を実施した。歴史・文化・芸術・健康をテーマとし、地元住民による模擬店、大阪芸術大学による音楽祭健康ウォーク等を実施した。

11月7日(土)

《風土記の丘利用者数：4,130人、博物館入館者数2,920人、展示室数480人》

和同開珎づくり体験コーナー

《参加人数：128人》

講演会 白石太一郎(当館館長)「考古学からみた邪馬台国と初期ヤマト王権」

《参加人数：194人》

## 6. 「博物館 in school」事業－博学連携事業－

### (1) 小中学校の団体見学の受入

校外学習を受け入れ、展示解説と共に、展示品に関わるワークショップ、修羅(古代の運搬道具)の復元模造品を使った体験学習、風土記の丘での古墳めぐりを実施し、古墳文化に親しみをもち、理解を助けた。

《来館数：53校、生徒数：4,208人》

### (2) 出前授業

小学校、中学校、高校、大学に学芸員が出向き、ワークショップ(体験学習)を通じて、当館を知ってもらい、古墳・飛鳥文化の理解に努めた。

《実施授業数：57回、対応生徒数：1,245人》

5月2・9日、6月6日、7月4・11日、9月12日、10月3・10日、11月14日、1月9・16日、  
2月6・16日、3月6・13日

	寝屋川市立教育センター	15回	93人
5月8日(金)	堺市立さつき野小学校	2回	42人
5月13日(水)	高槻市立川西小学校	4回	44人
5月27日(水)	河南町立河内小学校	2回	48人
6月2日(火)	大阪市立成育小学校	2回	121人
6月4日(木)	羽曳野市立恵我ノ荘小学校	2回	62人
6月9日(火)	枚方市立招提小学校	3回	87人
6月9・10・15・22・23・29日、7月1・2日			
	大阪府立泉大津高等学校	8回	120人
6月11日(木)	和泉市立黒鳥小学校	3回	87人
6月12日(金)	富田林市立八田荘西小学校	2回	74人
7月7日(火)	羽曳野支援学校	1回	13人
7月27日(月)	大阪芸術大学 工芸科	1回	60人
10月16日(金)	大阪狭山市立南第2小学校	3回	91人
11月7日(土)	懐風館高校 体験授業	1回	19人
11月15日(日)	河内長野市立川上小学校	1回	40人
1月9日(土)	龍谷大学	1回	10人
3月11日(木)	豊中市 履正社中学	6回	234人

### (3) 学校団体利用案内の作成

学校団体が来館する際の利用手引を作成し、利用を促した。

#### (4) 学習用ワークシートの作成

博物館での児童生徒の学習意欲を促し、展示に対する興味を喚起するためにワークシートを作成した。

#### (5) 大学生博物館学実習および芸術大学等実習・研修

主として近畿圏内の各大学から学芸員課程の履修学生を受け入れ、博物館学実習を行う。また、芸術大学の写真学科、映像学科、放送学科等の実習の場、建築学科の研修の場として博物館、風土記の丘を活用してもらった。

##### ア. 博物館学実習

5月16日	追手門学院大学 学芸員課程	37人
7月31日	奈良大学 通信教育課程 博物館実習	30人
8月19～23日	学芸員課程博物館実習 武庫川女子大学・東京学芸大学・関西学院大学・帝塚山学院大学・大阪芸術大学・大阪府立大学・大阪大学・京都外国語大学・阪南大学・大阪教育大学	20人
10月2日	JICA 博物館学海外実習生	17人

##### イ. 実習・研修 《受入件数：15件、学生数：501人》

4月11日	大阪工業大学 建築学科	50人
4月23日	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科	10人
5月2日	大阪芸術大学 工芸学科	42人
5月19日	奈良大学 文学部文化財学科	10人
5月21日	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科	10人
6月6日	大阪大谷大学 文化財学科	50人
6月28日	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科	20人
7月9日	岡山科学技術専門学校 建築工学科	46人
7月22日	大阪産業大学	20人
10月3日	武庫川女子大学建築学科	61人
10月30日	福島大学行政政策学類 考古学研究室	13人
11月11日	釧路工業高等専門学校 建築学科	35人
11月12日	大阪芸術大学 写真学科実習	60人
2月22日	大阪芸術大学 映像学科 ロケ地提供	9人
1月24日	モンテプリシベ グループ（スペイン建築専攻学生）	65人

#### (6) 高校生のインターンシップ

高校生を受け入れて、博物館事業運営の体験学習を実施し、進路選択の参考とする体験の支援をした。

12月10日	大手前高校 集中セミナー 当館	13人
12月11日	大手前高校 集中セミナー 大手前高校	13人

#### (7) 中学生の職場体験学習

将来希望する職業を実際に体験し、働くことを学び、将来の職業選択の参考とする体験学習を支援した。

11月11～13日	太子中学校	3人
11月13日	河南中学校	4人
11月19～20日	富田林市第三中学校	5人

## (8) 教員の研修、研究団体の受け入れ

教員や研究団体等の研修を博物館で行い、博物館との連携を深めた。

8月25日	大阪府町村教育委員会連絡協議会夏期研修	50人
8月26日	羽曳野市教育委員会 小学校教職員研修	16人
8月29日	河南町大宝小学校教職員研修	13人
8月29日	和歌山市小学校教頭会	26人
10月10日	大阪府海外短期建築芸術研修生招聘事業 研修	10人
11月8日	奈良県歴史教育者協議会研修	10人
11月18日	河内長野市立中学校 市教育研究会中学校国語部会	13人

## 7. 「どこでも博物館」事業

### (1) 出展

各種催しにパネル展示や体験学習ブース等を出展し、当館の認知度アップにつなげた。

10月11日	御堂筋 kappo	855人
10月11日	大宝まつり（地元自治会）	100人
10月30・31日	河南町文化祭	2,000人
11月7日	兵庫県立考古博物館 古代体験フェア	127人
11月8日	豊能町文化祭	148人
11月15日	四條畷市まつり	250人
11月21日	日本民家集落博物館まつり	1,111人
3月26・27日	弥生文化博物館 弥生フェスティバル	140人

### (2) 出前講座

公民館・図書館等へ学芸員が出向き、講演や体験学習を実施し、古墳・飛鳥文化の理解に努め、成人の生涯学習を支援し、来館の機会を促した。

5月20日・6月10日・11月18日・2月17日 弥生文化博物館共同事業

	府立博物館出張講座「摂河泉名所図会と考古学」（於：中之島図書館）	367人
6月6日	よみうり伊丹文化センター	32人
6月24日・7月15日	四條畷市立公民館「歴史講座」	70人
6月26日	堺市立女性センター 第30回堺女子大学	33人
7月5日	柏原文化連盟 ふるさとに親しむ会	50人
9月5日	堺市中区役所「なるほど！みんなの中区塾」	55人
9月30日	藤井寺市郷土研究会	25人



風土記の丘で実施し、古墳築造にかかる古代人の力を想像させ、風土記の丘の活用とした。

10月3日（土）

《参加者：15人》

### （3）子ども工作室

小中学生を中心として、その保護者と共に、ペーパークラフトによる博物館の展示品や風土記の丘の木ぎれを使った工作室やストーンアートを開催した。

8月23日（日）

《参加者：28人》

### （4）こども勾玉づくり工房

小中学生とその保護者を対象にして、勾玉づくりを行った。

7月4日（土）、8月1日（土）

《参加者合計：67人》

### （5）親子発掘現場体験

弥生文化博物館と共同で当センター発掘調査中の池島福万寺遺跡の現場見学・発掘体験などを行った。

10月31日（土）、11月7日（土）

《参加者合計：29人》

## 9. 各種連携事業

### （1）学校との連携事業

11月8日 中学生による太子町サミット。大阪府太子町、兵庫県太子、奈良県斑鳩の交流の場を博物館ホール提供

《参加者：56人》

12月 冬季特別展「ふたつの飛鳥の終末期古墳－河内飛鳥と大和飛鳥－」のポスター・チラシデザインを大阪芸術大学デザイン学科学生に依頼

### （2）公共機関との連携

ア. 大阪ミュージアム連携事業（主催：大阪商工会議所）

5月30日（土）「なにわなんでも大阪検定」バスツアー「聖徳太子ゆかりの地を巡る」

トータルガイドとしてバスに同乗

《参加者合計：30人》

イ. 四條畷市立公民館「歴史講座」：弥生文化博物館と共同で講座を実施

6月24日・7月15日・9月18日（9月は当館見学）

《参加者合計：105人》

ウ. 高齢者大学シニア富田林くすのき塾・高齢者大学OB会木歴遊交会：解説及び講座

6月25日、8月17日、9月6・15・26日

《参加者合計：138人》

エ. 堺市北区域町づくり推進事業実行委員会：講座

7月15日

《参加者：88人》

オ. 歴史街道推進協議会：講座

11月28日

《参加者：30人》

カ. こどもファーストデイ

大阪府の「こころの再生」施策の一環として毎月第3土曜日に実施し、家族のコミュニケーションを深めるきっかけづくりを応援した。展示品に関わるものを作ったり、風土記の丘の木の実や枝等を利用した工作

を実施した。

全 12 回

《参加者合計：227 人》

キ．寝屋川市教育委員会：復原修景した太秦高塚古墳へ設置する埴輪作製協力

### (3) 民間との連携

ヤマトロジスティクス株式会社 美術品輸送カンパニーでの研修用復原埴輪の作製協力の受け入れ。

## 10. 広報普及研究事業

### (1) 機関紙「アスカディア・古墳の森」(博物館だより)の発行

展示会の案内、博物館活動の報告、タイムリーな話題や収蔵品の紹介を掲載して、博物館と府民のコミュニケーションを図るPR誌を年2回発行した。

31号 平成21年9月30日発行

32号 平成22年3月31日発行

### (2) 近つ飛鳥博物館「館報」の刊行

博物館事業についての提言や館のテーマに沿った研究報告、年間事業記録などを掲載する館報を刊行した。

「館報13」平成22年3月31日発行

### (3) 解説シート

特別展・企画展において、解説シートを作成し、理解を補助する情報を提供した 《13種類、9,350枚》

### (4) 催し物案内の作成

府民や各種団体に博物館行事の周知を図り、来館を促すためのチラシを作成した。3か月単位のミュージアムカレンダーの作成・配布。

### (5) マスコミ・ミニコミ紙等への情報提供等

新聞、テレビ、ラジオの報道機関、ミニコミ誌へ積極的に情報を提供した。鉄道会社にはポスター掲示をし、広くPRした。また、博物館周辺の地域住民へは自治会を通じて実施した。

《報道提供回数：41回》

《ミニコミ誌等への個別情報提供、他館へのチラシ配布要請など：165回》

《新聞雑誌ネット等広報記事掲載回数：293回》

### (6) 出版事業

展示資料の解説や展示内容の理解を深めるため、特別展図録等を発行・配布した。

春季特別展「卑弥呼死す、大いに冢(ちょう)をつくる一前方後円墳の成立一」

《広報普及配布1,040部、販売1,660部》

秋季企画展「河内平野の集落と古墳―謎の4世紀を探る―」

《広報普及配布1,200部、販売1,200部》

冬季特別展「ふたつの飛鳥の終末期古墳―河内飛鳥と大和飛鳥―」

《広報普及配布 1,200 部、販売 1,300 部》

「館報 13」

《広報普及配布 1,250 部、販売 250 部》

## (7) インターネットホームページ

常設展・特別展・企画展の情報・博物館催し物案内の他、学芸員の活動等を、近つ飛鳥博物館ホームページから発信した。

《アクセス件数：120,898 件》

## (8) 所蔵資料の活用

当館所蔵の展示資料・写真資料を他館特別展等への出陳や印刷物への写真資料掲載のため、貸し出した。

博物館等の公共機関への展示資料の貸出 13 件

博物館等の公共機関への写真資料の貸出 24 件

出版社等への写真資料の貸出 39 件

## 11. 研究事業

海外の研究者との学術交流を行った。

韓国ソウル市漢城百済博物館建設準備室視察他

《韓国・中国の研究者を中心に 54 人》

## 12. 資料調査収集製作事業

### (1) 図書購入

学術図書並びに普及啓発用図書を計画的に購入した。

### (2) 資料の修理・保存処理

ア. 国重要文化財「修羅」の保存処理後の定期点検を実施した。

イ. 紫金山古墳、南塚古墳出土資料の保全状況の点検を実施した。

## 13. サービス事業

### (1) 特別開館日の設定

来館者の多い、春のゴールデンウィーク中日に当たる休館日（5月7日）と8月の盆休暇中の月曜日（8月17日）を臨時開館して利用者への便宜を図った。

### (2) マーケットリサーチの実施

アンケート等を行い、来館者の博物館に対するニーズを明確にし、今後の事業展開の基礎とした。

### (3) ミュージアムスタッフの人材育成研修

来館者に対する応対マナーの研修を弥生文化博物館と共同で実施した。人と人とのふれあいを大切に、心地よい博物館を目指す。

《マナー研修 12 月 26 日（於：弥生文化博物館）》

#### (4) 設備

来館者の便宜あるいは省資源化を目的とし、設備の設置ないし、更新を実施した。

- ア. 1階第1ゾーンと中地階の一部照明をLED電球に変更し、展示品をより鮮明に見せると共に省電力化に努めた。
- イ. 風土記の丘において、古墳解説板を4か所、園内案内板を10か所、設置した。
- ウ. 防犯のための監視カメラ及び録画設備を更新した。

### 14. 自主事業

#### (1) ミュージアムショップの整備

- ア. 当センターの発掘調査報告書や新たに関連図書を拡充し、販売書籍を充実しに努めた。
- イ. オリジナルグッズ「古墳キューピー」の販売を開始した。

### 15. 入館者数及び入館料一覧表

区分	入館者数					入館料 (税込)	開館日数 (日間)
	展示室入館者数			普及ゾーン	博物館		
	有料	無料	計	利用者数	総入館者数		
常設展 (割合 %)	3,694 15.2	2,044 11.3	5,738 13.5	14,289 21.7	20,027 18.5	875,600 10.7	81
開館15周年記念 (3・25～4・12) 15周年ポスター展 (割合 %)	686 2.8	312 1.7	998 2.3	3,604 5.5	4,602 4.2	176,700 2.2	11
春季特別展 (4・25～6・28) 卑弥呼死す、大いに冢をつくる (割合 %)	6,055 24.8	6,242 34.4	12,297 28.9	15,973 24.2	28,270 26.1	2,577,100 31.5	57
夏季企画陳列 (7・11～8・2) 大阪の古墳 (割合 %)	1,470 6.0	393 2.2	1,863 4.4	3,177 4.8	5,040 4.6	324,800 4.0	20
夏季特別展 (8・13～9・23) 発掘された日本列島2009 (割合 %)	4,103 16.8	2,990 16.5	7,093 16.7	7,324 11.1	14,417 13.3	1,766,660 21.6	38
秋季企画展 (10・10～12・13) 河内平野の集落と古墳 (割合 %)	4,342 17.8	3,046 16.8	7,388 17.4	13,503 20.5	20,891 19.3	1,113,160 13.6	56
冬季特別展 (1・23～3・14) ふたつの飛鳥の終末期古墳 (割合 %)	4,025 16.5	3,104 17.1	7,129 16.8	8,109 12.3	15,238 14.0	1,343,000 16.4	44
合計 (割合 %)	24,375 100	18,131 100	42,506 100	65,979 100	108,485 100	8,177,020 100	307
平成20年度実績			35,983	64,621	100,604	6,689,600	306
			20,272	15,711			
平成19年度実績			36,860	62,310	99,170	7,102,660	306
			18,699	18,161			
平成18年度実績			35,392	60,794	96,186	6,576,280	303
			17,882	17,510			

## V. 日本民家集落博物館事業

### 1. 展示事業

#### (1) 常設展示

- ① 第一ブロック：国指定文化財を中心とするエリア  
国指定文化財 = 摂津能勢の民家、信濃秋山の民家、日向椎葉の民家  
国指定重要有形民俗文化財 = 飛騨白川の民家  
大阪府指定有形文化財 = 奄美大島の高倉  
未指定 = 河内布施の長屋門、堂島の米蔵  
その他 = 戦国期の五輪塔、地蔵を展示公開している。  
また、大阪府文化財センター展示室「カルチュアはっとり」を設置している。
- ② 第二ブロック：大阪府指定文化財を中心とするエリア  
大阪府指定有形文化財 = 大和十津川の民家、越前敦賀の民家、南部の曲家  
大阪府指定民俗文化財 = 小豆島の農村歌舞伎舞台  
未指定 = 北河内の茶室、割舟（奄美のサバニ・島根のソリコ）を展示公開している。

#### (2) カルチュアはっとり展示事業

- ① 市民展示「工房恵み」
  - ア. 開催趣旨  
地域の文化サークルや個人の文化活動の発表の場として、展示室カルチュアはつとりをギャラリーとして活用。  
川西市在住の木工芸作家の手作り家具の展示と家具作りの工程や木工道具類の説明展示を開催。
  - イ. 開催期間  
平成21年4月4日(土)～5月24日(日)
- ② 市民展示「きり絵展」
  - ア. 開催趣旨  
豊中在住のきり絵を趣味とする個人の文化活動の発表の場としてカルチュアはつとりを提供。西国八十八番札所、浮世絵など幻想的な世界を表現したきり絵展。
  - イ. 開催期間  
平成21年6月6日(土)～8月30日(日)
- ③ 市民展示「能面の世界 - 2」
  - ア. 開催趣旨  
地域の文化サークルがギャラリーとして活用する事業の第3弾。昨年度に引き続き、豊中市内に工房を持つ遊創工房会員の能面作品を展示と製作実演。
  - イ. 開催期間  
平成20年9月5日(土)～10月30日(金)
- ④ 企画展「奄美大島・南西諸島の民家とくらし」

#### ア. 開催趣旨

当館に移築されている奄美大島の高倉の故郷、奄美大島と沖縄などを含む南西諸島の民家建築、生業、自然などについて、当館所蔵の民具資料とともに紹介。

さらに、総合地球環境学研究所より借用した奄美大島の植生データを、複製パネルとして展示。

#### イ. 開催期間

平成 21 年 11 月 7 日 (土) ～ 12 月 26 日 (土)

#### ウ. 関連開催

「奄美の島唄と島踊り」 森民和会による奄美地方に伝わる民謡と民俗舞踊。

開催日 平成 21 年 10 月 12 日 (月祝)

場 所 小豆島の農村歌舞伎舞台

参加者 約 150 名

#### ⑤ 特別展示「昔の暮らし」

#### ア. 開催趣旨

当館所蔵の民具や、多くの方から寄贈いただいた古くから残る暮らしにかかわる道具の展示を通じて、それらを使っていたころの暮らしの様子や変化、先人の苦心等について考える。

#### イ. 開催期間

平成 22 年 1 月 15 日 (金) ～ 3 月 22 日 (月祝)

#### ウ. 同時開催

学校団体対象「昔の暮らしについてのお話を聞こう」

期間中、小学校団体向けに展示民具及び民家についてボランティアによる解説を行った。(来館校数／児童数：29 校／ 3,024 名)

## 2. 各種催し事業

来館者に親しんでもらえる博物館活動の一環として次の事業を実施。

### (1) 季節行事の開催

来館者に、日本に伝わる四季折々の行事に親しんでいただくため、移築民家を活用し下記の催しを行った。

行事名	開催期間	開催場所	備 考
こいのぼりと五月人形飾り	4 月 25 日 (日) ～ 5 月 10 日 (日)	大和十津川の民家前庭 飛騨白川の民家前庭 越前敦賀の民家	
ようか日	5 月 1 日 (金) ～ 5 月 6 日 (水休)	摂津能勢の民家	
七夕かざり	体験：6 月 27 日 (土) かざり：6 月 28 日 (日) ～ 7 月 7 日 (火)	大和十津川の民家 縁側	体験参加者 約 50 名
お盆飾り	8 月 13 日 (木) ～ 8 月 16 日 (日)	日向椎葉の民家 信濃秋山の民家	
芋名月	10 月 2 日 (金) ～ 10 月 12 日 (月祝)	大和十津川の民家	

正月かざり	1月5日(火)～ 1月31日(日)	館内各民家	
ふるさとのお雑煮会	1月9日(土) 10日(日)	飛騨白川の民家	雑煮販売 200食
桃の節句・雛飾り	2月2日(火)～ 3月3日(水)	越前敦賀の民家	

## (2) 参加体験型事業

①民家等を利用し下記の体験教室を長期に亘って開催した。

体験教室名	開催期間	開催場所	参加者
養蚕体験	7月2日(木)～ 7月30日(木)	飛騨白川の民家	
糸紡ぎ体験・真綿作り体験	8月22日(土)・23日(日)		約40名
はたおり体験	4月28日～5月2日、 9月29日～10月3日、 11月14日・15日・21日・ 22日	摂津能勢の民家 南部の曲家	36名
石臼体験	4月5日～8月23日、 9月13日～12月13日、 1月24日～3月28日の 各日曜日	石臼体験コーナー	187名
ワラぞうり作り体験	5月24日～6月21日、 10月18日～11月29日、 3月7日～3月28日の各 日曜日	南部の曲家の土間	53名
コマ遊び体験	4月4日～6月27日、 9月12日～12月5日、 2月20日～3月27日の 毎週土曜日	日向椎葉の民家前	908名

②また、季節に応じて、下記の体験教室も開催した。

体験教室名	開催期間	開催場所	指導者・参加者
竹細工・紙工作	5月4日(月休)・5日(火祝)	館内広場 カルチャアはっとり	江頭文雄 他 約40名
昔の遊び体験	5月5日(火祝)・6日(水休)	館内広場	久保田 栄 他 約80名
しめ縄教室	12月20日(日)	南部の曲家	森川良一 他 7名
餅つき体験	2月6日(土)・7日(日)	日向椎葉の民家前	佐藤文夫 他 162名
箏演奏会	2月28日(日)	大和十津川の民家	川島正子、柳友紀子 約130名

## (3) 展示民家を活用しての催し

### ① 押し花作品展と押し花教室

ア. 内 容 和泉市で活躍している押し花作家グループの作品を展示し来館者に鑑賞していただいた。また、期間中の5日(日)には、押し花教室(コースター作り)を開催。

なお、11月22日（日）には押し花による年賀状作りの教室を開催した。

イ. 期 間 平成21年4月1日（水）～4月30日（木）

ウ. 場 所 南部の曲家

② みんなで歌おう

ア. 内 容 市民グループによる歌声コンサート。

イ. 実施日 平成21年4月19日（日）、7月12日（日）、11月3日（火祝）

ウ. 場 所 小豆島の農村歌舞伎舞台 他

エ. 参加者 約60名

③ 茶会

ア. 内 容 当館ボランティアによる、茶室の公開とお茶について語らう会。

イ. 実施日 平成21年4月11日・25日、5月9日・23日、6月13日・27日、7月11日・25日、  
9月12日、10月18日・31日、11月14日・21日、12月12日、  
平成22年1月30日、2月27日、3月27日（10月18日を除く各土曜日）

ウ. 場 所 北河内の茶室

エ. 参加者 約170名

④ アート&クラフト

ア. 内 容 近隣住民・当館ボランティアの指導により、子ども達が創作活動に親しむ活動。

イ. 実施日 平成21年5月2日（土）・3日（日祝）及び11月21日（土）

ウ. 場 所 南部の曲家

エ. 参加者 約80名

⑤ むかし話を聞きましょう

ア. 内 容 主に小学生を対象として、豊中子ども文庫、豊中紙芝居の会の協力による昔話と紙芝居に親しむ会。

イ. 実施日 平成21年6月14日（日）＜2回公演＞・10月25日（日）・11月21日（土）  
平成22年3月7日（日）＜2回公演＞ 計4日間、6回公演

ウ. 場 所 大和十津川の民家及び飛騨白川の民家

エ. 参加者 約200名

⑥ 募集朗読会

ア. 内 容 応募した朗読を愛好する個人及びグループによる朗読会。

イ. 実施日 平成21年5月23日（土）

ウ. 場 所 南部の曲家

エ. 参加者 約30名

⑦ 写真展「花火」

ア. 内 容 写真撮影愛好の市民が全国各地の花火を撮影した写真展。

イ. 期 間 平成21年7月1日（水）～7月31日（金）

ウ. 場 所 小豆島の農村歌舞伎舞台

⑧ みんな怪談話

ア. 内 容 当館ボランティア・朗読グループによる朗読で語る怪談話。

- イ. 実施日 平成 21 年 7 月 25 日 (土)
  - ウ. 場 所 日向椎葉の民家
  - エ. 参加者 約 30 名
- ⑨ フォークコンサート
- ア. 内 容 市民グループによるフォークバンドコンサート
  - イ. 実施日 平成 21 年 10 月 11 日 (日)
  - ウ. 場 所 小豆島の農村歌舞伎舞台
  - エ. 参加者 約 100 名
- ⑩ 程一彦料理体験
- ア. 内 容 中国料理研究者による水餃子作りと試食。
  - イ. 実施日 平成 21 年 10 月 18 日 (日)
  - ウ. 場 所 日向椎葉の民家
  - エ. 同時開催 ジャズコンサート、二胡の演奏、朗読会 他
  - オ. 参加者 約 250 名
- ⑪ 落語で笑うて民家一第 10 回『百楽の会』一
- ア. 内 容 大阪府老人大学上方演芸科 3 期終了生による落語発表会。
  - イ. 実施日 平成 21 年 11 月 3 日 (火祝)
  - ウ. 場 所 大和十津川の民家
  - エ. 参加者 71 名
- ⑫ 大阪ジュニアバンド演奏会
- ア. 内 容 大阪市内の小中学生で結成された金管バンドとバトンで組織されたグループによる演奏と演技。
  - イ. 実施日 平成 22 年 1 月 10 日 (日)
  - ウ. 場 所 日向椎葉の民家前庭
  - エ. 参加者 約 140 名
- ⑬ 游心会書道展「近代詩文書で表現する心のふるさと」
- ア. 内 容 豊中市民を中心とした書の活動グループによる書道展。
  - イ. 期 間 平成 22 年 2 月 16 日 (火) ～ 3 月 14 日 (日)
  - ウ. 場 所 日向椎葉の民家
- ⑭ 第 9 回民家集落作品展
- ア. 内 容 当館を題材にした絵画や写真、模型、あるいは、当館の開催行事で制作した作品等を公募し南部の曲家で展示。なお、優秀作品の表彰式を初日に行った。
  - イ. 期 間 平成 21 年 3 月 7 日 (日) ～ 3 月 22 日 (月祝)
  - ウ. 場 所 南部の曲家
- ⑮ 春のお茶会
- ア. 内 容 こども茶道総合体験教室の発表の場としてのお茶会。
  - イ. 期 間 平成 22 年 3 月 14 日 (日)
  - ウ. 場 所 北河内の茶室

エ. 参加者 56名

⑩ 米蔵ミニギャラリー展示

展示内容	期 間
能面作品展	4月4日(土)～5月31日(日)
写真展「スペイン＝サンティアゴ・デ・コンポステラ巡礼路の建物」	6月6日(土)～7月20日(月祝)
写真展「季節の花たち」	8月1日(土)～8月30日(日)
水彩画展「水彩による詩画展」	9月19日(土)～11月15日(日)
写真展「奄美ツアー写真展」	12月6日(日)～12月26日(土)
「ことば遊び・筆あそび教室作品展」	1月15日(金)～3月22日(月祝)

⑪ その他、下記の取り組み及び行事を行った。

・「敬老の日」特別優待

9月15日(火)～23日(水祝)、65歳以上の入館料を特別料金250円とし、粗品プレゼントを行った。  
(期間中の特別優待者数：166名)

なお、本年度より毎月15日をアクティブシニアの日として、65歳以上の入館料を特別料金250円とした。(該当日特別優待者数：150名)

・「観月会」

10月3日(土)、初の試みとして、閉館後のたそがれ時(18時)から夜の博物館の雰囲気を楽しんでいただくために実施。手打ち蕎麦の賞味、秋の虫の鳴き声を聴く、月明かりコンサート、月と星のお話を内容として実施。

(参加者175名)

・「日本民家集落博物館まつり」

11月21日(土)、昨年に引き続き、親しまれる博物館として広く府民にPRするため、模擬店・体験コーナー・府立3博物館による「出かける博物館」等を実施。府民団体等の協力を得て開催した。(当日入館者数：1,291名)

・「民家ツアー『奄美大島の高倉のふるさとを訪ねて』」

11月11日(水)～13日(金)、当館館長・学芸員が同行し、鹿児島県奄美市・大島郡宇検村を中心に見学ツアーを募集し開催した。(参加者15名)

・「みんかのスタンプを集めよう」

小中学生を対象に来館者サービスと博物館に親しんでいただくため、各民家にイラストゴム印を置きスタンプラリーを行い、その景品としてオリジナルしおりをプレゼントした。

### 3. 普及啓発事業

#### (1) 民家解説等の開催

##### ① 民家解説

ア. 内容 22名の解説ボランティアが、館内いずれかの民家に常駐し、囲炉裏を焚きながらその民家について来館者に解説を行った。

イ. 期間 年間を通じ開館日毎日

##### ② 民家特別公開

ア. 内容 安全面等の配慮が必要であるため、平常は公開できない場所を、2名のボランティアが担当し、来館者への特別公開を行った。

イ. 期間 年間を通じ火曜、土曜日中心に開催

ウ. 場所 飛騨白川の民家の2階、北河内の茶室

③「囲炉裏に火を入れて」

ア. 内容 46名のボランティアが、囲炉裏に火を入れ来館者へのいろいろ体験サービスを行うとともに、民家の燻蒸に努めた。

イ. 期間 年間を通じ開館日毎日

ウ. 場所 飛騨白川の民家、摂津能勢の民家、信濃秋山の民家、南部の曲家 他

**(2) 連続講座－Ⅰ**

府教委調査にもとづく大阪の民謡についての講座を3回シリーズで「カルチュアはっとり」にて開催。

①第一話 「北摂の民謡」・・・4月18日(土)

②第二話 「河内の民謡」・・・5月16日(土)

③第三話 「泉南の民謡」・・・6月20日(土)

講師 森 成元(大阪府教育委員会)

・受講者 合計19名

**(3) 連続講座－Ⅱ**

地域により様々な建築様式を見せる民家と先人の知恵・暮らしぶりを建築学の視点より解析した講座を「カルチュアはっとり」にて開催。

①演 題 「民家調査のうつりかわり」・・・9月19日(土)

②演 題 「民家に対する建築規制」・・・10月17日(土)

③演 題 「民家の復原」・・・11月14日(土)

講師 青山賢信(大阪工業大学 名誉教授)

・受講者 合計45名

**(4) 連続講座－Ⅲ**

企画展「奄美大島・南西諸島の民家と暮らし」と関連して、南国の人々の生活とその知恵を学ぶことをテーマにした講座を「カルチュアはっとり」にて開催。

①演 題 「農業技術から見る東南アジアの米蔵」・・・11月21日(土)

②演 題 「奄美の自然と人々の関わり」・・・11月28日(土)

講師 杉本尚次(国立民族学博物館 名誉教授)

・受講者 23名

**(5) 民家集落公開講座**

3月20日(土)に「カルチュアはっとり」を会場に、以下の公開講座を開催。

①演 題 「のよさの里秋山郷」

講師 堀場俊和（アマチュア映像製作者）

②演 題 「大阪府の民俗芸能 - 春編 - 」

講師 森 成元（大阪府教育委員会）

・受講者 32名

### (6) 米蔵茶論

堂島の米蔵を会場に、前館長を囲んで、文化財、民家、民具、その他について語り合うミニサロンを開催した。

6月14日（日） 「スペイン＝サンティアゴ・デ・コンポステラ巡礼路の建物」

### (7) ビデオ上映会「日本の姿」を見る

カルチュアはっとりにて、日本の民族文化について民族文化映像研究所製作のビデオをシリーズ的に紹介。

上映日 12月5日（土）、12月12日（土）

### (8) こども茶道体験教室

北河内の茶室を利用して、小中学生を対象に「こども茶道総合体験教室」を開催、指導は、裏千家の岡村矩巳子、柏原和子、石田収二の各講師に依頼した。

こども茶道体験教室	6月7日（日）～2月28日（日）の日曜日を 中心に16回活動	15名
-----------	-----------------------------------	-----

### (9) こども囲碁クラブ

小中学生を対象に大和十津川の民家を会場として「こども囲碁クラブ」を開催、指導は関西棋院の芦田磯子棋士を中心にボランティア13名があたった。

こども囲碁クラブ	4月11日（土）～3月27日（土） の土曜日を中心に37回活動	39名
----------	------------------------------------	-----

### (10) 博物館実務実習

大学生に対し、博物館学芸員の実務について指導した。

期 間	大 学 名	人 数
8月1日（土）・2日（日）	奈良大学	23名

### (11) その他

近隣の小学生を招待し、当館の畑でボランティアが栽培したサツマイモの芋掘り、民家の庭でセイロ蒸しと試食、併せて民家の学習を行った。

期 間	学校名・学年	人 数
10月23日（金）	豊中市立熊野田小学校3年生	122名

## 4. 広報事業

### (1) 広報事業

①博物館の事業内容等を広く周知するためPR紙等を作成・配布した。

項目	発行月	発行部数
秋の催し案内	8月	1,000
冬の催し案内	12月	1,000
春の催し案内	3月	1,000

②インターネットを活用し、ホームページに催し案内を掲載した。

URL <http://www.occh.or.jp/minka/>

③各事業の実施にあたって、府庁記者クラブ、豊中市記者クラブ、地域広報紙等に資料提供を行った。また、豊中市広報誌への掲載、豊中ケーブルテレビでの放送を依頼することによって、地域に密着した博物館となるよう努めた。

④来館者が当館紹介のDVDを視聴できるよう、堂島の米蔵内にコーナーを設けるとともに、学校団体に無料で貸し出しを行い広報に努めた。

## 5. 館内施設の整備

### (1) 園路の整備工事

懸案であった館内通路の急勾配で悪路箇所改善とバリアフリー化のため、摂津能勢の民家から奄美大島の高倉経由で第二ブロックへ通じる園路及び南部の曲家前園路の整備工事を施工。

この整備工事により、見学者の利便性が飛躍的に向上した。

### (2) ボランティア活動による館内の整備

竹林や植栽の手入れ・花壇や畑の作物の栽培等をボランティア（参加10名）に依頼し、施設の整備や館内の景観保全に努めた。

### (3) 館内緑化

大阪府よりビオラ、パンジー各50株、豊中市よりヒラドツツジ、シャリンバイの苗木各20本の寄贈を得て植樹を行った。併せて、ヒラドツツジの苗木20本、シャリンバイの苗木15本、ヤシオツツジ10本を追加購入し、館内緑化に努めた。

### (4) その他

業者委託により、危険高木（クスノキ、クヌギ、マツ）等の伐採を実施した。

## 6. 入館者数及び入館料収入一覧表

月	入館者数（人）	入館料収入（円）	開館日数（日）
4月	5,625	2,001,400	26
5月	4,609	1,281,450	21

6月	2,872	873,200	25
7月	1,901	600,400	27
8月	1,448	470,350	26
9月	2,455	825,450	26
10月	6,275	1,573,650	27
11月	4,550	1,162,750	25
12月	1,361	336,550	23
1月	2,316	615,900	24
2月	4,554	1,120,050	24
3月	2,939	1,046,600	26
合計	40,905	11,907,750	300

※ 入館料については消費税込みで記入。

※ 5月19日（火）～24日（日）の間、新型インフルエンザの流行に伴い臨時休館。

<年度比較>

年度	入館者数（人）	入館料収入（円）	開館日数（日）
平成21年度	40,905	11,907,750	300
平成20年度	42,408	12,468,790	305
平成19年度	39,781	12,013,250	306

# 事務所・博物館所在地

竹城台局  
竹城台小  
竹城台3丁  
泉ヶ丘  
大蓮公園  
若松台小学校  
大蓮池

本部事務所  
〒590-0105  
堺市南区竹城台3丁21-4  
TEL.072-299-8791 FAX.072-299-8905  
南部調査事務所  
TEL.072-284-2233 FAX.072-284-2234

京阪調査事務所  
〒576-0022  
交野市藤が尾1丁目2  
TEL.072-895-1200 FAX.072-895-1201

中部調査事務所  
〒577-0012  
東大阪市長田東1丁目9-16  
TEL.06-6785-3921 FAX.06-6785-3515  
資料活用  
TEL.06-6785-4531 FAX.06-6785-5431

池島支所  
〒581-0842  
八尾市福万寺町8丁目  
TEL.072-999-9890 FAX.072-990-5131

大阪府立弥生文化博物館  
〒594-0083大阪府和泉市池上町4丁目8-27  
TEL.0725-46-2162(代) FAX.0725-46-2165  
<http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>

ホームページアドレス  
<http://www.occh.or.jp>

近つ飛鳥博物館  
〒585-0001大阪府南河内郡河南町大字東山299番地  
TEL.0721-93-8321(代) FAX.0721-93-8325  
<http://www.mediajoy.com/chikatsu/>

むかしのうちのはくづかん  
日本民家集落博物館  
〒561-0873大阪府豊中市服部緑地1-2  
TEL.06-6862-3137(代) FAX.06-6862-3147  
<http://www.occh.or.jp/minka/>

財団法人 大阪府文化財センター年報

平成 21 年度

平成 22 年 10 月 29 日 発行

発行 財団法人 大阪府文化財センター

〒 590 - 0105 大阪府堺市南区竹城台 3 丁 21 - 4

TEL.072 - 299 - 8791 FAX.072 - 299 - 8905

印刷 株式会社 中島弘文堂印刷所

表紙 シンボルマーク

八尾市美園遺跡出土 重要文化財 家形埴輪